

令和6年度 決算事業報告書



産業課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	諸費	会計名	一般会計						
事業名		2-8	償還金(産業課)						所属名	産業課						
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		国庫及び県支出金					総合計画における位置づけ								
	意図 (対象をどうするか)		適切に返還する					②魅力ある農林業と商工業の振興								
	成果の視点 (どのような効果があるか)		国及び県が定めた交付金・補助金の実施要綱及び実施要領に基づき返還を行う					「五つの挑戦」から見た位置づけ								
								④共生と防災のまちづくり								
								根拠法令・要綱等								
								農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律								
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	99.42 %										
前年度比較		580,404 円	42,750 円	△ 537,654 円			△ 92.6 %									
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減											
		582 千円	43 千円	△ 539 千円	△ 92.6 %											
【事業内容】 過年度分の国及び県支出金の返還金の支払事務を行うもの。 ○多面的機能支払交付金 農業者や地域住民等で構成される活動組織が、5年間の計画に基づき農地を維持するための活動や、農業用施設の補修及び改良等に活用する。 交付金の負担割合:国費1/2、県費1/4、町費1/4 【決算の状況】 (計画) ○多面的機能支払交付金 ・ R6活動組織数 32組織 ・ 返還対象組織数 2組織 ・ 返還額 57,000円 (実績) ①成果実績または活動実績 対象地の面積減少による交付金返還 2組織 ・ 農用地から宅地への転用 11a減少 ・ 維持管理の継続困難 34a減少 (注)6年度交付額から返還金相当額を減じて清算 ・活動組織からの返還額 57,000円 (内訳) <table><tr><td>国庫補助金</td><td>28,500円</td></tr><tr><td>県補助金</td><td>14,250円</td></tr><tr><td>町補助金</td><td>14,250円</td></tr></table> 国庫補助金及び県補助金を返還 42,750円 ②成果または活動の問題点 営農状況や家庭状況が変わり、活動計画期間の農地転用または活動継続ができない農地が発生した。											国庫補助金	28,500円	県補助金	14,250円	町補助金	14,250円
国庫補助金	28,500円															
県補助金	14,250円															
町補助金	14,250円															
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額									
20-5-5-1	中山間地域等直接支払交付金返還金		30,090	0	22 償還金、利子及び割引料	580,404	42,750									
20-5-5-1	多面的機能支払交付金返還金		103,680	0												
	一般財源		446,634	42,750												
	計		580,404	42,750	計	580,404	42,750									
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		一般財源の資金運用として有利であるため、引き続き計画による見込み交付を受ける。													
	②次年度へ向けた次への行動・具体策															
	達成できた点をさらに伸ばす方策		引き続き、補助金等の計画変更に伴う返還を適切に行う													
	解決すべき課題への方策		各活動組織の計画策定時に、返還事由が発生しないよう周知・助言を行う													

款	5	農林水産事業費	項	1	農業費	目	4	農業施設費	会計名	一般会計
事業名		1	トレセン管理費						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内外の農林業者等、施設利用の方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		農林漁業者の福祉増進及びスポーツを進行し、心身の健康な発達への寄与を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		子どもから大人まで、町内外に定期的に利用している団体があり、様々な大会などにも利用されている。また、町行事(出初式、100歳体操等)利用されている。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町健康増進施設等条例、南部町健康増進施設等規則		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率	88.71%				
	2,592,434 円	10,311,122 円	7,718,688 円	297.7 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	2,600 千円	11,623 千円	9,023 千円	347.0 %						
【事業内容】										
・農業者トレーニングセンターの維持管理を行う。										
・利用者の受付、利用調整、料金収納を行う。										
【決算の状況】										
(計画及び実績)										
単位:円 (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考			R5決算額			
需用費		2,693,021	2,647,904				1,472,235			
消耗品費		50,000	49,834	蛍光管及び蜂駆除薬剤			49,266			
光熱水費		1,564,070	1,564,070	電気代、水道代 (注)1			1,323,226			
施設修繕料		1,078,951	1,034,000	自動火災報知機更新、器具庫建具修繕			99,743			
役務費		121,049	121,049	建物災害共済継続委託分担金			121,049			
委託料		1,009,000	970,250				913,350			
保守点検委託料		300,000	270,000	消防用設備点検、電気工作物保安全管理			282,761			
施設管理委託料		709,000	700,250	施設清掃、桜消毒など			630,589			
使用料及び賃借料		87,000	85,800	AED使用料、モップレンタル			85,800			
工事請負費		7,712,073	6,486,119	キュービクル改修工事			-			
計		11,622,143	10,311,122				2,592,434			
(注)1: 光熱水費の高騰による予算不足に対し流用により対応 264,070円 ※前年度決算状況との比較										
①成果実績または活動実績										
＜利用者状況＞										
定期利用団体 13団体(スポnetなんぶ 6団体、一般 7団体)										
＜利用実績＞ 単位:人										
年度	R2	R3	R4	R5	R6					
利用人数	6,782	7,057	7,754	10,639	11,819					
(R6 実績のうち1,085人については教育支援センターさくらんぼによる利用)										
＜施設使用料＞ 単位:円										
年度	R2	R3	R4	R5	R6					
使用料収入額	446,950	434,570	539,240	558,560	524,220					
②成果または活動の問題点										
町民の健康増進を目的として、農業者に限らず利用誘致を広く進める必要がある。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
13-1-3-1	トレーニングセンター使用料		558,520	524,220	10 需用費	1,472,235	2,647,904			
13-1-3-1	トレーニングセンター使用料(過年度分)		0	11,960	11 役務費	121,049	121,049			
21-1-3-1	公共施設等適正管理推進事業債		0	5,200,000	12 委託料	913,350	970,250			
					13 使用料及び賃借料	85,800	85,800			
					14 工事請負費	0	6,486,119			
	一般財源		2,033,914	4,574,942						
計			2,592,434	10,311,122	計	2,592,434	10,311,122			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		快適に利用できるよう維持管理を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		適切な維持管理を行う。							
	解決すべき課題への方策		定期的な点検と適切な維持管理を行い、広報や受付方法のスマート化を含めて広く町内外から利用の方が増えるよう促進方法を考える。また、近年の温暖化に対応した空調の整備や利用の多いスポーツ(卓球等)に対応した整備を進める必要がある。							

事業名	1	トレセン管理費		所属名	産業課
【委託料】					
件名		目的	概要	単位:円 積算根拠	(下段:決算額) 契約相手
消防設備等法定点検		利用者の 安全確保	消防設備点検	110,000円 1回目 49,500円 2回目 60,000円	(株)上田商事 (110,000円)
自家用電気工作物の保安 管理			電気管理	160,000円 12回/年 13,333円	前田電気管理事務所 (160,000円)
公共施設清掃管理業務		利用環境 の維持	建物清掃 窓、床ワックス	1回/年 289,960円	(株)東亜建物管理 (289,960円)
農業者トレーニングセンター 建物清掃業務			建物清掃 施設内清掃	1回/週 114,169円	(公)南部広域シルバー 人材センター (377,499円)
農業者トレーニングセンター周辺剪 定・除草業務草刈り			剪定、除草作業	5回/年 278,249円	
農業者トレーニングセン ター敷地内 桜の消毒			桜の木消毒	1回/年 17,872円	

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	農業施設費	会計名	一般会計
事業名		2-1	会見改善センター管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内の農業者、利用希望の方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		施設を有効に利用し、農村環境の改善を意図するものである。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		平日はほぼ毎日利用があり、主に学童保育、集落行事等に使用されている。 農林業者が施設を有効利用し、農村生活環境の改善を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度 執行率		92.35 %
		2,078,114 円	1,825,769 円	△ 252,345 円		△ 12.1 %				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減				
		2,205 千円	1,977 千円	△ 228 千円		△ 10.3 %				
【事業内容】										
・南部町会見農村環境改善センターの維持管理を行う。										
・利用者の受付、利用調整、料金収納を行う。										
【決算の状況】										
(計画及び実績) ①成果実績または活動実績 (単位:円) (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考					R5決算額	
需用費		1,188,000	1,130,377						1,381,074	
消耗品費		30,000	29,673	コピー代、蛍光管外					34,768	
燃料費		42,000	31,707	ガス代					28,784	
光熱水費		768,000	737,259	電気代、水道代					690,412	
施設修繕料		348,000	331,738	大広間エアコン修理、調理室コンロ取替					627,110	
役務費		65,000	60,406						60,721	
通信運搬費		36,000	31,581	電話代					31,896	
火災保険料		29,000	28,825	火災保険料					28,825	
委託料		400,000	349,154						339,140	
保守点検委託料		50,000	35,200	消防用設備定期点検					36,960	
施設管理委託料		350,000	313,954	施設清掃管理等					302,180	
使用料及び賃借料		324,000	285,832						297,179	
借上料		261,000	249,088	AED借上料、敷地借地料					260,129	
使用料		63,000	36,744	下水道、NHK受信料、CATV					37,050	
計		1,977,000	1,825,769						2,078,114	
＜利用実績＞ 単位:人										
年 度		R2	R3	R4	R5	R6				
利用人数		10,396	11,120	10,098	11,300	10,165				
＜施設利用料＞ 単位:円										
年 度		R2	R3	R4	R5	R6				
施設使用料		3,690	1,830	4,620	5,490	1,830				
②成果または活動の問題点:										
利用者の内訳として、放課後児童クラブの利用となっている。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額
13-1-3-1		農村環境改善センター使用料(会見)			5,490	1,830	10 需用費		1,381,074	1,130,377
							11 役務費		60,721	60,406
							12 委託料		339,140	349,154
							13 使用料及び賃借料		297,179	285,832
		一般財源			2,072,624	1,823,939				
		計			2,078,114	1,825,769	計		2,078,114	1,825,769
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		危険個所がないように改善も含めた修繕と、利用拡大の検討を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		学童保育利用を中心にしながら、今後増やすように努める。							
	解決すべき課題への方策		地域の方々の利用が非常に少ない。利活用の方法について検討を行う。							

事業名	2-1	会見改善センター管理事業	所属名	産業課
-----	-----	--------------	-----	-----

【委託料】

(下段:決算額)

件名	目的	概要	積算根拠	委託相手
消防設備等 法定点検	利用者の安全確保	消防設備点検 2回/年	合計 35,200円 1回目 16,500円 2回目 18,700円	(株)上田商事 (35,200円)
公共施設清掃 管理業務	利用環境の維持	窓清掃、床ワックス	合計 199,034円 1回目 96,580円 2回目 102,454円	(株)東亜建物管理 (199,034円)
農村改善セン ター内清掃		建物清掃 1回/週	合計 114,920円	(公)シルバー人材 (114,920円)

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	農業施設費	会計名	一般会計
事業名		2-2	プラザ西伯管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内の農業者、利用希望の方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		施設を有効に利用し、農村環境の改善を意図するものである。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		主に学童保育や文化活動、集落行事等に活用に使われている。また、複数の団体に事務所として部屋を貸している。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町農村環境改善センター条例、南部町農村環境改善センター管理規則		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率	97.55 %				
	5,066,954 円	4,527,407 円	△ 539,547 円	△ 10.6 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	5,378 千円	4,641 千円	△ 737 千円	△ 13.7 %						
【事業内容】										
・直営施設のため、施設の運営維持管理・予約受付等を行う。										
・南部広域シルバー人材センター、南部町農村振興公社、南部町土地改良区、米子南ライオンズクラブが事務所、2階を放課後児童クラブが利用している。										
【決算の状況】										
(計画及び実績) ①成果実績または活動実績										
単位:円 (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考				R5決算額		
需用費		2,870,857	2,860,448					3,136,715		
消耗品費		50,000	49,029	誘導灯蛍光管交換及び蜂駆除薬剤等				54,584		
燃料費		48,000	39,085	ガス代				33,419		
光熱水費		2,672,857	2,672,857	電気代、水道代				2,364,922		
施設修繕料		100,000	99,477	漏電修理及び壁修繕				683,790		
役務費		167,000	154,164					157,654		
通信運搬費		85,000	72,749	電話料				76,239		
火災保険料		82,000	81,415	建物災害共済継続委託分担金				81,415		
委託料		1,262,000	1,198,463					1,166,989		
保守点検委託料		462,000	436,000	消防用設備点検、電気工作物保安全管理				434,534		
施設管理委託料		800,000	762,463	施設清掃				732,455		
使用料及び賃借料		341,000	314,332					316,131		
借上料		250,000	244,364	AED借上、モップレンタル、借地料				249,613		
使用料		91,000	69,968	NHK、中海テレビ受信料、下水道使用料				66,518		
備品購入費		0	0					289,465		
計		4,640,857	4,527,407					5,066,954		
＜利用実績＞ 単位:人										
年 度		R2	R3	R4	R5	R6				
利用人数		15,533	14,573	13,574	13,062	15,823				
＜施設利用料＞ 単位:円										
年 度		R2	R3	R4	R5	R6				
施設使用料		242,620	243,820	253,360	240,630	258,190				
うち一般利用		14,620	15,820	25,360	12,630	30,190				
うち事務所利用		228,000	228,000	228,000	228,000	228,000				
②成果または活動の問題点										
施設老朽化のため、修繕を計画的に実施する必要がある。										
(歳入内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
13-1-3-1	農村環境改善センター使用料(西伯)			240,630	258,190	10 需用費	3,136,715	2,860,448		
						11 役務費	157,654	154,164		
						12 委託料	1,166,989	1,198,463		
						13 使用料及び賃借料	316,131	314,332		
						17 備品購入費	289,465	0		
	一般財源			4,826,324	4,269,217					
	計			5,066,954	4,527,407	計	5,066,954	4,527,407		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		近隣の複合施設と調整を図り、利用者が目的に応じた活用しやすい施設としていくことが重要である。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		適切な維持管理を行うことにより、広く町内からの利用の方が活用できるようにする。							
	解決すべき課題への方策		施設の老朽による修繕は利用の方の利便性の向上の観点から計画的に行う必要がある。							

事業名	2-2	プラザ西伯管理事業	所属名	産業課
-----	-----	-----------	-----	-----

【委託料】 (下段:決算額)

件名	目的	概要	積算根拠	委託相手
消防設備等法定点検	利用者の安全確保	消防設備点検	1回目46,200円 2回目52,800円	(株)上田商事 (99,000円)
自家用電気工作物の 保安管理委託		電気管理	12回/年×12,500円	前田電気管理事務所 (150,000円)
防火対象物定期点検 業務		防火対象物点検	1回/年×187,000円	(株)上田商事 (187,000円)
公共施設清掃管理業 務	利用者の安全確保	建物清掃	1回/年202,290円	(株)東亜建物管理 (202,290円)
農業者トレーニングセン ター内清掃		プラザ内清掃 草刈、草取、剪定作業	1回/週、167,960円 7回/年、392,213円	(公)シルバー人材 (560,173円)

・農村環境改善センター使用料(西伯)の内訳

単位:円

使用団体	使用料
南部町土地改良区	24,000
西伯南ライオンズクラブ	24,000
南部広域シルバー人材センター	180,000
一般利用	30,190

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	農業施設費	会計名	一般会計																																																																																				
事業名		4-1	えぷろん管理事業						所属名	産業課																																																																																				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内農産物を利用した加工品製造の方					総合計画における位置づけ																																																																																						
	意図 (対象をどうするか)		地産地消や農業所得の向上が期待される。また、原材料となる作物の作付が活性化し、遊休農地の増加抑止や生産物や加工品の特産化を促進する。					②魅力ある農林業と商工業の振興																																																																																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)		地産地消の促進、農業所得向上の状況。 原材料となる町内産の作物の作付が活性化し、遊休農地の抑止につなぐ。 生産物や加工品の特産化の進展。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																						
								④共生と防災のまちづくり																																																																																						
								根拠法令・要綱等																																																																																						
								南部町農産物加工施設条例・施設管理規則、南部町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例・条例施行規則																																																																																						
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	99.79 %																																																																																								
4,509,447 円		5,134,207 円	624,760 円	13.9 %																																																																																										
前年度比較		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減																																																																																									
		4,801 千円	5,145 千円	344 千円	7.2 %																																																																																									
【事業内容】 施設管理は、あいみ富有の里地域振興協議会に指定管理委託により実施している。 指定管理期間 令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日(初回指定:平成22年度から) 指定管理料 1,960,000 円 (参考)R7.4.1～指定管理者 Bond合同会社 指定管理を通じて町内の農産物を利用した加工品の製造を促進し、農産物の付加価値を高める。 食品営業許可は、町が取得し加工品の製造を可能としている(味噌、豆腐、菓子、惣菜、密封包装食品) 【決算の状況】 (計画及び実績) <table><tr><th colspan="4">単位:円</th><th colspan="2">(参考) 単位:円</th></tr><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th><th colspan="2">R5決算額</th></tr><tr><td>需用費</td><td>524,500</td><td>522,060</td><td></td><td colspan="2">3,008,800</td></tr><tr><td> 消耗品費</td><td>29,940</td><td>27,500</td><td>消火器充填、消火器リサイクルシール</td><td colspan="2">83,790</td></tr><tr><td> 施設修繕料</td><td>277,200</td><td>277,200</td><td>ガス遮断弁取外等</td><td colspan="2">2,842,400</td></tr><tr><td> 備品修繕料</td><td>217,360</td><td>217,360</td><td>味噌原材料攪拌機修繕</td><td colspan="2">82,610</td></tr><tr><td>役務費</td><td>90,000</td><td>83,647</td><td></td><td colspan="2">34,647</td></tr><tr><td> 手数料</td><td>70,000</td><td>70,000</td><td>営業許可更新手数料</td><td colspan="2">21,000</td></tr><tr><td> 火災保険料</td><td>20,000</td><td>13,647</td><td>火災保険料</td><td colspan="2">13,647</td></tr><tr><td>委託料</td><td>1,960,000</td><td>1,960,000</td><td>指定管理料</td><td colspan="2">1,400,000</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>0</td><td>0</td><td>豆摺機借上料</td><td colspan="2">66,000</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>2,438,000</td><td>2,436,500</td><td>えぷろん法面崩壊防止工事</td><td colspan="2">0</td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>132,000</td><td>132,000</td><td>豆摺機購入</td><td colspan="2">0</td></tr><tr><td>計</td><td>5,144,500</td><td>5,134,207</td><td></td><td colspan="2">4,509,447</td></tr></table> ①成果実績または活動実績 利用状況を次項に記載 ②成果または活動の問題点: 交流拠点施設(えんがーの富有)との一体的な連携促進を図っていく。 ＜前年度決算状況との比較＞ ・備品購入費 豆摺機の借り上げを予定していたが購入に変更 ・指定管理料の差異 令和6年度は燃料費等の高騰により不足額を補正予算で追加対応を行った。 (歳入内訳 単位:円)											単位:円				(参考) 単位:円		費目	予算額	決算額	備考	R5決算額		需用費	524,500	522,060		3,008,800		消耗品費	29,940	27,500	消火器充填、消火器リサイクルシール	83,790		施設修繕料	277,200	277,200	ガス遮断弁取外等	2,842,400		備品修繕料	217,360	217,360	味噌原材料攪拌機修繕	82,610		役務費	90,000	83,647		34,647		手数料	70,000	70,000	営業許可更新手数料	21,000		火災保険料	20,000	13,647	火災保険料	13,647		委託料	1,960,000	1,960,000	指定管理料	1,400,000		使用料及び賃借料	0	0	豆摺機借上料	66,000		工事請負費	2,438,000	2,436,500	えぷろん法面崩壊防止工事	0		備品購入費	132,000	132,000	豆摺機購入	0		計	5,144,500	5,134,207		4,509,447	
単位:円				(参考) 単位:円																																																																																										
費目	予算額	決算額	備考	R5決算額																																																																																										
需用費	524,500	522,060		3,008,800																																																																																										
消耗品費	29,940	27,500	消火器充填、消火器リサイクルシール	83,790																																																																																										
施設修繕料	277,200	277,200	ガス遮断弁取外等	2,842,400																																																																																										
備品修繕料	217,360	217,360	味噌原材料攪拌機修繕	82,610																																																																																										
役務費	90,000	83,647		34,647																																																																																										
手数料	70,000	70,000	営業許可更新手数料	21,000																																																																																										
火災保険料	20,000	13,647	火災保険料	13,647																																																																																										
委託料	1,960,000	1,960,000	指定管理料	1,400,000																																																																																										
使用料及び賃借料	0	0	豆摺機借上料	66,000																																																																																										
工事請負費	2,438,000	2,436,500	えぷろん法面崩壊防止工事	0																																																																																										
備品購入費	132,000	132,000	豆摺機購入	0																																																																																										
計	5,144,500	5,134,207		4,509,447																																																																																										

事業名	4-1	えぷろん管理事業	所属名	産業課
-----	-----	----------	-----	-----

＜利用人数＞

単位:人

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
豆腐作り	109	102	112	106	134
味噌・麴作り	149	148	193	212	205
餅つき	263	258	275	286	387
ジャム	10	12	22	36	40
製粉(そば)	9	5	4	5	4
ケチャップ	18	21	16	26	19
焼肉のタレ	0	1	1	0	0
その他加工(焼き菓子、パンなど)	263	395	461	794	1,133
計	821	942	1,084	1,465	1,922

利用者増の理由：
パン教室の開催回数の
増加による

＜利用出来高実績＞ (主なもの)

単位:丁、kg、升

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
豆腐作り	1,680	1,704	1,512	1,200	1,440
味噌作り	3,800	3,541	4,151	3,887	4,088
餅つき	892	946	941	927	936
ジャム(梨・柿)	68	71	100	193	249
製粉(そば)	95	81	71	83	80

丁
kg

kg
kg

(参考:利用料収入)

単位:円

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
利用料収入	537,810	543,415	604,475	607,195	679,800

款	5	農林水産業	項	1	農業費	目	4	農業施設費	会計名	一般会計
事業名		4-2	めぐみの里管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内農産物を利用した加工品の製造を行う方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		町内農産物を利用した加工品の生産、販売の促進					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農産物の各種加工利用が行われ、施設の利用が図れている。加工製造者の意欲の増進に繋がっている					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		96.80	%	
		3,396,518 円	3,159,657 円	△ 236,861 円	△ 7.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		3,507 千円	3,264 千円	△ 243 千円	△ 6.9 %					
【事業内容】										
施設管理は、令和6年度から農事組合法人 西伯町山菜生産加工組合に指定管理委託により実施している。										
指定管理期間 令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日 初回指定:令和6年度から										
指定管理料 2,834,000 円										
指定管理を通じて町内の農産物を利用した加工品の製造を促進し、農産物の付加価値を高める。										
食品営業許可は、町が取得し加工品の製造を可能としている(味噌、豆腐、菓子、惣菜、漬物)。										
【決算の状況】										
(計画及び実績) 単位:円 (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考				R5決算額		
需用費		203,800	100,484					131,785		
消耗品費		40,000	16,884	フリーズドライオイル交換ほか				42,355		
光熱水費		80,000	0					0		
施設修繕料		83,800	83,600	公衆電話撤去工事、水切かご修繕				89,430		
役務費		21,000	20,455					41,455		
手数料		0	0					21,000		
火災保険料		21,000	20,455	火災保険料				20,455		
委託料		2,834,000	2,834,000	指定管理料				2,888,760		
使用料及び借上料		205,000	204,718	敷地使用料				204,718		
備品購入費		0	0					129,800		
計		3,263,800	3,159,657					3,396,518		
①成果実績または活動実績										
利用状況を次項に記載										
②成果または活動の問題点										
指定管理者と連携し、既存利用者の複数利用や新たな利用者の掘り起こしが必要。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					10 需用費	131,785	100,484			
					11 役務費	41,455	20,455			
					12 委託料	2,888,760	2,834,000			
					13 使用料及び賃借料	204,718	204,718			
					17 備品購入費	129,800	0			
	一般財源		3,396,518	3,159,657						
	計		3,396,518	3,159,657	計	3,396,518	3,159,657			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		施設の利用アップのため施設PRに努める。また、指定管理者と共に新たな利用方法を検討する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		利用者の便宜を図るとともに、指定管理者と連携し施設利用促進に努める。							
	解決すべき課題への方策		新たな加工品の開発やルート開拓、新たな利用グループの掘り起こしを行う。							

＜利用者数(体験)＞

単位:人

区 分	R3	R4	R5	R6
豆腐・厚揚げ	1,091	325	26	54
味噌・麴作り	152	183	156	126
餅つき	164	162	139	106
ジャム、ネギ味噌、焼肉のタレ	27	29	60	45
製粉(米・そば)	8	20	5	8
野菜乾燥機	52	75	74	85
フリーズドライ	0	2	0	0
その他加工(菓子製造など)	361	383	565	385
計	1,855	1,179	1,025	809

(注)

R5は指定管理者の事業により、シフォンケーキ作りなどの菓子製造がなされていた。

＜利用出来高実績＞ (主なもの)

区 分	R3	R4	R5	R6
豆腐・厚揚げ	9,990	3,210	480	420
味噌・麴作り	3,662	2,500	2,582	1,566
餅つき	711	691	586	483
ジャム(いちじく・梨)	285	153	156	156
製粉(米・そば)	30	70	50	60

単位

丁、枚

米 1,080 kg、大豆 560 kg

升

kg

kg

(参考:利用料収入)

単位:円

区 分	R3	R4	R5	R6
利用料収入(体験)	611,987	549,333	488,188	263,350

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	農業施設費	会計名	一般会計
事業名		6	オートキャンプ場等管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設を利用する方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		施設の利便性を向上させることで、利用者の満足度が上がる。					⑪移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		施設を利用する上での危険性					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
	前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		98.76 %	
3,270,574 円			4,109,214 円	838,640 円	25.6 %					
令和5年度予算額			令和6年度予算額	差引	増減					
3,271 千円			4,161 千円	890 千円	27.2 %					
【事業内容】 施設管理は、(株)スマイルキューブに指定管理委託を実施している。 指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日 初回指定:令和元年度から 指定管理料 2,850,000円 指定管理施設 オートキャンプ場、農林体験実習館 ・所有名義に付随する火災保険料の他、一定規模以上の修繕については協議のうえ町が負担する。										
【決算の状況】(計画及び実績) 単位:円 (参考:R5決算額) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考						
需用費		150,700	150,700	浄化槽脱窒槽攪拌ポンプ修繕						
役務費		22,000	21,934	火災保険料						
委託料		2,948,890	2,948,890	指定管理料						
その他の委託料		98,890	98,890	危険木撤去作業						
指定管理委託料		2,850,000	2,850,000	指定管理料						
使用料及び賃借料		36,000	35,640	AED借上料						
工事請負費		1,003,300	952,050	サニタリー棟LED化工事						
計		4,160,890	4,109,214							
【委託料】 (下段:決算額)										
件名	目的		概要			積算根拠		契約相手		
危険木撤去作業	キャンプ場内の倒木伐採による利用者の安全確保		危険木3本の伐採			伐採:89,900円 消費税: 8,990円		鳥取県西部森林(98,890円)		
①成果実績または活動実績										
■ 修繕・工事										
・脱窒槽攪拌ポンプ修繕 145,860 円 : 浄化槽ポンプの故障のため修繕対応した。										
<利用実績> 単位:人										
年度	R2	R3	R4	R5	R6					
利用者数	2,870	3,513	3,533	2,844	2,234					
・ 利用者数は昨年度比78%、利用料収入は70%で減少傾向となる決算となった。										
(参考:利用料収入) 単位:円										
区分	R2	R3	R4	R5	R6					
利用料収入	5,637,063	8,026,445	6,898,421	4,631,588	3,262,816					
②成果または活動の問題点										
キャンプブームの終了、近年の繁忙期(6～9月)の酷暑により、利用人数の減少傾向を改善は図れなかった。										
(歳入内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
21-1-3-1	辺地対策事業債			0	900,000	10 需用費	363,000	150,700		
						11 役務費	21,934	21,934		
						12 委託料	2,850,000	2,948,890		
						13 使用料及び賃借料	35,640	35,640		
						14 工事請負費	0	952,050		
	一般財源			3,270,574	3,209,214					
	計			3,270,574	4,109,214	計	3,270,574	4,109,214		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		指定管理者と連携し施設の利用を促進する。また、施設・設備の経年による老朽状況を指定管理者と共に確認することで早期に対応策を検討し、施設運営の適正化を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		指定管理者に自主事業の開発を促したり、関係団体との連携を深めることで、より一層の施設の利用促進及び町のPRを行う。							
	解決すべき課題への方策		近年の利用者数減傾向に対し誘客戦略を指定管理者と連携し利用促進を図っていく。							

款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	4	農業施設費		会計名	一般会計	
事業名			8	コテージ管理事業									所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)			施設を利用する方								総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)			施設の利便性を向上させることで、施設を利用する方の満足度が上がる。								⑪移住定住・交流・観光の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)			指定管理者と連携し管理の適正化を図るとともに、建物のリノベーションを契機とした誘客活動を推進する。								「五つの挑戦」から見た位置づけ			
												④共生と防災のまちづくり			
												根拠法令・要綱等			
												南部町コテージ条例・規則、南部町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例・条例施行規則			
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減						令和6年度 執行率		
	1,941,752 円		1,877,190 円		△ 64,562 円		△ 3.3 %								
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減								
	2,043 千円		2,913 千円		870 千円		42.6 %								
【事業内容】 施設管理は、(株)緑水園に指定管理委託により実施している。 指定管理期間 令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日 初回指定:平成25年度から 指定管理料 緑水湖周辺施設の一体的な管理運営として、緑水園管理事業に含める 所有名義に付随する火災保険料のほか、一定以上の修繕については協議のうえ町が負担する。 【決算の状況】 (計画及び実績)															

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		1	農業振興費						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		農業振興団体及び農家					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		各種団体に対して、補助金、負担金を支払う。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		各種団体を通じて農家の活動が促進される。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								一般財団法人南部町農村振興公社運営補助金交付要綱、南部町農業経営収入保険等制度加入促進事業補助金交付要綱、農事組合法人西伯町山菜生産加工組合運営補助金交付要綱		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率	98.47	%			
	3,362,289 円	3,333,189 円	△ 29,100 円	△ 0.9 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	3,571 千円	3,385 千円	△ 186 千円	△ 5.2 %						
【事業内容】 農業振興団体・個人への助成及び農業関連協議会等へ負担金を支払う。										
【決算の状況】										
(計画及び実績) 単位:円 (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考			R5決算額			
需用費		15,000	3,934	事務用消耗品			9,974			
役務費		45,000	34,390				60,046			
通信運搬費		15,000	34,390	郵送料			13,046			
手数料		30,000	0	データ処理手数料			47,000			
使用料及び賃借料		0	0	通行料			3,520			
負担金補助及び交付金		3,325,000	3,294,865				3,288,749			
その他負担金		113,000	71,100	鳥取県農業士連絡協議会会費 10,000 西部産米改良協会負担金 3,000 せいぶの農と食のまつり他負担金(出展料他) 48,100 中山間地域振興対策協議会 10,000			97,200			
その他補助金		3,212,000	3,223,765	南部町農村振興公社運営補助金 1,800,000 西伯町山菜生産加工組合育成補助金 450,000 農業経営収入保険等加入促進補助金 973,765			3,191,549			
計		3,385,000	3,333,189				3,362,289			
①成果実績または活動実績 次頁に記載										
②成果または活動の問題点 ・町の負担に対して、各種団体から発信される 情報が有効活用されていない。 ・金額等補助金の運用が硬直的になっている。対象の事業の規模や状況に応じた運用が今後の課題となっている。(令和7年度当初予算において、西伯町山菜生産加工組合の自立的な経営の状況を勘案し、補助金予算を編成していない。)										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					10 需用費	9,974	3,934			
					11 役務費	60,046	34,390			
					13 使用料及び賃借料	3,520	0			
					18 負担金補助及び交付金	3,288,749	3,294,865			
	一般財源		3,362,289	3,333,189						
	計		3,362,289	3,333,189	計	3,362,289	3,333,189			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域の農業維持のために支援継続は不可欠と考えている。人口減少による町内農業人口の減少傾向は急速に進行するため、現況維持には更なる支援が必要である。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策	支援団体や事業進展のため継続して支援・助言を行う。								
	解決すべき課題への方策	社会情勢の変動に応じて、毎年度、補助金等の有効性を確認し、必要に応じて見直しを検討する。								

事業名	1	農業振興費	所属名	産業課
-----	---	-------	-----	-----

○ 南部町農村振興公社補助金

担い手の不足や生産効率の低い条件不利な農地における農作業を補完し町内の農地の保全を図るため、農作業の受託業務を行う一般財団法人南部町農村振興公社の運営支援を目的として補助金を交付する。(定額)

【令和6年南部町農村振興公社事業報告及び収支決算(抜粋)】

(収入)	科目	内容	決算額(円)	受託量(事業報告)		
				R5	R6	増減
	農作業受託収入	耕耘	219,179	386.5 a	318.3 a	-68.2 a
		代かき	311,891	419 a	403.9 a	-15.1 a
		田植え	291,163	421.2 a	397.1 a	-24.1 a
		刈取り	1,471,250	798.6 a	749.3 a	-49.3 a
		粃運搬	347,099	4709.8 kg	4508.1 kg	-201.7 kg
		堆肥散布	226,985	0 a	412.7 a	412.7 a
		その他	361,656			
	合計	3,229,223				
補助金等収入	町補助金収入	1,800,000				
その他収入		3,962				
(支出)	当期収入計		5,033,185			
	事業費	作業委託料	1,448,421	アグリサポートなんぶ、寺内農場		
		その他	1,551,991	ガソリン、農機具等修理代、車検代、賃借料等		
		合計	3,000,412	農機具等修理代、車検台		
	管理運営費	事務費その他	1,826,702	事務費、事務委託費		
	その他支出	その他	1,271,171	減価償却引当金支出		
	当期支出計		6,098,285			

・管理運営費に対して補助金を交付することで、安定的に組織運営が進められ受託農作業を通じて農地の保全が図られている。

○ 西伯町山菜生産加工組合育成補助金

山菜による町内の山村地域の活性化と地域振興を図り、町内外の方に南部町の山菜を楽しんでいただくため、積極的に山菜加工・販売を行っている団体への支援として、町内産の山菜を使用した加工、販売に係る経費に対し補助金を交付する。(定額)

【西伯町山菜生産加工組合売上の推移】

単位:円

区分	R2	R3	R4	R5	R6
利用料収入	7,021,570	8,678,835	9,305,732	8,074,693	10,512,945

・補助金交付により加工販売への取組意欲が増進され、売上の向上を通じて地域資源の有効利用と地域の活性化が図られている。

○ 農業経営収入保険等加入促進補助金

自然災害や農産物の価格低下など農業経営に伴う様々なリスクを軽減し、経営の持続性を高めることを通じて地域農業の安定を図るため、NOSAI鳥取が運営する農業収入保険等の制度への加入を支援する。(補助率1/4)

【農業経営収入保険等への加入状況】

区分	加入状況		保険金等支払見込		備考
	加入件数	補助金額(円)	支払件数	保険金額(円)	
農業経営収入保険	87	941,296	15	5,650,000	
果樹共済	10	27,827	4	1,743,800	柿のみ
大豆共済	6	4,642	2	43,197	

青色申告を行っている農業者数(2020農林業センサス)

農業経営体数 625件

青色申告を行っている農業者数 295件

- ・保険制度への加入件数は横ばい。
- ・小規模水稻農家が多いため保険料負担が収益性に見合わないことから加入者数は伸び悩んでいる。
- ・収益性の高い果樹農家や中大規模の複合経営を行う農家は概ね加入しており、保険金支払を通じて経営を補完している。(担い手となる農家の経営の持続性につながっている。)

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		2-1	農業経営基盤強化資金利子補給事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		認定農業者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		認定農業者が農業経営基盤強化資金の借入を行った場合に、利子の一部を補助し、負担軽減を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		認定農業者の経営安定に繋がっている。自主性を活かした経営改善に繋げる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		84.76	%	
		5,934 円	4,238 円	△ 1,696 円	△ 28.6 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		9 千円	5 千円	△ 4 千円	△ 44.4 %					
【事業内容】 認定農業者が農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)を借りた場合に、借入利子の一部を補助し、金利負担の軽減を図るもの。(県事業) 助成率は、貸付決定時に決定する。(県1/2、町1/2) ・令和6年度助成対象者 1名/1件 										

款	5	農林水産業費		項	1	農業費		目	5	農業振興費		会計名	一般会計		
事業名		3		環境保全型農業直接支払交付金事業								所属名		産業課	
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		環境保全型農業に取り組む農業者の組織する団体								総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)		化学肥料・農薬の低減、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業を推進する。								②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)		化学肥料・化学合成農薬の使用低減による環境負荷の軽減に繋がっている。地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農の拡大に繋げる。								「五つの挑戦」から見た位置づけ				
											④共生と防災のまちづくり				
											根拠法令・要綱等				
前年度 比較		令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、環境保全型農業直接支払交付金実施要領、交付等要綱、鳥取県環境保全型農業直接支払交付金交付要綱、南部町環境保全型農業直接支払交付金交付要綱					
		92,000 円		699,040 円		607,040 円		659.8 %							
		令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減							
		92 千円		766 千円		674 千円		732.6 %							
令和6年度 執行率										91.26 %					
【事業内容】 環境保全型農業直接支払交付金(国事業__補助率:国1/2、県1/4、町1/4) 日本型直接支払のうち農業者団体等が、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動について、5年間の事業計画・営農計画書を提出、町が認定を行い取組内容に応じた交付金を交付する。 支援対象となる農業者の要件： ①主作物について販売することを目的に生産を行っていること。 ②環境負荷低減のチェックシートの取組を実施していること(◎) ◎環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート解説書を読んだうえで、チェックを入れて町に提出するもの。 															

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																																																																																																	
事業名		4	特定農地貸付事業						所属名	産業課																																																																																																	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		非農家や団地住民の方々及び遊休農地					総合計画における位置づけ																																																																																																			
	意図 (対象をどうするか)		地産地消の推進を図り、遊休農地の発生防止につなぐ					②魅力ある農林業と商工業の振興																																																																																																			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		広報活動により、農園利用を募集し空農地の利用の推進					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																			
								④共生と防災のまちづくり																																																																																																			
								根拠法令・要綱等																																																																																																			
								農地法、特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律																																																																																																			
令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減																																																																																																					
48,600 円		48,600 円		0 円		0.0 %																																																																																																					
前年度比較			令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度執行率	99.18 %																																																																																																	
	49 千円		49 千円		0 千円		0.0 %																																																																																																				
【事業内容】 非農家や団地住民の方々がレクリエーションとしての自作用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくりなどの多様な目的で、小面積の農地を貸し付けの農園に貸し付けを行う。 利用料 2,300～2,700円/a 町が土地所有者から農地を借受、希望者に貸付契約を行い活用している。 福成地内に2か所(①23区画、②9区画)の貸付農園がある。 借受面積等 単位:m²、区画、年 <table><tr><td></td><td>総面積</td><td>区画数</td><td>期間</td></tr><tr><td>農園①</td><td>1,961</td><td>23</td><td>2</td></tr><tr><td>農園②</td><td>849</td><td>9</td><td>2</td></tr></table>												総面積	区画数	期間	農園①	1,961	23	2	農園②	849	9	2																																																																																					
	総面積	区画数	期間																																																																																																								
農園①	1,961	23	2																																																																																																								
農園②	849	9	2																																																																																																								
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 貸付予定 単位:区画、人 <table><tr><td></td><td>貸付区画数</td><td>貸付者数</td></tr><tr><td>農園①</td><td>21</td><td>15</td></tr><tr><td>農園②</td><td>4</td><td>4</td></tr></table> 貸付実績 単位:区画、人 <table><tr><td>使用区画数</td><td>利用者数</td></tr><tr><td>19</td><td>15</td></tr><tr><td>9</td><td>4</td></tr></table> ＜利用実績等＞ 単位:区画、人、円 <table><tr><td colspan="2">年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="2">農園①</td><td>区画数</td><td>23</td><td>18</td><td>21</td><td>20</td><td>19</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>17</td><td>13</td><td>15</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td rowspan="2">農園②</td><td>区画数</td><td>9</td><td>6</td><td>4</td><td>4</td><td>9</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td colspan="2">利用料</td><td>51,840</td><td>37,848</td><td>40,208</td><td>33,627</td><td>36,128</td></tr></table> ・令和3年度に単価見直しを行った。 4,000円/a → 2,300円～2,700円/aに変更(管理委託料を廃止したことによる) ・事業継続により、非農家等の農業活動を開始のきっかけづくりに貢献 ②成果または活動の問題点 すべての区画の利用には至らなかった。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>特定農地貸付農園利用料</td><td>33,627</td><td>36,128</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>14,973</td><td>12,472</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>48,600</td><td>48,600</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>13 使用料及び賃借料</td><td>48,600</td><td>48,600</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>48,600</td><td>48,600</td></tr></table>												貸付区画数	貸付者数	農園①	21	15	農園②	4	4	使用区画数	利用者数	19	15	9	4	年度		R2	R3	R4	R5	R6	農園①	区画数	23	18	21	20	19	利用者数	17	13	15	14	15	農園②	区画数	9	6	4	4	9	利用者数	6	5	4	3	4	利用料		51,840	37,848	40,208	33,627	36,128	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	20-5-5-1	特定農地貸付農園利用料	33,627	36,128										一般財源	14,973	12,472	計		48,600	48,600	款-項-目-節	前年度決算額	本年度決算額	13 使用料及び賃借料	48,600	48,600										計	48,600	48,600
	貸付区画数	貸付者数																																																																																																									
農園①	21	15																																																																																																									
農園②	4	4																																																																																																									
使用区画数	利用者数																																																																																																										
19	15																																																																																																										
9	4																																																																																																										
年度		R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
農園①	区画数	23	18	21	20	19																																																																																																					
	利用者数	17	13	15	14	15																																																																																																					
農園②	区画数	9	6	4	4	9																																																																																																					
	利用者数	6	5	4	3	4																																																																																																					
利用料		51,840	37,848	40,208	33,627	36,128																																																																																																					
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																								
20-5-5-1	特定農地貸付農園利用料	33,627	36,128																																																																																																								
	一般財源	14,973	12,472																																																																																																								
計		48,600	48,600																																																																																																								
款-項-目-節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																									
13 使用料及び賃借料	48,600	48,600																																																																																																									
計	48,600	48,600																																																																																																									
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		遊休農地の活用法の一つとして有効。農地を持たない方の農業への関心を高める事や定年退職後の生きがいづくりとして効果がある。																																																																																																								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		募集の範囲を全町に拡大して、新規契約者を確保する。																																																																																																								
	解決すべき課題への方策		地域振興協議会等と連携を取り、空き区画の利用者募集の周知やPRを行う。																																																																																																								

農園①

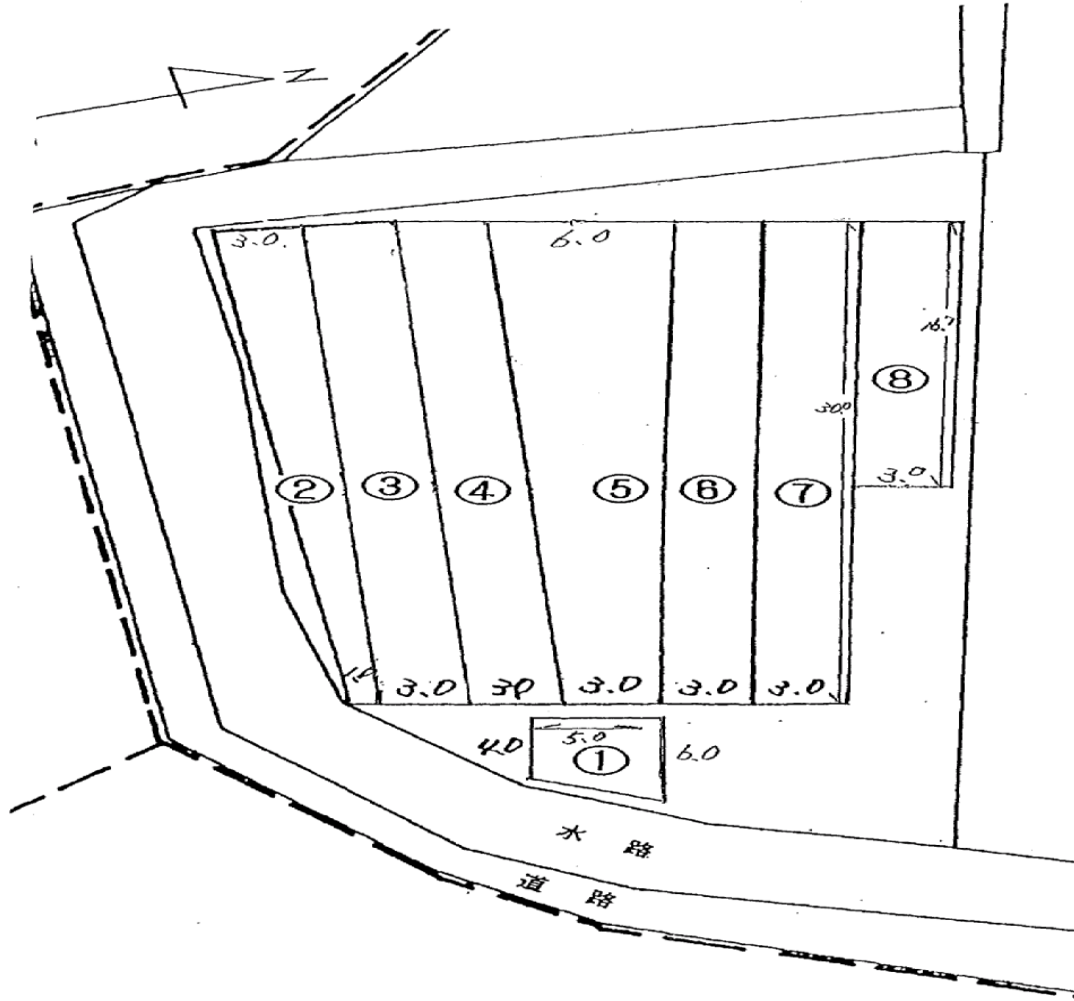
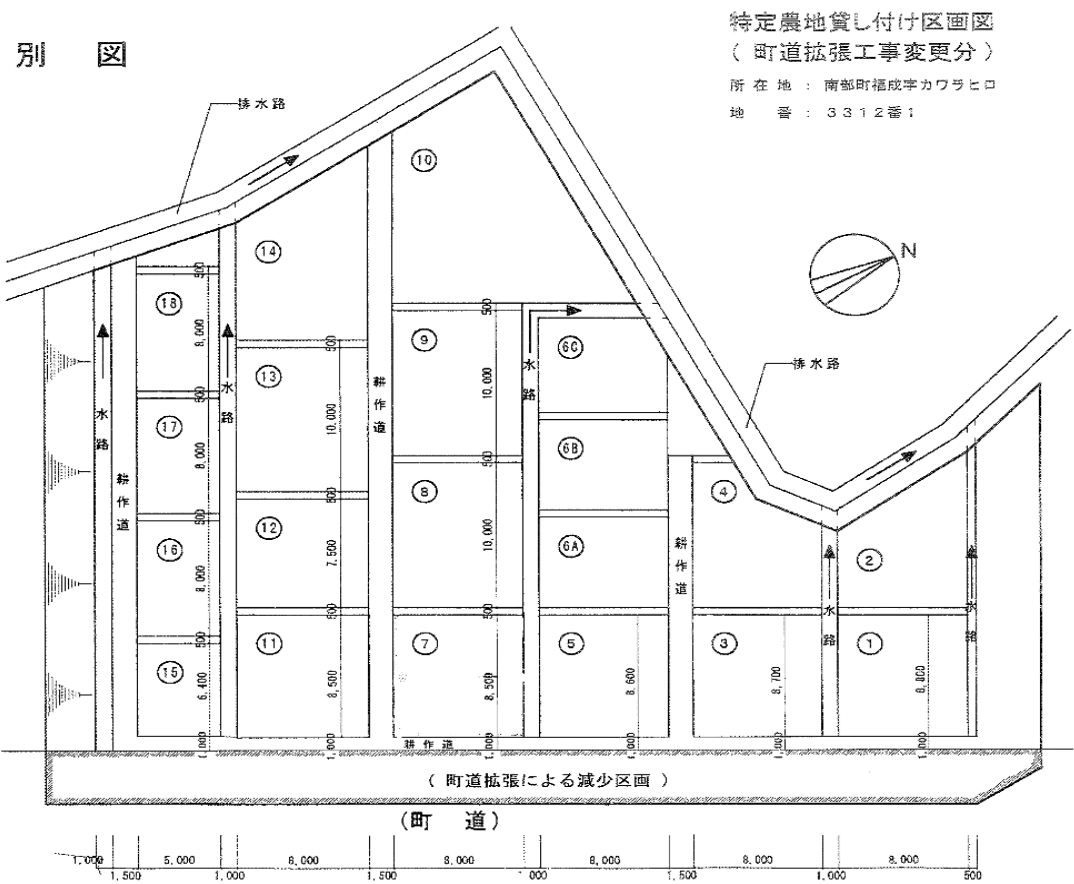
No.	区画番号	利用状況
1	1 - 1A	有
	1 - 1B	有
2	1 - 2	有
3	1 - 3	有
4	1 - 4	有
5	1 - 5	有
6	1 - 6A	有
	1 - 6B	有
	1 - 6C	有
7	1 - 7A	無
	1 - 7B	有
8	1 - 8	無
9	1 - 9	有
10	1 - 10A	有
	1 - 10B	有
11	1 - 11	有
12	1 - 12	有
13	1 - 13	無
14	1 - 14	無
15	1 - 15	有
16	1 - 16	有
17	1 - 17	有
18	1 - 18	有
計	23区画	

※R5からの変更なし

農園②

No.	区画番号	利用状況
1	2 - 1	閉鎖
2	2 - 2	有
3	2 - 3A	有
	2 - 3B	有
4	2 - 4	有
5	2 - 5A	有
	2 - 5B	有
6	2 - 6A	有
	2 - 6B	有
7	2 - 7	有
8	2 - 8	閉鎖
計	9区画	

網掛けはR6からの利用状況
の変更区画(無→有)



款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		5	地産地消奨励事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		学校給食等に食材を提供する農業者(南部町食材供給連絡協議会)					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		食材供給連絡協議会の会員が出荷時に負担する手数料の一部を補助し、出荷の増強を目指す					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		住民を対象とした栽培セミナー等の研修会の開催し、連絡協議会員の増加を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		99.65 %		
		1,175,430 円	183,360 円	△ 992,070 円	△ 84.4 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		1,176 千円	184 千円	△ 992 千円	△ 84.4 %					
【事業内容】										
町内で生産される新鮮で安全性の高い農作物を地域の小中学校や施設等で食材利用することで食育等の推進に寄与し、併せて生産者の所得向上及び生きがい増進の一端を担う取り組みを展開するとともに地産地消を推進する。 具体的な組織として、学校給食をはじめ町内公共的施設に町内生産の野菜を提供調整を行う南部町食材供給連絡協議会に人員を配置し運営を支援するとともに、各施設への食材の配送に係る経費を補助する。										
【決算の状況】										
(計画及び実績) ①成果実績または活動実績										
費目		予算額	決算額	備考				単位:円	(参考) 単位:円	
負担金補助及び交付金		184,000	183,360	食材配送補助金					R5決算額	
計		184,000	183,360						1,175,430	
・令和6年度補助金実績										
配送体制整備補助金 183,360円 … (公)シルバー人材センター配達派遣代に対する補助										
■南部町食材供給連絡協議会事務員(会計年度任用職員:フルタイム)を配置し調整業務及び配達用務を支援した。										
■食材供給者を増やすため、栽培セミナー等の研修会の開催。										
■種芋(じゃがいも)を会員に配布し、食材供給量の増加を図る取組を行った。										
(参考)令和5年度は、販売管理等に必要なIT導入費用を補助した。R6年度54回。										
【研修会等の実績】										
実施内容		開催日	参加者数(人)		《売上額等の年度比較》			単位:円、人		
「ゆうらく」との意見交換会		5月24日	7		年度	売上額	供給者数			
視察研修「鳥取県立農業大学校」		10月29日	11		R2	5,144,115	44			
栽培講習会(普及所に講師依頼)		11月15日	14		R3	3,915,055	46			
図書館主催栽培講習会		1月21日	5		R4	3,927,511	47			
図書館より「食材供給連絡協議会 本の出前サービス」		4月～3月まで 合計4回開催	45		R5	4,019,104	49			
畑訪問(会員)		2回開催	14		R6	3,306,950	43			
②成果または活動の問題点										
売上額及び供給者が減少していることから、会員を図るため、多くの方が参加できるセミナー等の開催が必要。										
※前年度決算状況との比較										
R6年度は、IT導入事業(その他補助金)を実施し、直売所の販売管理に必要なシステムを整備した(2件で1,000,000円)。										
(歳入内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	(歳出内訳 単位:円)		節	前年度決算額	本年度決算額	
14-2-1-1	さくら基金繰入金		1,000,000	0	18	負担金補助及び交付金	1,175,430	183,360		
	一般財源		175,430	183,360						
	計		1,175,430	183,360		計	1,175,430	183,360		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		給食食材として子供たちに町内産の野菜を提供し、地元の食材として食育に役立っている。高齢者の生きがいとして農業に関わってもらえ、畑の維持もできる。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		発注者と供給者の連絡体制の強化を図りながら、学校給食での南部町産の食材を使ったメニューを増やしてもらえるよう働きかけを続けていく。							
	解決すべき課題への方策		農業者の高齢化により、野菜の作付が減っているため、現出荷者の維持と新会員の確保に取り組む。多様なテーマの栽培講習会等を開催し、情報発信を行いながら会員の確保に努めていく。							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		6	汗かく農業者等支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		農業所得向上に取り組む個人又は小規模農業団体					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		小規模農業者の方の所得向上と地域農業を守る中心的農業者の育成を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		小規模農業者の方の生産性向上、新規販売作物の作付や販売促進を図り、地域の農地保全や農業の継続を支援する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町汗かく農業者等支援事業補助金交付要綱				
		3,127,000 円	3,647,000 円	520,000 円	16.6 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		3,582 千円	4,000 千円	418 千円	11.7 %					
		令和6年度執行率	91.18 %							
【事業内容】										
① 所得向上を目標に、販売に取り組む農家に対し、栽培推進、施設整備、機械整備を補助する。 補助対象基準…販売を目的とした事業計画であること。 ② じげの農地を守るため、自主施工による水路、作業道の整備や、農地改良を行う意欲的な農業者の方に対して、資格取得や作業内容に対して支援を行うことで、農地保全を図るとともに農業者の方の営農意欲を引き上げる。 (注)じげの職人支援事業を継承										
【決算の状況】										
(計画)			(実績)							
・汗かく農業者等支援事業			①成果実績または活動実績							
			単位:件、円							
栽培促進 1件			区 分	件数	事業費	補助率	補助金額			
施設整備 1件			栽培促進	2	188,710	1/2	93,000			
機械整備 10件			施設整備	2	2,396,568	1/3	692,000			
資格取得 3件			機械整備	15	7,493,319	1/3	2,235,000			
農地改良 10件			資格取得	0	0	1/3	0			
			農地改良	5	1,456,780	1/2	627,000			
			小計	24	11,535,377		3,647,000			
【補助内容】										
・栽培促進… 柿苗木購入2件										
・施設整備… ビニールハウス補修1件、ビニールハウス新設1件										
・機械整備… 乗用モア4件、施肥播種機1件、葯精選機1件、運搬車2件										
背負動力噴霧器1件、高速目皿式播種機1件、高圧洗浄機1件										
鎮圧ローラー1件、うね整形機1件、スパイダーモア1件										
フレールモア1件										
・資格取得… 実績なし										
・農地改良… 水路設置1件、農地改良2件、進入路整備2件										
②成果または活動の問題点										
補助支援による農家の生産性及び収益の向上効果について、十分な検証ができていない状況。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							18 負担金補助及び交付金	3,127,000	3,647,000	
	一般財源				3,127,000	3,647,000				
	計				3,127,000	3,647,000	計	3,127,000	3,647,000	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		国、県の補助事業では、認定農業者など経営規模の大きな農業者や、特定の作物の生産者の方への施策が集中していたため、小規模農家の多い南部町では対象者が限定されていた。多様な農家の取り組みを支援し、地域農業を支える経営基盤の維持、改善を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		所得向上のための施設整備等や集落内で大型農機や特殊機械のオペレーターの育成、農地改良を進める。							
	解決すべき課題への方策		関連した単県の基盤整備事業の活用も含め、より効果的な事業の進め方を検討する。							

事業名	6	汗かく農業者等支援事業		所属名	産業課
【補助金】(下段:実績額)					
件名	目的	概要	積算根拠	補助相手	
南部町汗かく農業者等支援事業補助金	農地改良	農地の区画整理を実施することで、農業基盤を確保する。	事業費234,000円×1/2 ＝117,000円	A農業者 (117,000円)	
	機械整備	施肥播種機を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費620,000円×1/3 ≒206,666円 (上限200,000円)	B農業者 (200,000円)	
	農地改良	農地の進入路を改修することで、農業基盤を確保する。	事業費74,000円×1/2 ＝37,000円	C農業者 (37,000円)	
	機械整備	葯精選機を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費200,000円×1/3 ≒66,000円 (千円未満切り捨て)	D農業者 (66,000円)	
	機械整備	乗用モアを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費660,000円×1/3 ＝220,000円 (上限200,000円)	E農業者 (200,000円)	
	機械整備	乗用モアを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費600,000円×1/3 ＝200,000円	F農業者 (200,000円)	
	施設整備	イチゴの栽培数を増やし、収益性向上を図る。	事業費578,386円×1/3 ≒192,000円 (千円未満切り捨て)	G農業者 (192,000円)	
	機械整備	背負動力噴霧器を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費62,000円×1/3 ≒20,000円 (千円未満切り捨て)	H農業者 (20,000円)	
	農地改良	農地の進入路を改修することで、農業基盤を確保する。	事業費155,000円×1/2 ≒77,000円 (千円未満切り捨て)	I農業者 (77,000円)	
	機械整備	高速目皿式播種機を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費836,364円×1/3 ≒278,788円 (上限200,000円)	J農業者 (200,000円)	
	栽培推進	柿の栽培数を増やし、収益性向上を図る。	事業費55,810円×1/2 ≒27,000円 (千円未満切り捨て)	K農業者 (27,000円)	
	機械整備	乗用モアを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費600,000円×1/3 ＝200,000円	L農業者 (200,000円)	
	機械整備	鎮圧ローラーを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費547,500円×1/3 ≒182,000円 (千円未満切り捨て)	M農業者 (182,000円)	
	機械整備	高圧洗浄機を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費186,000円×1/3 ＝62,000円	N農業者 (62,000円)	
	機械整備	運搬車を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費898,000円×1/3 ≒299,333円 (上限200,000円)	O農業者 (200,000円)	
	施設整備	ぶどうの栽培数を増やし、収益性向上を図る。	事業費1,818,182円×1/3≒606,060円 (上限500,000円)	P農業者 (500,000円)	
	機械整備	スパイダーモアを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費236,364円×1/3 ≒78,000円 (千円未満切り捨て)	Q農業者 (78,000円)	
	機械整備	乗用モアを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費578,000円×1/3 ≒192,000円 (千円未満切り捨て)	R農業者 (192,000円)	
	機械整備	運搬車を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費760,000円×1/3 ≒200,000円 (上限200,000円)	S農業者 (200,000円)	
	機械整備	フレールモアを導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費563,636円×1/3 ≒187,000円 (千円未満切り捨て)	T農業者 (187,000円)	

事業名	6	汗かく農業者等支援事業	所属名	産業課
-----	---	-------------	-----	-----

【補助金】

(下段:実績額)

件名	目的	概要	積算根拠	補助相手
南部町汗かく農業者等支援事業補助金	機械整備	うね整形機を導入し、作業の省力化を行い、農業営農の安定及び所得向上を図る。	事業費145,455円×1/3 ≒48,000円 (千円未満切り捨て)	U農業者 (48,000円)
	農地改良	湿田対策工事を行うことで、農業基盤を確保する。	事業費392,780円×1/2 ≒196,390円 (千円未満切り捨て)	V農業者 (196,000円)
	栽培推進	柿の栽培数を増やし、収益性向上を図る。	事業費132,920円×1/2 ≒66,000円 (千円未満切り捨て)	W農業者 (66,000円)
	農地改良	農地の進入路を改修することで、農業基盤を確保する。	事業費601,000円×1/3 ≒200,000円 (上限200,000円)	X農業者 (200,000円)

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		7	経営所得安定対策等推進事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町農業再生協議会					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		経営所得安定対策等の交付事務を円滑に実施するため、農業再生協議会の運営基盤を強化する。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農業再生協議会への補助金交付を通じて経営所得安定対策の適正実施を図り産地づくりと農地の利活用を推進する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減						
3,834,000 円		4,474,000 円	640,000 円	16.7 %						
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	100.00 %			
	3,834 千円		4,474 千円	640 千円	16.7 %					
【事業内容】 経営所得安定対策等推進事業(国事業_補助率:国10/10(予算の範囲内)) 経営所得安定対策を推進する南部町農業再生協議会に対し推進事務費を補助する。										
【決算の状況】 (計画及び実績) 南部町農業再生協議会予算執行状況 単位:円										
科目			予算	決算	差引増減	備考				
1)経営所得事務			560,000	570,584	10,584	作付確認謝礼等				
2)通信運搬費			60,000	42,576	△ 17,424	郵送代、インターネット代				
3)雑役務費			3,000	2,310	△ 690	振込手数料				
4)消耗品費			196,000	154,573	△ 41,427	事務用消耗品				
5)借料・損料			300,000	299,640	△ 360	地図利用料、複合機借料				
6)電算事務費			295,000	291,540	△ 3,460	NOSAI鳥取				
7)人件費（臨時職員）			3,060,000	3,112,777	52,777	会計年度任用職員1名(31時間勤務)				
合計			4,474,000	4,474,000						
①成果実績または活動実績			活動実績の状況は次頁に記載							
②成果または活動の問題点			・土地利用型の飼料用米や小麦の増進が図られているが、新規就農に多い白ネギ等については気象や農地の特性から生産性に課題があることを背景に面積が伸び悩んでいる。 ・土地利用型の大豆については、夏季の高温により生育不良が生じており収量を落としている。 ・地域の特性に応じた栽培技術の高度化が必要となっており、普及所や生産部会との連携を強化する。							
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-4-1	直接支払推進事業補助金		3,834,000	3,707,000	18 負担金補助及び交付金	3,834,000	4,474,000			
	一般財源		0	767,000						
	計		3,834,000	4,474,000	計	3,834,000	4,474,000			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		平成29年度に生産調整が廃止となり、産地交付金については「水田収益力強化ビジョン」により地域の戦略作物を指定して作付推進を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		水田収益力強化ビジョンにより地域の戦略作物を指定し、重点作物の作付を推進し、農家所得の向上を図る。							
	解決すべき課題への方策		生産調整の廃止にあたって、転換作物等で水田の活用を維持し、農家収入の安定を図る。							

○取組実績の状況
南部町農業再生協議会が作成する「水田収益力強化ビジョン」で、作目毎に作付けの面積目標を定めている。
(単位:ha)

作物等	令和8年度作付目標面積		令和6年度作付面積		令和5年度作付面積 (参考)	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	534.4		540.3		534.4	
備蓄米	0.0		0.0		0.0	
飼料用米	85.0		76.0		85.0	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	0.0		0.0		0.0	
WCS用稲	5.9		5.9		2.3	
加工用米	0.0		0.0		0.0	
麦	20.2	20.2	20.6	13	13.3	13.3
大豆	30.7		23.1		22.0	
飼料作物	15.0	4.0	19.8	3.1	22.1	5.2
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0.0	
そば	15.0		13.6		17.5	
なたね	1.0		0.2		0.0	
地力増進作物	5.0		4.3		4.0	
高収益作物	17.5		13.2		13.1	
・白ネギ	12.0		8.8		8.8	
・ブロッコリー	2.0		1.8		1.2	
・施設野菜	1.0		0.4		0.5	
・施設花き	0.5		0.6		0.6	
・施設果樹	0.0		0.0		0.0	
・地域奨励作物	2.0		1.6		2.0	
その他	66.0		67.0		66.8	
畑地化	0.4		0.4		0.4	

- ・全体としては、令和8年度の作付目標面積に対して順調に作物転換が進んでいる。
- ・麦については、令和5年度に生産基盤(機械基盤)が強化されたことで取組が加速し面積が拡大している。
- ・大豆については、生産者数の変動で面積の推移が安定しないが、前年度に対して僅かに面積が拡大している。令和6年度中に県西部圏域で生産部会が立ち上がっており、生産安定のための栽培技術の改善を通じて品質及び収量の安定と面積拡大を図る。
- ・白ネギについては、夏季の酷暑により夏ネギや夏越しの秋冬ネギの栽培が安定しておらず、面積拡大が厳しい状況となっている。生産部を中心とした暑熱対策の検討を通じて、環境に適応した生産方式を取り入れる。

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名		8	中山間地域等直接支払交付金事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		対象農用地において継続的な農業生産活動を行う農業者組織、集落等					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		集落で農地を守る体制を整えることで、条件不利な中山間地域等における農業生産の維持を図りながら、多面的機能を確保する。					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		・条件不利地である中山間地域の農業生産活動の維持 ・協定対象農用地減少の防止					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度 執行率		99.42	%
		38,232,387 円	38,883,822 円	651,435 円		1.7 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減					
		38,233 千円	39,109 千円	876 千円		2.3 %					
【事業内容】 中山間地域等直接支払交付金(国事業__補助率:国1/2、県1/4、町1/4(特認地域は国1/3、県1/3、町1/3)) 中山間地域等における農業生産条件の不利を補正することで、将来に向けた農業生産活動の継続をするため、継続して5年間農業生産活動等に取り組む集落等に対して、面積に応じて交付金を交付する。 対象農用地・・・ 農振農用地区域内で、合計1ha以上の農用地 交付単価											
		地目	急傾斜	緩傾斜	備 考						
		田	21,000円/10a	8,000円/10a	取組内容により、10割又は8割を交付 ・8割交付要件:農業生産活動等の継続のための活動 ・10割交付要件:上記に加え、集落戦略(協定農用地の将来像等の指針)の策定						
		畑	11,500円/10a	3,500円/10a							
【決算の状況】 (計画) 単位:協定、ha											
			計画	実績	(うち8割単価は25協定)						
		協定数	37	37							
		取組面積	315.3	320.2							
(実績) ①成果実績または活動実績 現地確認 7/8、9、11、12、26実施											
②成果または活動の問題点 1協定追加となったが、各協定とも高齢化・担い手不足が課題となっている。											
単位:協定、ha、円											
	年度	協定数	取組面積	増減面積	交付金額	増減額	備考				
	R2	36	311.5	-	38,094,285	-	第5期対策				
	R3	36	314.6	3.1	38,411,064	316,779					
	R4	36	315.3	0.7	38,509,521	98,457					
	R5	36	316.8	1.5	37,998,387	△ 511,134					
	R6	37	320.2	3.4	38,746,822	748,435					
■ 新規取組協定(朝金)があったこと等により面積が増加となった。交付金額については、朝金追加によるもののほか、加算の配分が昨年度に比べ増えたため増額となった。											
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
15-2-4-1		中山間地域等直接支払推進事業補助金			28,390,184	28,951,510	10 需用費		154,000	107,000	
15-2-4-1		中山間地域等直接支払推進関連事業補助金			234,000	137,000	11 役務費		80,000	30,000	
							18 負担金補助及び交付金		37,998,387	38,746,822	
		一般財源			9,608,203	9,795,312					
		計			38,232,387	38,883,822	計		38,232,387	38,883,822	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		複数集落の連携した取り組み、事務の一元化を推進、未加入集落の加入を推進する。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		協定の維持・継続へ向けて、事業内容の広報に努めると共に、事務作業のサポートを行う。								
	解決すべき課題への方策		単独では取組が難しい集落に対して、複数集落での取組を提案する。								

事業名	8	中山間地域等直接支払交付金事業	所属名	産業課
-----	---	-----------------	-----	-----

【令和6年度 中山間地域等直接支払交付金交付団体】

協定名	協定 認定 年度	協定変 更認定 年度	単価	加算 (注 1)	田		畑		面積計 (㎡)	交付金額 (円)
					急傾斜 (㎡)	緩傾斜 (㎡)	急傾斜 (㎡)	緩傾斜 (㎡)		
小原	2	3	10割			67,375			67,375	539,000
柏尾	2	6	10割	生	177,266				177,266	4,209,282
福頼	2		10割		9,531	106,466			115,997	1,051,879
馬場	2	3	10割	生・集	15,718	103,293			119,011	1,701,010
伐株	2		10割		32,937				32,937	691,677
掛相	2	3	10割		80,013	52,770			132,783	2,102,433
西・山田谷	2	3, 4	10割	広	82,826	408,825	10,898	3,340	505,889	6,535,917
八金	2	6	10割		69,748	21,307			91,055	1,635,164
赤谷	2		10割		43,581				43,581	915,201
金田	2		10割		81,499				81,499	1,711,479
高姫	2		10割			203,208			203,208	1,625,664
早田	2	6	8割		11,075	39,307	317	340	51,039	551,866
明枝	2		8割			18,409			18,409	117,817
猪小路	2	3, 5	8割		20,645	135,869			156,514	1,216,397
与一谷	2		8割			53,817			53,817	344,428
北方	2		8割		1,060	43,490			44,550	296,144
長田	2		8割		30,170				30,170	506,856
上鴨部	2		8割		63,583	39,462			103,045	1,320,750
落合	2	4, 5	8割		12,303				12,303	206,690
馬佐良	2	3	8割			97,004			97,004	620,825
江原	2	3	8割		14,853	29,171			44,024	436,224
今長	2	3	8割		17,015	70,000			87,015	733,852
金山中央	2		8割		74,794		494		75,288	1,261,083
金山鎌倉	2		8割		13,488	9,355			22,843	286,470
能竹	2	5	8割		18,797	22,801			41,598	461,715
入蔵	2	5, 6	8割		46,961	11,734			58,695	864,041
驛牛	2	3	8割		47,059				47,059	790,591
大河内	2		8割		23,801	3,237			27,038	420,572
浅井	2	5	8割			62,863			62,863	402,323
荻名	2		8割		26,029				26,029	437,287
ケド谷・鳴居	2	3	8割			59,057			59,057	377,964
御内谷	2	3	8割		87,154	135,482			222,636	2,331,271
金突谷	2		8割			29,519			29,519	188,921
縄平	2		8割			51,794			51,794	331,481
朝金	6		8割			34,314			34,314	219,609
寺内	2	3	10割			112,725			112,725	901,800
田住	2		8割			62,678			62,678	401,139
合計					1,101,906	2,085,332	11,709	3,680	3,202,627	38,746,822

(注 1) 加算内容

- ・ 生：生産性向上加算
- ・ 集：集落機能強化加算
- ・ 公：広域加算

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		9	多面的機能支払交付金事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		農地の保全管理、施設修繕を行う農業者及び地域住民、団体					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		農業の多面的機能を発揮するための活動(農地の保全管理、農業用施設の補修及び改修)を行う地域を支援する。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農地の災害防止や環境保全、景観の形成などの働きを維持する。地域が共同して保全活動を行い、負担軽減や作業効率の向上を図る。 対象農用地の維持。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度執行率		87.87 %
		36,876,532 円	37,535,370 円	658,838 円		1.8 %				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減				
		36,880 千円	42,716 千円	5,836 千円		15.8 %				
【事業内容】 多面的機能支払交付金(国事業_補助率:国1/2、県1/4、県1/4) 農業者や地域住民等で構成される活動組織が、5年間の計画に基づき、草刈や水路清掃等の活動、共同作業による農村環境保全活動や農業施設の補修・改修による長寿命化対策の取組に対する補助を行う。 国、県及び町は活動に応じて活動組織へ交付金を支払い、農地や農業用施設の維持を支援する。 ・ 農地維持支払 … 農地、水路及び農道の日常的な維持管理活動を支援する ・ 資源向上支払(共同活動) … 農地、水路及び農道等の軽微な補修または農地環境保全活動を支援する ・ 資源向上支払(長寿命化) … 農業用施設の補修及び更新を支援する										
【決算の状況】 (計画) (実績) 活動組織数 32組織 ①成果実績または活動実績 対象面積 54.7ha 計画通り活動が実施され、草刈りや水路清掃等の活動が行われ、景観形成等農地の多面的機能が維持された。										
単位:組織、ha、円										
		年度	組織数	協定農用地面積	増減面積	交付金額		増減額		
		H29	40	653.3	-	39,855,932		-		
		H30	38	568.7	△ 84.6	44,550,390		4,694,458		
		R1	36	625.1	56.4	44,746,486		196,096		
		R2	33	596.9	△ 28.2	41,989,784		△ 2,756,702		
		R3	33	597.6	0.7	38,408,720		△ 3,581,064		
		R4	32	554.0	△ 43.6	39,618,066		1,209,346		
		R5	32	547.2	△ 6.8	36,768,532		△ 2,849,534		
		R6	32	548.8	1.6	37,432,370		663,838		
○令和6年度交付額の内訳 ・農地維持支払 32組織 548.8ha 16,035,300 円 ・資源向上支払(共同活動) 22組織 415.6ha 7,250,244 円 ・資源向上支払(長寿命化) 23組織 440.6ha 14,146,826 円										
②成果または活動の問題点 農業者の高齢化に伴い、活動の継続に課題がある。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
15-2-4-1		多面的機能支払い交付金事業補助金		27,685,973	28,220,026	10 需用費		63,000	73,000	
						11 役務費		45,000	30,000	
						18 負担金補助及び交付金		36,768,532	37,432,370	
		一般財源		9,190,559	9,315,344					
		計		36,876,532	37,535,370	計		36,876,532	37,535,370	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		活動組織の取り組み継続に向けて支援を行う。事務処理の負担感が強いため、活動内容の整理を促す。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		事業期間が終了となる組織について、面談等を行い引き続き活動継続を促す。							
	解決すべき課題への方策		役員の世代交代、事務処理の外部委託等を推進し、活動を継続しやすい環境づくりに努める。							

事業名	9	多面的機能支払交付金事業	所属名	産業課
-----	---	--------------	-----	-----

【令和6年度 多面的機能支払交付金交付団体】					単位:a、円
活動組織名	協定面積	活動項目			交付額
		維持	共同	長寿	
下鴨部農村地域協議会	856	○	○	○	633,732
市山地域づくり会	1,949	○	○	○	1,571,066
田住農村地域協議会	2,603	○	○	○	2,020,158
宮前一区農村地域協議会	1,323	○	○	○	1,066,455
上阿賀水土里会	1,915	○	○	-	892,800
坂根活動組織	2,629	○	○	○	2,086,669
谷川農村地域協議会	2,355	○	○	○	1,699,582
天萬地域農地・水協議会	3,303	○	○	○	2,662,510
浅井地域活動協議会	1,225	○	○	○	987,458
清水川農地・水・環境保全向上対策協議会	986	○	○	○	794,803
三崎地区農地・水・環境保全会	3,730	○	○	○	3,006,710
下阿賀緑会	731	○	○	○	589,251
小原農地・水保全	1,453	○	-	○	909,706
馬場地域資源保全会	1,189	○	○	○	958,439
徳長地域農地保全活動組織	1,251	○	○	○	984,626
掛相区多面的機能支払交付金管理組合	1,431	○	○	○	1,127,272
寺内地域資源保全会	2,406	○	○	○	1,939,449
宮谷活動組織	732	○	-	○	452,461
高姫地区活動組織	1,770	○	-	-	531,000
猪小路資源保全活動組織	1,561	○	-	○	977,324
馬佐良区活動組織	970	○	○	-	465,600
柏尾農地保全事業	3,711	○	○	○	2,925,619
地域資源保全管理福頼区活動組織	1,029	○	-	-	308,600
原北方農地維持会	2,148	○	-	○	1,344,837
武信・道河内地域多面的機能活動組織	952	○	○	○	764,947
金突谷	295	○	○	○	237,796
早田地域資源保全会	509	○	○	-	243,288
五色農地維持組合	3,390	○	-	-	678,000
西川水利組合	80	○	-	-	24,000
縄平農地保全会	564	○	-	-	169,200
多面的組織南さいはく	5,248	○	○	○	4,202,012
ケド谷・鳴居地区活動組織	590	○	-	-	177,000
合計	54,884				37,432,370

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																																																																								
事業名		10	がんばる農家プラン事業						所属名	産業課																																																																								
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		経営拡大等に取り組む意欲のある農業者の方					総合計画における位置づけ																																																																										
	意図 (対象をどうするか)		地域農業の担い手農業者の取り組みを支援し、経営基盤の強化を図る					②魅力ある農林業と商工業の振興																																																																										
	成果の視点 (どのような効果があるか)		地域農業の中核であるの担い手農業者の経営基盤の強化を支援し、営農の効率化と農地の利活用を推進する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																										
								④共生と防災のまちづくり																																																																										
								根拠法令・要綱等																																																																										
	前年度比較		令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減																																																																									
1,685,000 円			5,375,000 円		3,690,000 円		219.0 %																																																																											
令和5年度予算額			令和6年度予算額		差引		増減																																																																											
1,686 千円			5,375 千円		3,689 千円		218.8 %																																																																											
						令和6年度執行率		100.00 %																																																																										
【事業内容】 ○ともに目指す！担い手強化支援事業(県事業_補助率1/2(県1/3、町1/6)) 意欲のある担い手農業者が取り組む生産額や経営規模拡大、低コスト化等を目指すプラン(営農の計画等)を作成し、県に認定を受けた後、3年度にわたってプランの実現に必要な機械導入等の支援を行い、元気な農業者の育成と地域農業の活性化を図る。 1. 意欲ある農業者等が作成したプランに基づく支援 ① 農業者が自ら作成する経営目標実現のためのプラン ② 西部総合事務所農林局へプランを申請し、審査会を経て認定を受ける 2. 事業実施主体 農業者、農業を営む法人、構成員10名以下の任意組織 (認定農業者または社会福祉事業を行う法人の場合は賃金を含む農業関係所得相当額が基本構想水準(年間農業所得300万円)を到達していること) 【決算の状況】 (計画) 単位:円 <table><tr><td>事業実施主体</td><td>事業内容</td><td>事業費</td><td>計画の概要</td></tr><tr><td>個人農業者A</td><td>コンバインの導入</td><td>10,750,000</td><td>生産性の向上による面積拡大、単収の向上</td></tr></table> (実績) ・プラン達成に向け面積拡大と単収の向上に取り組んでいる。 達成状況は毎年度5月に状況報告書を事業実施者から提出を受け、確認を行う。 ①成果実績または活動実績 単位:円 <table><tr><td>事業実施主体</td><td>事業内容</td><td>事業費</td><td>補助金額</td><td>うち県費</td><td>うち町費</td></tr><tr><td>個人農業者A</td><td>コンバイン</td><td>10,750,000</td><td>5,375,000</td><td>3,583,333</td><td>1,791,667</td></tr></table> ・計画していた面積拡大を達成した。単収についても目標の9割を超え、概ね目標を達成した。 ②成果または活動の問題点 機械導入効果を発揮するために、生産リスクのある情報を共有していく。 ※前年度決算状況との比較 事業実施主体の作成したプランに基づいて導入される農業機械及び設備の整備に要する費用の支援を行うため、年度毎に事業費の変動がある (面積拡大の状況) 単位:a 上段:目標 下段:実績 <table><tr><td>事業実施主体</td><td>作目</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="2">個人農業者A</td><td rowspan="2">水稻</td><td>2,200</td><td>2,500</td><td>2,800</td><td>3,100</td></tr><tr><td>2,200</td><td>3,000</td><td>3,452</td><td>-</td></tr></table> (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>がんばる農家プラン事業補助金</td><td>1,123,333</td><td>3,583,333</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>561,667</td><td>1,791,667</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1,685,000</td><td>5,375,000</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>18</td><td>負担金補助及び交付金</td><td>1,685,000</td><td>5,375,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1,685,000</td><td>5,375,000</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 事業規模の拡大や安定した経営を行なうための支援策として有効。事業を行う際に作るプランにより経営の現状や将来展望が再確認できる。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 達成できた点をさらに伸ばす方策 引き続き農地の集積・集約化を促し、生産基盤の安定と作業効率化を促す。 解決すべき課題への方策 高温に適応した品種、病害虫の発生状況等の情報共有を行い、生産リスクの軽減を図る。											事業実施主体	事業内容	事業費	計画の概要	個人農業者A	コンバインの導入	10,750,000	生産性の向上による面積拡大、単収の向上	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	うち県費	うち町費	個人農業者A	コンバイン	10,750,000	5,375,000	3,583,333	1,791,667	事業実施主体	作目	R4	R5	R6	R7	個人農業者A	水稻	2,200	2,500	2,800	3,100	2,200	3,000	3,452	-	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	がんばる農家プラン事業補助金	1,123,333	3,583,333						一般財源	561,667	1,791,667		計	1,685,000	5,375,000	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	18	負担金補助及び交付金	1,685,000	5,375,000						計	1,685,000	5,375,000
事業実施主体	事業内容	事業費	計画の概要																																																																															
個人農業者A	コンバインの導入	10,750,000	生産性の向上による面積拡大、単収の向上																																																																															
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	うち県費	うち町費																																																																													
個人農業者A	コンバイン	10,750,000	5,375,000	3,583,333	1,791,667																																																																													
事業実施主体	作目	R4	R5	R6	R7																																																																													
個人農業者A	水稻	2,200	2,500	2,800	3,100																																																																													
		2,200	3,000	3,452	-																																																																													
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																															
15-2-4-1	がんばる農家プラン事業補助金	1,123,333	3,583,333																																																																															
	一般財源	561,667	1,791,667																																																																															
	計	1,685,000	5,375,000																																																																															
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																															
18	負担金補助及び交付金	1,685,000	5,375,000																																																																															
	計	1,685,000	5,375,000																																																																															

事業名	10	がんばる農家プラン事業	所属名	産業課
-----	----	-------------	-----	-----

(参考)

単位:円

年度	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	うち	
					県費	町費
R2	寺内農場	コンバイン	11,757,000	5,878,500	3,919,000	1,959,500
	個人農業者C	餅つき機	2,370,000	1,185,000	790,000	395,000
	計		14,127,000	7,063,500	4,709,000	2,354,500
R3	個人農業者C	PR資材	78,000	39,000	26,000	13,000
	計		78,000	39,000	26,000	13,000
R4	個人農業者D	白ネギ掘取機、トラクター30PS	3,750,000	1,875,000	1,250,000	625,000
	個人農業者A	トラクター60PS、ロータリー	8,240,800	4,120,400	2,746,933	1,373,467
	計		11,990,800	5,995,400	3,996,933	1,998,467
R5	個人農業者D	運搬車	670,000	335,000	223,333	111,667
	個人農業者A	ハロー(2機)	2,700,000	1,350,000	900,000	450,000
	計		3,370,000	1,685,000	1,123,333	561,667

- ・ 上記の事業実施者は計画目標達成済

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		11	集落営農体制強化支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		基本構想に基づき、農業経営基盤強化に向けて機械、施設の整備等を行う集落営農組織					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		集落営農の組織化と機械・施設の整備を支援することにより、集落営農の発展と地域の農用地の維持を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		集落営農組織からの要望等により必要な対応、計画実施ができるか。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
	前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		89.93 %	
1,409,091 円			250,000 円	△ 1,159,091 円	△ 82.3 %					
令和5年度予算額			令和6年度予算額	差引	増減					
19,410 千円			278 千円	△ 19,132 千円	△ 98.6 %					
【事業内容】 ・集落営農組織等が作業の効率化や生産性の向上に必要な農業機械、施設等の新規導入に対して支援する。 ・既存の集落営農組織が営農拡大等に必要な農業機械、施設等の整備を支援する。 (機械更新、現状維持にとどまる整備を除く) 事業要件 … 規約の整備、集落営農ビジョンの策定、導入機械で集落の農地の過半を受託すること 補助率 … 1/2(県費1/3、町費1/6) 上限額:1,800万円 目標達成状況の報告 … 事業実施年度の翌年まで集積面積等報告を県担当課に7月末に報告。目標達成に至らなかった場合は町、県関係機関で指導助言を行う。										
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績										
単位:円										
事業対象者		事業費	補助金額	補助負担額			内容			
				県	町	事業者				
集落営農とのやま	計画	556,000	278,000	185,333	92,667	278,000	スパイダーモア導入2台			
	実績	500,000	250,000	166,666	83,334	250,000				
計		500,000	250,000	166,666	83,334	250,000				
集団化による機械導入等が進められることで個別農家への経済的負担が抑制され、農地の維持活動、耕作放棄地の解消や拡大防止が図られている。										
※前年度決算状況との比較 ・補助として要望があった機械の金額によるその他補助金の減(R5:田植え機→R6:スパイダーモア)										
②成果または活動の問題点										
導入施設の稼働等について年次的に実績を記録し、効果を確認する。										
(参考:過去実績)										
単位:円										
年度	申請者	支援内容	事業費	補助金額	うち県費		うち町費			
R1	高野女生産組合	作業小屋	5,849,382	2,924,691	1,949,000		975,691			
R2	集落営農とのやま	ドローン導入	2,919,600	1,459,800	973,200		486,600			
R3	浅井集落営農組合	トラクター取得	4,300,000	2,150,000	1,433,333		716,667			
R4	宮前二区生産組合	コンバイン取得	10,700,000	5,350,000	3,566,666		1,783,334			
	集落営農やまとだに	農業用倉庫	7,970,000	3,985,000	2,656,666		1,328,334			
	下阿賀機械組合	トラクター取得	3,590,910	1,795,455	1,196,970		598,485			
R5	集落営農とのやま	田植機取得	2,818,182	1,409,091	939,394		469,697			
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-1	集落営農体制強化支援事業補助金		939,394	166,666			1,409,091	250,000		
	一般財源		469,697	83,334						
	計		1,409,091	250,000	計		1,409,091	250,000		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		集落営農組織を設立し、その単位で機械を導入し集団的に農地の維持を図っていくことにより、地域農業の継承及び農地の有効活用のため継続、拡充が必要である。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		高齢化等で担い手が減少する中、集落営農組織を立ち上げ、機械利用の効率化を図る集落等に働き掛け生産コスト低減や効率化を促し、将来に渡る持続可能な農業形態の構築を図る。							
	解決すべき課題への方策		本事業で導入された機材、施設等が計画的に有効活用されているか引き続き確認調査を行ってい							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名		11	集落営農体制強化支援事業（繰越）						所属名	産業課	
事業の目的	対象 （誰、何に対してか）		基本構想に基づき、農業経営基盤強化に向けて機械、施設の整備等を行う集落営農組織					総合計画における位置づけ			
	意図 （対象をどうするか）		集落営農の組織化と機械・施設の整備を支援することにより、集落営農の発展と地域の農用地の維持を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 （どのような効果があるか）		集落営農組織からの要望等により必要な対応、計画実施ができるか。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
								集落営農体制強化支援事業費補助金交付要綱			
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引		増減						
1,409,091 円		18,000,000 円	16,590,909 円		1,177.4 %						
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度執行率	100.00 %		
	19,410 千円		18,000 千円	△ 1,410 千円		△ 7.3 %					
【事業内容】 ・集落営農組織等が作業の効率化や生産性の向上に必要な農業機械、施設等の新規導入に対して支援する。 ・既存の集落営農組織が営農拡大等に必要な農業機械、施設等の整備を支援する。 （機械更新、現状維持にとどまる整備を除く） 事業要件 … 規約の整備、集落営農ビジョンの策定、導入機械で集落の農地の過半を受託すること 補助率 … 1/2（県費1/3、町費1/6） 上限額：1,800万円 ・繰越理由： 事業実施者が行う各種申請のための必要書類（事業実施者が農業員会に提出する農地転用及び農地の貸借）準備に時間を要し段階的な許可取得等に遅れが生じ、工事着手後の必要工期の確保が困難となったことから県の承認を得て繰越手続きを行い、実施に至った。 【決算の状況】 （計画及び実績） ①成果実績または活動実績 単位：円											
事業対象者			事業費	補助金額	補助負担額			内容			
					県	町	事業者				
農事組合法人 寺内農場		計画	49,754,000	18,000,000	12,000,000	6,000,000	31,754,000	乾燥施設建設(1棟) R6.8月完成			
		実績	49,754,000	18,000,000	12,000,000	6,000,000	31,754,000				
計		計画	49,754,000	18,000,000	12,000,000	6,000,000	31,754,000				
集団化による機械導入等が進められることで個別農家への経済的負担が抑制され、農地の維持活動、耕作放棄地の解消や拡大防止が図られている。											
②成果または活動の問題点 導入施設の稼働等について年次的に実績を記録し、効果を確認する。											
(参考：過去実績) 単位：円											
年度	申請者		支援内容	事業費	補助金額		うち県費				うち町費
R1	高野女生産組合		作業小屋	5,849,382	2,924,691		1,949,000				975,691
R2	集落営農とのやま		ドローン導入	2,919,600	1,459,800		973,200				486,600
R3	浅井集落営農組合		トラクター取得	4,300,000	2,150,000		1,433,333				716,667
R4	宮前二区生産組合		コンバイン取得	10,700,000	5,350,000		3,566,666				1,783,334
	集落営農やまとだに		農業用倉庫	7,970,000	3,985,000		2,656,666				1,328,334
	下阿賀機械組合		トラクター取得	3,590,910	1,795,455		1,196,970				598,485
R5	集落営農とのやま		田植機取得	2,818,182	1,409,091		939,394				469,697
(歳入内訳 単位：円)											
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-1	集落営農体制強化支援事業補助金			939,394	12,000,000	18 負担金補助及び交付金		1,409,091	18,000,000		
	一般財源			469,697	6,000,000						
	計			1,409,091	18,000,000	計		1,409,091	18,000,000		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		集落営農組織を設立し、その単位で機械を導入し集団的に農地の維持を図っていくことにより、地域農業の継承及び農地の有効活用のため継続、拡充が必要である。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		高齢化等で担い手が減少する中、集落営農組織を立ち上げ、機械利用の効率化を図る集落等に働き掛け生産コスト低減や効率化を促し、将来に渡る持続可能な農業形態の構築を図る。								
	解決すべき課題への方策		本事業で導入された機材、施設等が計画的に有効活用されているか引き続き確認調査を行ってい								

款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	5	農業振興費		会計名	一般会計		
事業名		13		南部町果樹生産振興事業									所属名		産業課	
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		果樹生産者の方並びに生産者団体									総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)		梨、柿の更新、品種転換やぶどうの新植を促進し、産地の維持、発展を図る。									②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)		鳥取県オリジナル新品種の梨・柿の作付割合の増加やぶどうの栽培振興により、収益性の高い生産体制が構築できる。									「五つの挑戦」から見た位置づけ				
												④共生と防災のまちづくり				
												根拠法令・要綱等				
												南部町鳥取梨生産振興事業費補助金 交付要綱、南部町柿生産振興事業費 補助金交付要綱				
令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		令和6年度 執行率		5.31 %						
前年度 比較		2,639,951 円		557,446 円		△ 2,082,505 円						△ 78.9 %				
		令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減								
		2,732 千円		10,503 千円		7,771 千円		284.4 %								
【事業内容】 町内の果樹振興を総合的に行うべく、下記の事業を統合し一括して事業を実施する。(県事業) ○梨生産振興事業(県補助事業) ・新品種梨等(新甘泉、二十世紀、王秋)の新植、改植、高接ぎ更新とそれに伴う果樹園施設の整備に係る経費を補助する。 ・防除用機械、園内道の整備 ・育成奨励金の交付(新植・全面改植…10a当たり200,000円) ○柿生産振興事業(県補助事業) ・県産オリジナル品種柿及びぶどうの新植、改植、高接ぎ更新、及び果樹園施設の整備に係る経費を補助する。 ・育成奨励金の交付(新植・全面改植…10a当たり48,000円) 【決算の状況】 (計画及び実績)次頁に記載 ①成果実績または活動実績 ・南部町特産の梨や柿の生産について、鳥取県と連携支援することで生産基盤の強化が進んでいる。 ②成果または活動の問題点 ・一方で、気象変動や病虫害等予測できない生産環境の変動に伴う収穫被害 への対応が課題となっている。 ・後継者不足や高齢化等により果樹農業の担い手が減少している。 ※1 五色ヶ丘果樹団地への新規参入者の支援として、防除用機械の導入を予定したが、令和7年度の農地耕作条件改善事業での支援が可能となったため本事業での補助金申請の希望は取り下げられた。 ※2 新植に伴う奨励金等の要望を受けたが、虫害に伴う生産意欲の減退で取組を止め、補助金申請の希望は取り下げられた。 ※3 降霜被害対策として、防霜ファンの導入支援を予定したが、設備導入に係る経費が高額であるため、当該果樹園における経営収支では、補助金交付を受けたとしても導入経費を賄えないことから再検討のうえ補助金申請の希望は取り下げられた。 ※4 令和6年度に発生した果樹カメムシ等虫害対策として、令和6年度12月議会において、新たに設けられた鳥取県補助金を活用した柿の網掛け施設の整備支援を予算編成している。7月以降の虫害が心配されており、予算を繰越した上で当該時期(R7.1～R7.7)までに施設整備支援を完了する。(繰越額6,000,000円) ※前年度決算状況との比較 生産者ごとに取り組み年度及び内容が異なるため、年度によって決算額は変動している。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)																
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額			
15-2-4-1		鳥取梨生産振興事業費補助金			540,025		443,446		18 負担金補助及び交付金		2,639,951		557,446			
15-2-4-1		鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金			1,339,483		0									
		一般財源			760,443		114,000									
		計			2,639,951		557,446		計		2,639,951		557,446			
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の方向性とその内容			今後も県産オリジナル品種への品目転換を進めて品種構成の多角化を推進し、新品種栽培面積を増やして、高価格販売につなげると伴に出荷時期の分散による作業の平準化を図る。												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策															
	達成できた点をさらに伸ばす方策			梨・柿の新品種導入を促進すると共に、他事業も活用して生産・出荷体制の整備、後継者の育成・確保を進めることで、産地の維持を図る。												
	解決すべき課題への方策			生産部や鳥取県等関係機関と連携し、現状の農業環境に応じた対策を推進する。また、産地維持のために他事業(柿チャレンジ講座等)と連携して新規参入を促進する。												

事業名	13	南部町果樹生産振興事業				所属名		産業課	
(計画)									
事業実施主体 鳥取西部農協 米子・あいみ果実部						単位:円			
種別	細事業	内容	件数	面積(a)	事業費	補助金額			備考
							うち県費	うち町費	
梨	気象災害に強い施設整備事業	多目的防災網更新	0	0.0	0	0	0	0	
		防風ネット更新	0	0.0	0	0	0	0	
	新甘泉等特別対策事業	果樹園整備	1	13.0	72,570	48,380	48,380	0	
		奨励金	1	13.0	260,000	260,000	130,000	130,000	
		育苗	1	0.0	0	0	0	0	
	ジョイント栽培拡大事業	果樹園整備	1	0.0	0	0	0	0	
		奨励金	1	0.0	0	0	0	0	
		育苗	1	13.0	433,200	288,800	288,800	0	
	低コスト・体制強化事業	機械導入(SS等)	1	133.7	6,400,000	3,200,000	2,133,333	1,066,667	
小計		7	172.7	7,165,770	3,797,180	2,600,513	1,196,667		
柿	「輝太郎」特別対策事業	果樹園整備	1	5.0	22,500	15,000	15,000	0	
		防霜対策	1	10.0	1,000,000	666,666	500,000	166,666	
		奨励金	1	5.0	24,000	24,000	12,000	12,000	
	気象災害に強い施設整備事業	防風ネット更新	1	0.0	0	0	0	0	
	低コスト・体制強化事業	機械導入(SS等)	1	0.0	0	0	0	0	
	果樹カメムシ対策	多目的防災網	2	60.0	12,000,000	6,000,000	6,000,000	0	繰越
	小計		5	20.0	13,046,500	6,705,666	6,527,000	178,666	
計		12	192.7	20,212,270	10,502,846	9,127,513	1,375,333		
事業実施主体 鳥取西部農協 米子・あいみ果実部						単位:円			
種別	細事業	内容	件数	面積(a)	事業費	補助金額			備考
							うち県費	うち町費	
梨	新甘泉等特別対策事業	果樹園整備	1	11.40	63,270	40,646	40,646	0	
		奨励金	1	11.40	228,000	228,000	114,000	114,000	
	ジョイント栽培拡大事業	育苗	1	13.00	433,200	288,800	288,800	0	
	低コスト・体制強化事業	機械導入(SS等)	0	0.00	0	0	0	0	※1
	小計		3	35.80	724,470	557,446	443,446	114,000	
柿	「輝太郎」特別対策事業	果樹園整備	1	0.00	0	0	0	0	※2
		防霜対策	1	0.00	0	0	0	0	※3
		奨励金	1	0.00	0	0	0	0	※2
	果樹カメムシ対策	多目的防災網	2	0.00	0	0	0	0	繰越※4
	小計		3	0.00	0	0	0	0	
計		6	35.80	724,470	557,446	443,446	114,000		

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		14	地域奨励作物支援事業						所属名	産業課
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		遊休農地を活用して実施する奨励作物の育成及び販売の推進を行う地域振興協議会等					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		事業を実施する当該地域振興協議会等の活性化及び新しい農産物の開拓により所得向上を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
								「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町地域奨励作物支援事業補助金 交付要綱、南部町新規作物栽培支援 事業補助金交付要綱		
前年度 比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減			
	5,000 円		11,000 円		6,000 円		120.0 %			
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度	
	30 千円		330 千円		300 千円		1,000.0 %		執行率	3.33 %
【事業内容】 ○田畑又は遊休農地を活用して実施する奨励作物の育成及び販売の推進に対して補助金を交付する。 対象者:地域振興協議会、地域振興協議会が承認する事業に取り組む個人又は団体										
補助事業費上限額			新規	300,000円		補助率	新規	10/10		
			継続	100,000円			継続	1/3		
○新規作物・特産品の製造・販路拡大に取組に対して補助金を交付する。										
【決算の状況】①成果実績または活動実績 (計画)										
○地域奨励作物分										
補助対象団体			区分	事業内容			事業費	補助率	補助金額	
新規団体			新規	地域奨励作物			300,000	10/10	300,000	
○新規作物栽培支援分(エゴマ)										
エゴマ販売促進協議会(注1)			販路開拓	インターネット販売手数料			60,000	1/2	30,000	
(注1)法勝寺地区地域振興協議会、あいみ富有の里地域振興協議会、南さいはく地域振興協議会で構成										
(実績)										
○地域奨励作物分										
※事業申請なし										
○新規作物栽培支援分(エゴマ)										
エゴマ販売促進協議会			販路開拓	インターネット販売手数料			22,142	1/2	11,000	
(注)令和6年度が補助最終年										
②成果または活動の問題点										
インターネット販売を行っているものの、同様な商品との競合により、販売額は伸びていない。										
※地域奨励作物は、遊休農地の解消、奨励作物の育成及び販売の推進に対し支援をおこなっているが、土壌や天候の影響があり、新規作物の栽培には至っていない。										
※前年度決算状況との比較										
インターネットで取り扱う数量が増え、手数料の増となった。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		↑ 目	前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額	本年度決算額
							18 負担金補助及び交付金		5,000	11,000
			一般財源		5,000 11,000					
計			5,000 11,000				計		5,000 11,000	
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の 方向性とその内容		地域で特色ある作物に取り組む意欲を与え、遊休農地の解消につなぐ。 組織的な取り組みを積極的に推進することで多くの方に参加いただくとともに、新たな特産品開発の 動きを全町的に拡大していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
		達成できた点をさら に伸ばす方策	事業によって生産された地域奨励作物について、町内外に広く情報発信するなど販売促進を行い事 業の活性化を図る。							
		解決すべき課題へ の方策	地域の特性について、県普及所等の関連機関と連携し、新たな作物の栽培の検討を行って行く。							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		17	新規就農総合支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		新たに農業経営を営む青年で、町から青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		町の農業の担い手の育成と経済的自立					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		新たな農業者を育成し、産地づくりや農地保全の担い手の裾野を広げる					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		新規就農総合支援事業実施要綱、鳥取県青年就農給付金等補助金交付要綱、南部町青年就農計画認定要綱、南部町就農条件整備事業補助金交付要綱		
		7,209,487 円	2,291,800 円	△ 4,917,687 円	△ 68.2 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		7,238 千円	4,882 千円	△ 2,356 千円	△ 32.6 %					
【事業内容】										
次世代を担う農業者となることを目指し、新たに経営を開始する者(認定新規就農者)に資金を交付する。 認定新規就農者・・・南部町農業経営基盤強化促進基本構想に照らして適切であり、また、主たる農業者1人当りの年間総労働時間1800時間程度、5年後の所得目標240万円程度とする青年等就農計画の認定を受けた者。 資金・・・(1)農業次世代人材投資資金の給付(令和3年度までの認定者が対象) (国事業)経営開始から3年間は年間150万円、4～5年目は年間120万円を給付する。(所得制限あり) (2)営開始資金の給付(令和4年度からの認定者が対象) 経営開始から3年間は年間150万円を支給する。(所得制限あり) 就農条件整備事業・・・認定新規就農者が経営を開始する際に必要な機械、施設を農協等がリースする場合や新規就農者が整備する場合に助成 (県事業)										
【決算の状況】										
(計画及び実績)①成果実績または活動実績										
事業名等		予算額(円)	実績額(円)	備考						
農業次世代人材投資資金		3,000,000	750,000	2名(A氏:施設野菜、B氏:露地野菜)						
経営開始資金		1,500,000	1,500,000	1名(C氏:露地果樹)						
就農条件整備事業		334,000	0	1名機械導入(B氏:露地野菜)						
計		4,834,000	2,250,000							
■青年等就農計画										
令和6年度新規計画認定 0件										
認定済、資金活用者 2名(就状況農報告書に基づき聞き取り及び圃場確認等を半年毎に実施)										
・聞き取り、圃場確認の際、地元農業者にも協力依頼(報償費:@2,700円×2人×2回=10,800円)										
(補助・認定等の実績) 単位:円、人、件										
事業名等		R2	R3	R4	R5					
農業次世代人材投資資金		750,000円:1名	1,500,000円:2名	3,000,000円:2名	3,000,000円:2名					
経営開始資金		—	—	750,000円:1名	1,500,000円:1名					
就農条件整備事業		—	1,333,750円:1件	2,323,200円:2件	2,695,000円:1件					
青年等就農計画認定		—	2件	1件	1件					
②成果または活動の問題点										
新規就農者の確保										
資材高騰、適地適作等の課題、営農継続不能時のリスク等あり、令和6年度は新規認定就農者はなかった。										
※B氏が農業次世代人材投資資金、就農条件整備事業を当初計画していたが、令和6年度に資金・事業中止、また、A氏は令和7年度の中間評価後に交付することとなったため実績が減額となった。										
※前年度決算状況との比較 事業取りやめの方、中間評価後の交付となった方がおられたため前年度より大幅減となった。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-4-1	青年就農給付金事業補助金		4,514,487	2,291,800	1 報酬	13,500	10,800			
15-2-4-1	就農条件整備事業補助金		1,796,666	0	10 需用費	987	31,000			
					18 負担金補助及び交付金	7,195,000	2,250,000			
	一般財源		898,334	0						
	計		7,209,487	2,291,800	計	7,209,487	2,291,800			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		就農初期の機械・設備投資や農産物収穫までの生活費の確保等のため、新規就農者の経営安定に不可欠な事業となっている。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		関係機関と連携し、新規就農者の支援を行う。							
	解決すべき課題への方策		新規就農に向けては農地の確保が課題となるため、後継者のいない農地を把握し就農者につなぐ。							

款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	5	農業振興費		会計名	一般会計		
事業名		18		がんばる地域プラン支援事業									所属名		産業課	
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)			果樹や施設園芸を中心としたフルーツの生産を目的とした就農希望者								総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)			農業経営や栽培技術の研修機会を提供することにより、就農の円滑化が図られる。								②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)			果物生産に取り組む新たな農業者の参入を促進するため、研修機会等の受け入れ体制の整備、就農誘致活動を行うことで、就農者の増加が図られる。								「五つの挑戦」から見た位置づけ				
												④共生と防災のまちづくり				
												根拠法令・要綱等				
前年度 比較			令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		ともに目指す！産地強化支援事業費 補助金交付要綱					
			612,928 円		38,107,398 円		37,494,470 円		6,117.3 %							
			令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度		92.13 %			
			16,777 千円		41,361 千円		24,584 千円		146.5 %		執行率					

【事業内容】

フルーツロード構想の基盤となる果物の生産振興として、新たな担い手の誘致と育成に取り組む。就農誘致のための推進事業(ソフト事業)と研修拠点整備(ハード事業)を行う。

★年度計画

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ソフト事業	就農支援メニューのパッケージ化 誘致活動による研修生の確保 農業体験機会の造成	誘致活動による研修生の確保 農業体験機会の造成	誘致活動による研修生の確保 農業体験機会の造成
ハード事業	イチゴ研修拠点整備 (敷地)	イチゴ研修施設整備 (研修用ハウス等)	

【決算の状況】

(計画及び実績) ① 成果実績または活動実績

単位:円

区分	事業内容	数量	単位	金額	県補助金	備考
ソフト事業	農業体験機会の造成(柿・イチゴ・合同で合計9回実施)【報償費】	計画	4 回	200,000	100,000	
		実績	1 式	160,000	80,000	
	移住定住フェア等出展(大阪、東京)【旅費】	計画	1 式	144,000	71,880	
		実績	1 式	61,640	30,820	大阪2回7名相談
	イチゴ研修用農地賃借料【使用料及び賃借料】	計画	5,089 m ²	672,000	0	
		実績	2,656 m ²	6,197	0	7か月間分
	イチゴ研修用地維持管理委託料(除草)【委託料】	計画	1 式	175,000	0	
		実績	1 式	74,448	0	2回
	イチゴ研修施設水道負担金、水利負担金【負担金補助及び交付金】	計画	1 式	170,000	0	
		実績	1 式	165,313	0	
ハード事業	整備費(イチゴ研修用ハウス等)【工事請負費】	計画	1 式	40,000,000	16,666,666	
		実績		37,805,113	12,517,266	
合計		計画		41,361,000	16,838,546	
		実績		38,107,398	12,628,086	

②成果または活動の問題点
新規就農者の確保

※前年度決算状況との比較
年次計画として今年度ハウス建設を行ったため前年度から大幅増となった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-4-1	がんばる地域プラン支援事業補助金	133,764	12,628,086	7 報償費	0	160,000
21-1-3-1	合併特例事業債	0	23,800,000	8 旅費	80,528	61,640
				10 需用費	187,000	0
				12 委託料	345,400	74,448
				13 使用料及び賃借料	0	6,197
				14 工事請負費	0	37,639,800
	一般財源	479,164	1,679,312	18 負担金補助及び交付金	0	165,313
計		612,928	38,107,398	計	612,928	38,107,398

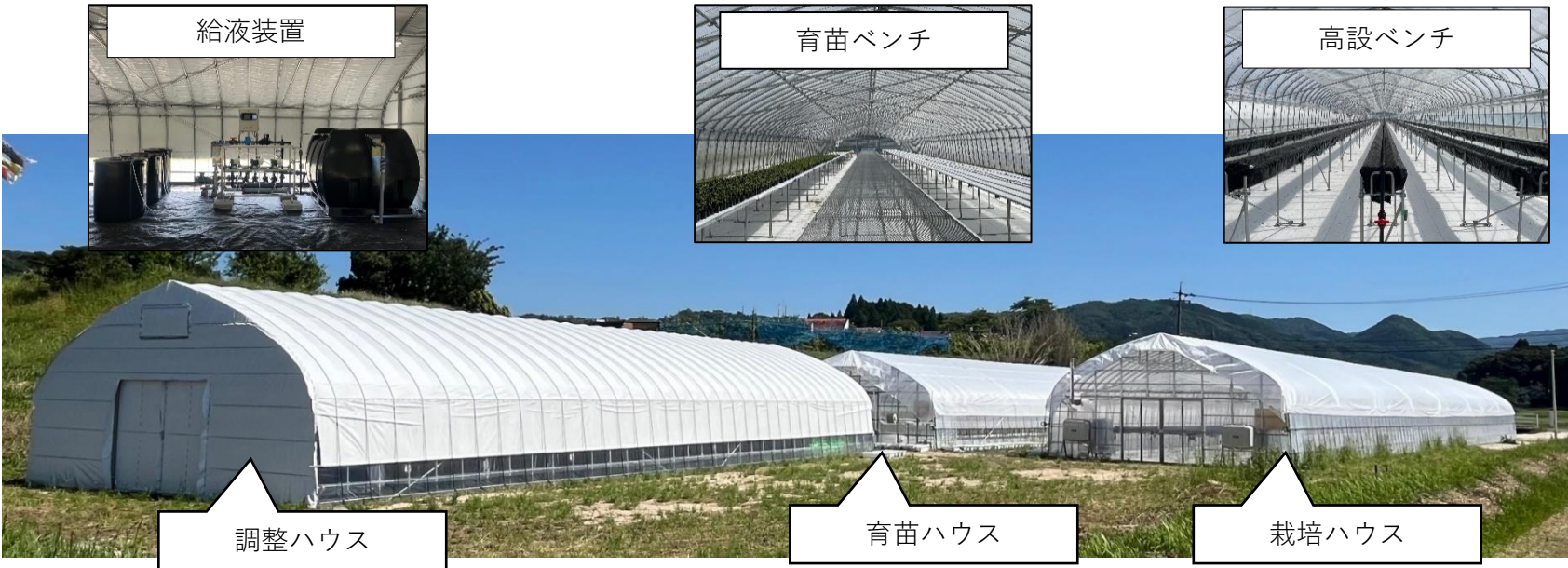
今後 向け て	①今後の事業全体の方向性とその内容		就農誘致と農業体験機会の造成の取組を一体的に展開し、体験事業を通じた就農誘致の推進に取り組む。イチゴ研修用ハウス建設により、研修生の受入を行い、また体験機会の造成を行うことで就農者の増加を図る。									
	②次年度へ向けた次への行動・具体策											
	達成できた点をさらに伸ばす方策		移住定住フェア等を活用して、県外からの就農誘致に取り組む一方、果樹園の利用募集の呼びかけを行い、多数の関心をいただいている。今後、体験機会を設けることで就農の実現可能性を高めている。									
	解決すべき課題への方策		園芸施設の拠点整備に係る経費が高騰しており、作目の見直しや規模の再検討が課題となっている。就農時の経済性を加味した研修拠点施設のあり方について、情報を収集しながら再検討を行い新規就農者確保に努める。									

研修用ハウス等位置図



※前年度決算状況との比較

研修用ハウス等(完成:令和7年3月31日)



【委託料】(下段:決算額)				
件名	目的	概要	積算根拠	契約相手
えんがーの駐 車場隣接農地 草刈業務	研修用ハウス附属駐車 場建設予定地除草のた め	研修用ハウス附属駐車場建設予定 地除草のため	・草刈作業:7,140円 ・機材使用:2,400円 ・事務費:857円 計:10,397円	シルバー人材セン ター (10,397円)
えんがーの隣 接農地草刈業 務	研修用ハウス建設予定 地除草のため	研修用ハウス建設予定地除草のた め	・草刈作業:45,760円 ・機材使用:12,800円 ・事務費:5,491円 計:64,051円	シルバー人材セン ター (64,051円)

(参考)南部町フルーツロード構想

全体コンセプト

南部町・・・柿・梨を中心とした果樹農業が有名
■1年中、さまざまなフルーツが楽しめるまちに ■フルーツの生産で活気があるまちに

エリアコンセプト

・・・拠点エリアとして賀野地域に注目
・町内有数の誘客数 ・・・とっとり花回廊、えんがーの富有(パッチェリー・ビー)など
→個々の誘客数は一定程度維持しているが、個々の施設にとどまり、町内を周遊(滞在)するような流れにはなっていない
■フルーツが楽しめる場所づくりの提供により
・四季を彩るさまざまなフルーツが楽しめる導線(人の動き)を創り出したい
・・・将来的には、緑水湖周辺、てま里、キナルなんぶ、加工施設 など拠点となる施設を中心に全町への波及を目指したい
柿、梨、ぶどう、ブルーベリー、イチゴ、いちじく など (梅、ゆず、メロン・・・)

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		18	がんばる地域プラン支援事業(繰越)						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		果樹や施設園芸を中心としたフルーツの生産を目的とした就農希望者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		農業経営や栽培技術の研修機会を提供することにより、就農の円滑化が図られる。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農業研修ハウス附属駐車場設置により、研修生の利便性及び研修ハウスを活用した観光農園、農業体験等で利活用できる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		97.98 %		
		612,928 円	15,146,300 円	14,533,372 円	2,371.1 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		16,777 千円	15,458 千円	△ 1,319 千円	△ 7.9 %					
【事業内容】										
ともに目指す！産地強化支援事業費補助金(県事業)を活用し、フルーツロード構想の基盤となる果物の生産振興として、新たな担い手の誘致と育成に取り組む。就農誘致のための推進事業(ソフト事業)と研修拠点整備(ハード事業)を行う。										
■繰越理由:駐車場整備に係る転用手続き及び整備事業着手時期に変更が生じたため。										
・年度別計画内容										
区分	令和5年度			令和6年度			令和7年度			
ソフト事業	就農支援メニューのパッケージ化 誘致活動による研修生の確保 農業体験機会の造成			誘致活動による研修生の確保 農業体験機会の造成			誘致活動による研修生の確保 農業体験機会の造成			
ハード事業	研修拠点整備 (敷地)			研修施設整備 (研修用ハウス等)						
【決算の状況】										
(計画及び実績)										
単位:円										
区分	事業内容			数量	単位	金額	県補助金	備考		
ソフト事業	農業体験の機会造成		計画	1	式	200,000	0			
			実績	1	式	0	0	現年予算で実施		
ハード事業	整備費(研修用ハウス附属駐車場)		計画	1	式	12,701,000	4,233,666			
			実績	1	式	12,589,500	4,196,500			
	用地取得費		計画	1	式	2,557,000	0			
			実績	1	式	2,556,800	0			
合計			計画			15,458,000	4,233,666			
			実績			15,146,300	4,196,500			
(実績)										
①成果実績または活動実績 令和6年11月駐車場完成					②成果または活動の問題点 新規就農者の確保 ※前年度決算状況との比較 令和4年度プラン認定、令和5年度事業開始、繰越となったため前年度から大幅増となった。					
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-4-1	がんばる地域プラン支援事業補助金		0	4,196,500	8 旅費	80,528	0			
					10 需用費	187,000	0			
					12 委託料	345,400	0			
					14 工事請負費	0	12,589,500			
					16 公有財産購入費	0	2,556,800			
	一般財源		612,928	10,949,800						
	計		612,928	15,146,300	計	612,928	15,146,300			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		研修生の利便性及び研修ハウスを活用した観光農園、農業体験等で利活用し、就農誘致の推進に取り組む。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		移住定住フェア等を活用して、県外からの就農誘致に取り組む一方、果樹園の利用募集の呼びかけを行い、多数の関心をいただいている。今後、体験機会を設けることで就農の実現可能性を高めている。							
	解決すべき課題への方策		園芸施設の拠点整備に係る経費が高騰しており、作目の見直しや規模の再検討が課題となっている。就農時の経済性を加味した研修拠点施設のあり方について、情報を収集しながら再検討を行い新規就農者確保に努める。							

事業名	18	がんばる地域プラン支援事業(繰越)	所属名	産業課
-----	----	-------------------	-----	-----

研修用ハウス附属駐車場位置図(市山1086:799㎡)
 県道溝口伯太線沿い<既存駐車場と行き来可、県道からの進入可>

浅井←



→花回廊

研修用ハウス附属駐車場(完成写真)
 ①農道から県道に向かって斜めに撮影



②農道から県道に向かって垂直に撮影



款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																				
事業名		20	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業						所属名	産業課																				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		対象市場に出荷を行う特定野菜生産農家					総合計画における位置づけ																						
	意図 (対象をどうするか)		野菜農家の経営安定と野菜の安定した供給を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)		生産者の経営安定と産地保護を推進し、野菜の安定供給が図られる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																						
								④共生と防災のまちづくり																						
								根拠法令・要綱等																						
								鳥取県特定野菜等供給産地育成価格差補給事業費補助金交付要綱																						
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減																							
	0 円		0 円		0 円		100.0 %																							
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度	0.00 %																				
	64 千円		64 千円		0 千円		0.0 %		執行率																					
【事業内容】 特定野菜と指定野菜事業対象野菜のうち、県が選定した対象産地が対象市場群に計画出荷したものに対し、価格が補償基準を下回った場合に生産者に価格差補給金を交付する。 ・対象となる野菜… 対象産地で生産され、対象市場群に出荷された特定野菜及び指定野菜（南部町で該当となるのはブロッコリー） ・価格差補給金… 対象野菜の旬別平均販売価格（県内の農協及び相当規模生産者の平均）がブロック別補償基準額を下回った場合 ・負担割合 <table><tr><td>区 分</td><td>国</td><td>県</td><td>町</td><td>全農</td><td>農協</td></tr><tr><td>重要特定野菜（ブロッコリー）</td><td>20/40</td><td>10/40</td><td>3/40</td><td>2/40</td><td>5/40</td></tr></table> ・JA鳥取西部が財団法人鳥取県野菜価格安定基金協会へ補助申請をし、同協会からの請求に基づいて町が負担分を支払う。 【決算の状況】 (計画) <table><tr><td>事業名</td><td>品目</td><td>価格差補給金（町負担分）</td><td>備考</td></tr><tr><td>特定野菜等供給産地育成価格差補給事業</td><td>ブロッコリー</td><td>63,712</td><td>中国市場3回、近畿市場3回出荷予定</td></tr></table> (実績) ①成果実績または活動実績 実績なし (参考) 令和2年以降の実績なし ② 成果または活動の問題点 利用実績はなかったが、市場価格が低迷した際に早期に対応するために補給金を交付する体制が必要 ※対象野菜の旬別平均販売価格がブロック別補償基準額を下回らなかったため											区 分	国	県	町	全農	農協	重要特定野菜（ブロッコリー）	20/40	10/40	3/40	2/40	5/40	事業名	品目	価格差補給金（町負担分）	備考	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	ブロッコリー	63,712	中国市場3回、近畿市場3回出荷予定
区 分	国	県	町	全農	農協																									
重要特定野菜（ブロッコリー）	20/40	10/40	3/40	2/40	5/40																									
事業名	品目	価格差補給金（町負担分）	備考																											
特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	ブロッコリー	63,712	中国市場3回、近畿市場3回出荷予定																											
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)																									
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額																					
						18 負担金補助及び交付金		0	0																					
	一般財源			0	0																									
	計			0	0	計		0	0																					
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		補償基準を下回った場合、価格差補給金を交付できる体制を整えておく。																											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																													
	達成できた点をさらに伸ばす方策		今後も補償を行う体制が必要。																											
	解決すべき課題への方策		補給金交付の体制を維持し、作付、補償の動向を確認し、適切に交付できるよう努める。																											

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		21	ふるさとの特産継承支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		農産物特産品の生産を行うもの及び生産技術の研修を受ける方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		特産農産物の生産技術を継承する就農条件整備として、農業機械等購入、農業研修、家賃補助等の支援を行う					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		特産農産物の生産技術の継承を行うことで、産地の保護と活性化を図る					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町ふるさとの特産継承支援事業費補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	0.00 %				
400,000 円		0 円	△ 400,000 円	△ 100.0 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
前年度比較		400 千円		240 千円		△ 160 千円		△ 40.0 %		
【事業内容】 南部町の特産農産物の生産技術を継承する就農を促すため、農業機械購入、農業研修、家賃補助等の支援を行い、産地の保護・活性化を目指す。(町事業) 「①継承人支援事業」は、国・県事業の要件に該当しない方も対象とし、「②伝承人支援事業」及び「③特産農業者家賃補助」は、南部町独自の就農支援となっており、町内就農者の増加を目指す。 ・対象作物　：　柿、梨、いちじく、施設野菜(ハウス栽培作物)等										
事業の種類				補助の内容			補助率	補助の上限額		
① 継承人支援事業				農業用機械、施設、資材購入補助			1/2	300,000円		
② 伝承人支援事業				農業研修生指導、育成補助			定額	月額30,000円		
③ 特産農業者家賃補助				町内の賃貸住居の家賃補助			定額	月額20,000円		
【決算の状況】										
(計画)						(実績)				
○特産農業者家賃補助 対象者:1名見込(継承人)						①成果実績または活動実績 活用なし				
						②成果または活動の問題点 就農誘致時のPR不足。 ※移住して農業研修を行う方の誘致を行ったが、対象者がいなかった。 ※前年度決算状況との比較 昨年度まで地域おこし協力隊OBが制度活用していたが、今年度活用される方が無かったため皆減となった。				
						単位:人				
事業の種類				R2	R3	R4	R5	R6		
① 継承人支援事業										
② 伝承人支援事業					1					
③ 特産農業者家賃補助					1(◎)	2(◎)	2(◎)			
(◎)地域おこし協力隊卒業後者の活用/地域おこし協力隊時は、活動費で支出										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額
							18 負担金補助及び交付金		400,000	0
		一般財源			400,000	0				
		計			400,000	0	計		400,000	0
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		特産品の後継者育成のため、事業の継続が必要。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		研修生の技術継承に効果があり、就農相談時に提案、特産品の生産振興につなぐためには有効である。特産品で新規就農した農業者の就農初期の所得も少ないため家賃補助は有効的である。							
	解決すべき課題への方策		就農相談時に制度の周知を図る。							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																																																																										
事業名		23	親元就農促進支援事業						所属名	産業課																																																																										
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		将来経営を移譲する予定の親族に農業研修を行う認定農業者					総合計画における位置づけ																																																																												
	意図 (対象をどうするか)		農業の中心的な担い手となる認定農業者の経営継続のため、将来の後継者の定着を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興																																																																												
	成果の視点 (どのような効果があるか)		認定農業者、人・農地プランの中心経営体等担い手の親元就農を支援し、後継者の定着による経営継承を促進する					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																												
								④共生と防災のまちづくり																																																																												
								根拠法令・要綱等																																																																												
								鳥取県親元就農促進支援交付金事業実施要領、鳥取県親元就農促進支援交付金交付要綱、南部町親元就農促進支援交付金交付要綱																																																																												
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	100.00 %																																																																														
2,400,000 円		2,300,000 円		△ 100,000 円			△ 4.2 %																																																																													
前年度比較		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減																																																																															
		2,400 千円	2,300 千円	△ 100 千円	△ 4.2 %																																																																															
【事業内容】 地域農業の担い手として位置づけられている認定農業者の後継者の就農を促進し、農業経営の継続的な発展と担い手の定着を図るため、認定農業者が3親等以内の親族に栽培技術や経営ノウハウ等の研修を実施する場合の支援を行う。 (県事業__県2/3、町1/3) 対象者… 認定農業者、人・農地プランに中心経営体として位置づけられている方、担い手と町長が認める方 要件… ① 対象者の3親等以内の親族で、申請時の年齢が55歳未満の将来経営を継承する予定の者の研修を行う。 ② 対象者と研修生の間で、家族経営協定が締結されていること。 ③ 研修計画に基づき、年間150日以上かつ年間1,200時間以上研修を行うこと。 その他… 半年ごとに面談により研修状況を確認する。また、研修終了後も営農状況の確認を行う。 期間等… 最大2年間、補助額100,000円/月 【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 給付対象者 3名(果樹) 単位:円 <table><tr><th rowspan="2">給付対象者</th><th rowspan="2">予算額</th><th rowspan="2">決算額</th><th colspan="2">負担額内訳</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>県(2/3)</th><th>町(1/3)</th></tr><tr><td>対象者A</td><td>600,000</td><td>600,000</td><td>400,000</td><td>200,000</td><td>ワインぶどう・梨・柿 補助 6月(4月～9月)</td></tr><tr><td>対象者B</td><td>1,200,000</td><td>1,200,000</td><td>800,000</td><td>400,000</td><td>梨・柿 補助 12月(4月～3月)</td></tr><tr><td>対象者C</td><td>500,000</td><td>500,000</td><td>333,333</td><td>166,667</td><td>梨・柿 補助 5月(11月～3月)</td></tr><tr><td>計</td><td>2,300,000</td><td>2,300,000</td><td>1,533,333</td><td>766,667</td><td></td></tr></table> 対象者Cは、令和7年度も本事業を活用予定 【研修確認等】 ・毎月の状況報告書(活動日誌)により、研修状況及び指導状況を確認している ・毎年9月と3月頃に関係機関(JA、県、普及所、担い手育成機構、町農業委員会)と対面による確認会を開催 【過去実績】 ・平成27年度～29年度(2年間) 1名(畜産) ・令和2年度～4年度(2年間) 1名(水稻) ②成果または活動の問題点 新規就農者年2名を目指しているが、2名以下であり低調となっている。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>平</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>親元就農促進支援交付金</td><td>1,600,000</td><td>1,533,333</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>2,400,000</td><td>2,300,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>800,000</td><td>766,667</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>2,400,000</td><td>2,300,000</td><td>計</td><td>2,400,000</td><td>2,300,000</td></tr></table>											給付対象者	予算額	決算額	負担額内訳		備考	県(2/3)	町(1/3)	対象者A	600,000	600,000	400,000	200,000	ワインぶどう・梨・柿 補助 6月(4月～9月)	対象者B	1,200,000	1,200,000	800,000	400,000	梨・柿 補助 12月(4月～3月)	対象者C	500,000	500,000	333,333	166,667	梨・柿 補助 5月(11月～3月)	計	2,300,000	2,300,000	1,533,333	766,667		款-項-目-節	平	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	親元就農促進支援交付金	1,600,000	1,533,333	18 負担金補助及び交付金	2,400,000	2,300,000																一般財源	800,000	766,667				計		2,400,000	2,300,000	計	2,400,000	2,300,000
給付対象者	予算額	決算額	負担額内訳		備考																																																																															
			県(2/3)	町(1/3)																																																																																
対象者A	600,000	600,000	400,000	200,000	ワインぶどう・梨・柿 補助 6月(4月～9月)																																																																															
対象者B	1,200,000	1,200,000	800,000	400,000	梨・柿 補助 12月(4月～3月)																																																																															
対象者C	500,000	500,000	333,333	166,667	梨・柿 補助 5月(11月～3月)																																																																															
計	2,300,000	2,300,000	1,533,333	766,667																																																																																
款-項-目-節	平	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																														
15-2-4-1	親元就農促進支援交付金	1,600,000	1,533,333	18 負担金補助及び交付金	2,400,000	2,300,000																																																																														
	一般財源	800,000	766,667																																																																																	
計		2,400,000	2,300,000	計	2,400,000	2,300,000																																																																														
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		認定農業者の後継者問題が懸念されており、後継者の研修期間中の不安定な収入の状況を僅かでも解消することで、経営移譲を行いやすいよう支援する必要がある。																																																																																	
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																			
		達成できた点をさらに伸ばす方策	経営継承に係る支援が少ない中、利用希望者の拡大に向けて広報を行う。																																																																																	
	解決すべき課題への方策	町内の担い手へ向けて、制度の周知を行う。																																																																																		

款	5	農林水産事業	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																																																																																	
事業名		25	農地利用効率化等支援交付金事業						所属名	産業課																																																																																	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		地域の担い手となる農業経営体					総合計画における位置づけ																																																																																			
	意図 (対象をどうするか)		地域農業の意欲ある担い手の経営発展を支援する					②魅力ある農林業と商工業の振興																																																																																			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		担い手の経営発展により、地域農業の振興を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																			
								④共生と防災のまちづくり																																																																																			
								根拠法令・要綱等																																																																																			
								南部町農地利用効率化等支援交付金事業交付要綱																																																																																			
令和6年度 執行率		83.75	%																																																																																								
前年度比較		令和5年度決算額 0 円	令和6年度決算額 1,005,000 円	差引 1,005,000 円	増減 100.0 %																																																																																						
		令和5年度予算額 0 千円	令和6年度予算額 1,200 千円	差引 1,200 千円	増減 100.0 %																																																																																						
【事業内容】 地域の中心となる農業経営体が整備する農業用機械・施設等の導入を支援する。(国事業) ○融資主体型事業 金融機関から融資を受けて、農産物の生産、加工、流通等のための施設・機械等を整備する場合の融資残額を助成する。 対象者 ①地域計画のうち目標地区に位置付けられた者 ②実質化された人・農地プランに位置付けられた中心経営体 ③農地中間管理機構から賃借権の設定等を受けた者 補助率 ・融資主体支援タイプ 事業費の3/10又は融資額のいずれか低い額(上限額 300万円) ・先進的農業経営確立支援タイプ (上限額 法人 1,500万円、個人 1,000万円) ○条件不利地域型事業 農地条件等が不利な地域で経営発展を目指す経営体の共同利用施設、機械等を助成する。 対象者 : 農業生産法人、集落営農組織等 補助率 : 整備内容ごとに1/2(農業用機械は1/3) (上限額 4,000万円) 国の補助制度の名称等の変更により、旧経営体育成支援事業を農地利用効率化等支援交付金事業に変更するもの。 【令和6年度の計画】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 水稻生産を主体とする認定農業者の機械導入を支援することができた。 単位:円 <table><tr><th>申請者</th><th>事業内容</th><th>計画額 (補助金額)</th><th>実績額 (補助金額)</th><th>補助金額</th><th>国費</th><th>備考</th></tr><tr><td>個人農業者(1名)</td><td>融資主体支援タイプ 田植機 1台</td><td>4,000,000 (1,200,000)</td><td>3,688,388 (1,005,000)</td><td>1,005,000</td><td>1,005,000</td><td>・補助率1/3 ・5月導入済</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>0</td><td>0</td><td>1,005,000</td><td>1,005,000</td><td></td></tr></table> ②成果又活動の課題 資機材の価格が高騰しており、現行の補助率では経営が困難。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>農地利用効率化等支援交付金事業</td><td>0</td><td>1,005,000</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>0</td><td>1,005,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>0</td><td>1,005,000</td><td>計</td><td>0</td><td>1,005,000</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 地域農業の担い手を育成し、経営拡大や農産物販売等の支援を行い、地域農業の持続を行った。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 <table><tr><td>達成できた点をさらに伸ばす方策</td><td>定期的に農業者へ情報提供を行い、次に行いたい事業者を増やしていく。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>補助率の良い補助事業を提案し、利益確保が困難な中山間地の担い手の育成に努める。県担当課を通じ、国に補助率の変更について提案を行っていく。</td></tr></table>											申請者	事業内容	計画額 (補助金額)	実績額 (補助金額)	補助金額	国費	備考	個人農業者(1名)	融資主体支援タイプ 田植機 1台	4,000,000 (1,200,000)	3,688,388 (1,005,000)	1,005,000	1,005,000	・補助率1/3 ・5月導入済	計		0	0	1,005,000	1,005,000		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	農地利用効率化等支援交付金事業	0	1,005,000	18 負担金補助及び交付金	0	1,005,000																														一般財源	0	0				計		0	1,005,000	計	0	1,005,000	達成できた点をさらに伸ばす方策	定期的に農業者へ情報提供を行い、次に行いたい事業者を増やしていく。	解決すべき課題への方策	補助率の良い補助事業を提案し、利益確保が困難な中山間地の担い手の育成に努める。県担当課を通じ、国に補助率の変更について提案を行っていく。
申請者	事業内容	計画額 (補助金額)	実績額 (補助金額)	補助金額	国費	備考																																																																																					
個人農業者(1名)	融資主体支援タイプ 田植機 1台	4,000,000 (1,200,000)	3,688,388 (1,005,000)	1,005,000	1,005,000	・補助率1/3 ・5月導入済																																																																																					
計		0	0	1,005,000	1,005,000																																																																																						
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																					
15-2-4-1	農地利用効率化等支援交付金事業	0	1,005,000	18 負担金補助及び交付金	0	1,005,000																																																																																					
	一般財源	0	0																																																																																								
計		0	1,005,000	計	0	1,005,000																																																																																					
達成できた点をさらに伸ばす方策	定期的に農業者へ情報提供を行い、次に行いたい事業者を増やしていく。																																																																																										
解決すべき課題への方策	補助率の良い補助事業を提案し、利益確保が困難な中山間地の担い手の育成に努める。県担当課を通じ、国に補助率の変更について提案を行っていく。																																																																																										

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		27	新農業人研修支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		地域おこし協力隊					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		果樹や水田作物等の生産技術の習得と、南部町の農業の課題に取り組みながら、農業の担い手として育成する。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		後継者問題等地域の課題にかかわり、地域の農業課題に対する取組を促進する					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町地域おこし協力隊設置要綱、南部町地域おこし協力隊活動交付金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率	39.45 %				
2,267,160 円		400,000 円		△ 1,867,160 円			△ 82.4 %			
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減					
	2,268 千円		1,014 千円		△ 1,254 千円		△ 55.3 %			
【事業内容】										
柿・梨の産地維持及び特産品維持、戦略的園芸品目「いちご」の普及のために地域おこし協力隊制度を活用し、施設野菜も含めた就農を促すことで地域の活性化につなぐ。										
町内の農家の下で農業技術研修を経て、農業の担い手として独立就農を前提に活動を行うもの。										
■おためし地域おこし協力隊・地域おこし協力隊インターンの導入										
地域おこし協力隊に応募する前に、実際の活動内容や生活を体験してみたい方に向けて、主に2泊3日で実務体験ができる「おためし地域おこし協力隊」と、2週間～3ヶ月かけて地域協力活動を行う「地域おこし協力隊インターン」制度を活用し、地域等とのミスマッチを防ぐ。										
【決算の状況】										
(計画及び実績)										
単位:円 (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考					R5決算額	
報酬		120,000	0	地域おこし協力隊インターン活動費(受入なし)					0	
報償費		90,000	0	農家受入謝礼(インターン、おためし受入なし)					0	
旅費		144,720	0	募集に係る職員旅費(支出なし)					0	
需用費		100,000	0	活動に係る消耗品、印刷製本費(支出なし)					0	
役務費		100,000	0	協力隊募集広告(支出なし)					0	
委託料		0	0	協力隊受入支援業務(1名分)(受入なし、12月補正で減額)					1,667,160	
使用料		59,000	0	おためし地域おこし協力隊用宿泊費3名分(受入なし)					0	
補助金		400,000	400,000	任期満了隊員起業準備金					600,000	
計		1,013,720	400,000						2,267,160	
①成果実績または活動実績										
※おためし地域おこし協力隊及び地域おこし協力隊インターンの募集を行ったが、募集時期が年度末となったことから応募が無かったため執行率40%弱となった。										
おためし地域おこし協力隊、地域おこし協力隊インターン募集期間:令和7年3月10日～4月15日、結果 応募なし(地域おこし協力隊はR7年度採用、おためしはR6年度から随時募集を行った。)										
②成果または活動の問題点										
・地域おこし協力隊の確保、PR										
・公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構との連携やSNSの活用など、多様な媒体での広報が必要だった。										
＜参考＞										
・任期満了隊員起業準備金は、申請者の意向により2か年の分割交付となった。(要綱上任期終了後1年以内の者が対象となっており、1年以内に申請、交付)										
・隊員終了後は、養蜂で開業届を提出し、養蜂をメインに6次産業(焼き菓子等)を行う。										
※前年度決算状況との比較										
地域おこし協力隊が令和6年度はいなかったため大幅減となった。										
令和5年度:600,000円										
令和6年度:400,000円										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
						12 委託料	1,667,160	0		
						13 使用料及び賃借料	0	0		
	一般財源			2,267,160	400,000	18 負担金補助及び交付金	600,000	400,000		
	計			2,267,160	400,000	計	2,267,160	400,000		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		果樹部門の地域おこし協力隊を募集のうえ雇用し、農業部門も同様に農業に係る地域課題解消のための取り組みや就農の支援を行うことを通じて地域の活性化を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		関係機関と連携し、地域おこし協力隊の活動支援を行う。							
	解決すべき課題への方策		後継者問題を抱えた農地や樹園地の状況を明確化(見える化)し、地域おこし協力隊自らも含めた地域の農地の担い手の確保を検討する。町の農業所得の向上を課題として、適地適作による特産振興や生産物の販路確保に地域おこし協力隊を活用する。							

事業名	27	新農業人研修支援事業	所属名	産業課
-----	----	------------	-----	-----

【補助金】

(下段:実績額)

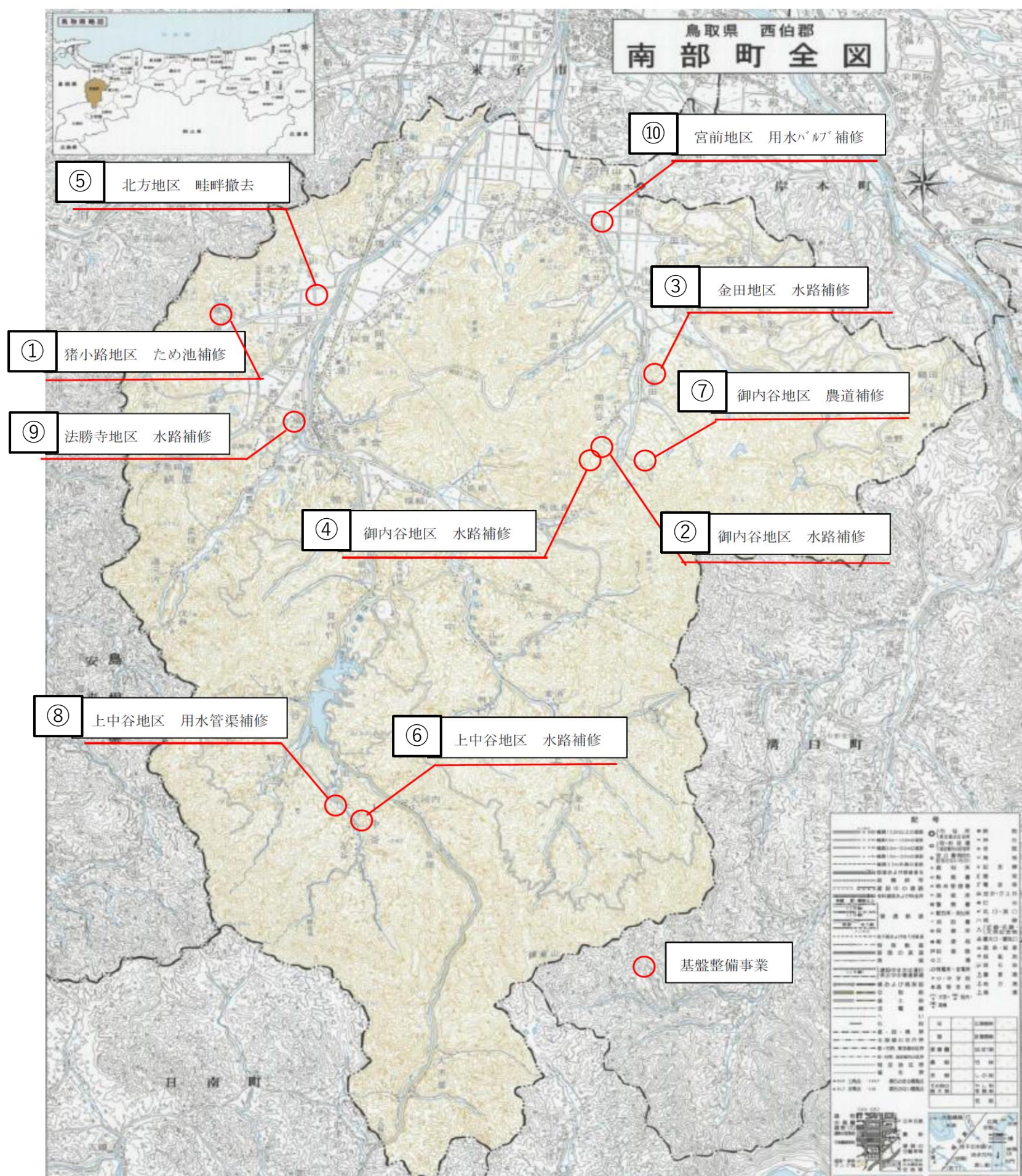
件名	目的	概要	積算根拠	補助相手
南部町地域おこし協力隊活動交付金交付要綱	隊員の活動に要する経費及び元隊員の起業及び事業継承に要する経費	経費(機械、PR素材、資材等)	定額 1,000,000円	A氏 (400,000円) R5に600,000円 交付済

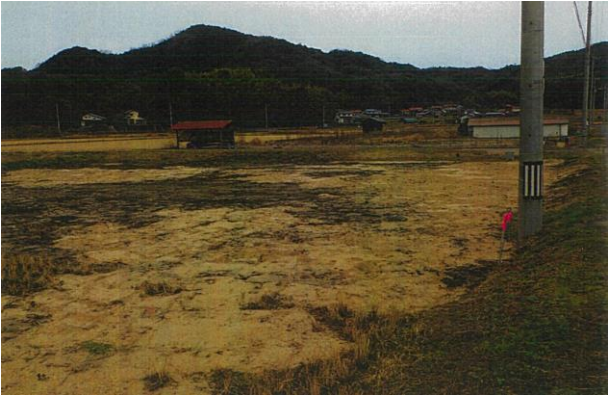
【農業部門地域おこし協力隊採用状況(H30以降)】

	採用	卒業後
H30～3年間	C氏	就農
H1～3年間	B氏	就農
R2～3年間	A氏	起業

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名		32	南部町農林業基盤整備補助金交付事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		農業、林業生産者又は農業、林業生産組織				総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)		農林業生産基盤の整備及び補修並びにため池等の防災措置を支援する。				②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)		生産基盤等の整備等を行い、良好な状態を維持、確保することにより、農林地保全を図るとともに生産者等の生産意欲を引き上げ、農林業生産の継続を図る。				「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							④共生と防災のまちづくり				
							根拠法令・要綱等				
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度 執行率		77.98	%
		7,214,960 円	3,272,880 円	△ 3,942,080 円		△ 54.6 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減					
		8,400 千円	4,197 千円	△ 4,203 千円		△ 50.0 %					
【事業内容】 農林地を守り、農林業生産の継続を図るために、農林業生産基盤工事(農林道、用排水、灌がい施設、ため池等)の新設、改良、修繕並びにため池等の防災措置を行う農業、林業生産者又は農業、林業生産組織に対して、工事請負費(応急工事を含む)又は測量設計等委託料を支援する。 農林業生産者等が行う工事に対して、下記の補助率で支援する(事業費上限:200万円)。 (1)県費補助事業に該当する場合(県50%、町30%、生産者等20%) (2)単独町費補助事業の場合(町50%、生産者等50%)											
【決算の状況】 ①成果実績または活動実績 (計画)及び(実績)											
費目		予算額(円)		決算額(円)		備考					
負担金補助及び交付金		4,197,000		3,272,880		ため池1、用水路4、農地改良1、管渠2、農道1、バルブ1					
計		4,197,000		3,272,880							
＜事業内訳＞											
工種		数量			位置	事業費	県補助	補助金額			
①ため池補修		導入水路補修(φ500) L=10.0m			猪小路	200,000	○	160,000			
②用水路補修		管渠補修(φ600) L=2.0m			御内谷	250,000	○	200,000			
③用水路補修		土留柵工設置(H500) L=50.0m			金田	370,000	○	296,000			
④用水管渠補修		管渠補修(φ300) L=23.0m			御内谷	900,000	○	720,000			
⑤畦畔撤去		畦畔撤去 L=25.0m、搬入土 V=67m³			北方	635,800	○	508,640			
⑥用水路補修		コンクリート打設 1式			上中谷	241,000	○	192,800			
⑦農道補修		舗装工 A=4.0m²、コンクリート打設 V=2m³			御内谷	460,000	○	368,000			
⑧用水管渠補修		管渠補修(φ150) L=8.0m			上中谷	385,800	○	308,640			
⑨用水路補修		大型フリューム設置(B500) L=6.0m			法勝寺	468,500	○	374,800			
⑩用水バルブ補修		用水バルブ補修 3箇所			宮前	180,000	○	144,000			
計						4,091,100		3,272,880			
②成果または活動の問題点 ・農業用施設の小規模な補修に対して支援を行うことで、管理労力及び維持管理コストの軽減が図れる。 ※前年度決算額との比較 R5年度は水路補修11箇所を含む、全町18箇所での事業に対し補助をおこなったが、R6年度は全町10箇所であった。											
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-1		鳥取県しっかり守る農林基盤交付金		4,380,100	2,045,550	12 委託料		1,034,000	0		
						18 負担金補助及び交付金		6,180,960	3,272,880		
		一般財源		2,834,860	1,227,330						
		計		7,214,960	3,272,880	計		7,214,960	3,272,880		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		農林業生産者、生産組織が行う施設維持修繕工事や災害等の応急復旧工事等に対応する事業がなく、工事費等の多額な負担のため、農業施設の機能維持が疎かになり、生産意欲の減退が懸念されていた。軽微な事業(200万円程度)の支援を行い、施設の長寿命化、農林地の荒廃防止につなげる。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		鳥取県のしっかり守る農林基盤交付金事業の実施予定事業費を個別最低保証額として確保し、農林業施設の機能維持、災害応急復旧、ため池の小規模緊急防災などの緊急工事への支援を迅速に行う。								
	解決すべき課題への方策		しっかり守る農林基盤交付金事業(単県事業)から既存の農業用水路等長寿命化・防災減災事業(国庫補助事業)への振分けを進めて、単県事業需要を減らし本事業への交付金充当を容易にして町、地元負担の軽減を図る。								

令和6年度しっかり守る農林基盤整備交付金事業実施箇所一覧図



事業名	32	南部町農林業基盤整備補助金交付事業	所属名	産業課
3、金田地区 用水路補修 (着工前)  5、北方地区 畦畔撤去 (着工前)  7、御内谷地区 農道補修 (着工前)  8、上中谷地区 用水管渠補修 (着工前)  10、宮前地区 用水バルブ補修 (着工前)  (完成)  (完成)  (完成)  (完成)  (完成) 				

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																																		
事業名		35	緊急防除支援事業						所属名	産業課																																		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		降霜や大雨、高温などの気象変動に伴い発生する病虫害対策に取り組む果樹及び園芸作物生産農家					総合計画における位置づけ																																				
	意図 (対象をどうするか)		病虫害に起因する作物の生育不良を抑止し、生産の安定を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興																																				
	成果の視点 (どのような効果があるか)		霜、大雨等に起因する病虫害の発生を防ぎ、生育の回復を図るため緊急防除費用(薬品代)を支援することで、生産量を維持し被害のあった農家の経営安定を推進する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																				
								④共生と防災のまちづくり																																				
								根拠法令・要綱等																																				
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		南部町農作物緊急防除支援事業費補助金交付要綱																																				
		134,946 円	234,490 円	99,544 円		73.8 %																																						
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減																																						
		135 千円	727 千円	592 千円		438.5 %																																						
		令和6年度執行率			32.25 %																																							
【事業内容】 令和6年度に大発生している果樹カメムシの病害防除等に係る経費の一部を支援し、梨や柿の生産活動の継続を推進する。 鳥取県全域を対象とする新たな緊急対策支援事業が制定されたため、間接補助事業として南部町においても補助金を交付する。 ■対象は殺虫剤2回分で事業費4,500円/10aを上限に補助率に応じて補助金を交付する。 負担割合 : 県1/3、町1/6、事業者1/2 補助対象事業者 : 5a以上の面積で果樹カメムシ類用の追加防除を実施した梨、柿等の果樹生産者(要綱抜粋 令和6年7月1日以降に行われた対象事業について適用する。)																																												
【決算の状況】 (計画及び実績) 単位:円 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">事業対象者</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="3">補助金額</th><th rowspan="2">事業者</th><th rowspan="2">内容</th></tr><tr><th>県</th><th>町</th><th></th></tr><tr><td rowspan="2">果樹生産者</td><td>計画</td><td>1,453,365</td><td>726,682</td><td>484,455</td><td>242,227</td><td>726,683</td><td>柿2352.3a、梨877.4a</td></tr><tr><td>実績</td><td>468,990</td><td>234,490</td><td>156,328</td><td>78,162</td><td>234,500</td><td>柿1061.5a(全町:五色ヶ丘、高姫、天王原等)</td></tr></table> ①成果実績または活動実績 ・早期から、生産部等からカメムシ発生の警戒が呼びかけられていたことから、カメムシ対策としての防除活動については重点的に取り組めた。 ②成果または活動の問題点(生産部からの聞き取り) ・防除活動に重点的に取り組んでいるが、カメムシの発生予測が難しく、適期防除による殺虫が十分に行えなかった。(R6のJA鳥取西部の富有柿出荷量は対前年比55%) ※緊急支援として12月補正で予算化し対応したもの 慣行に追加して2回の防除活動を行った生産者の薬剤に係る経費を対象として事業を運用しているため、補助事業としては実績が計画を下回った。また、梨については網掛け施設が多く虫害の影響が限定的であったため2回の追加防除は行わなかった。 ※前年度決算状況との比較 前年度決算においては、緊急防除の対象とする作目を白ネギとしたが、本年度については果樹を対象としており面積及び使用薬剤が異なるため決算額が増加している。										事業対象者		事業費	補助金額			事業者	内容	県	町		果樹生産者	計画	1,453,365	726,682	484,455	242,227	726,683	柿2352.3a、梨877.4a	実績	468,990	234,490	156,328	78,162	234,500	柿1061.5a(全町:五色ヶ丘、高姫、天王原等)									
事業対象者		事業費	補助金額			事業者	内容																																					
			県	町																																								
果樹生産者	計画	1,453,365	726,682	484,455	242,227	726,683	柿2352.3a、梨877.4a																																					
	実績	468,990	234,490	156,328	78,162	234,500	柿1061.5a(全町:五色ヶ丘、高姫、天王原等)																																					
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>緊急防除支援事業費補助金</td><td>89,964</td><td>156,328</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>134,946</td><td>234,490</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>44,982</td><td>78,162</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>134,946</td><td>234,490</td><td>計</td><td>134,946</td><td>234,490</td></tr></table>										款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	緊急防除支援事業費補助金	89,964	156,328	18 負担金補助及び交付金	134,946	234,490									一般財源	44,982	78,162				計		134,946	234,490	計	134,946	234,490
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																						
15-2-4-1	緊急防除支援事業費補助金	89,964	156,328	18 負担金補助及び交付金	134,946	234,490																																						
	一般財源	44,982	78,162																																									
計		134,946	234,490	計	134,946	234,490																																						
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		農作物の緊急防除の促し、農業者の経営安定を推進する。																																									
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																											
	達成できた点をさらに伸ばす方策		自然災害や病虫害の発生に応じた緊急対策に対し必要な支援を適切に実施する。																																									
	解決すべき課題への方策		自然災害や病虫害等の危機予測に応じた対策の検討と警戒の呼びかけが必要である。																																									

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名		39	スマート農業社会実装促進事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		認定農業者、集落営農組織等					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		農業の省力・軽労化や労働力確保・技術継承に向けてスマート農業技術の導入を推進する					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農業担い手の省力・軽労化によって、農業経営の安定化を図ると共に、農業に取り組みやすい環境を作り、人手不足解消を目指す					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度 執行率		77.33	%
		11,150,000 円	3,480,000 円	△ 7,670,000 円		△ 68.8 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減					
		12,371 千円	4,500 千円	△ 7,871 千円		△ 63.6 %					
【事業内容】 農業の経営改善、省力化等を目的に情報通信技術、ロボット技術を活用した農業用機械または設備を導入する認定農業者、集落営農組織等を対象に導入経費を支援する。 県事業__補助率:1/2(県1/3、町1/6) (参考)スマート農機 ・トラクター(自動運転、自動操舵) ・田植機、直播機(自動運転、直進アシスト、可変施肥) ・コンバイン(自動運転、食味・収量センサー) ・後付け型自動操舵装置 補助上限額:個人農業者4,500千円(共同利用の場合は9,000千円) ・ドローン(防除用、施肥用、センシング用) ・リモコン草刈機 ・生産管理システム											
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績											
事業対象者		事業費	補助金額	補助負担額			内容				
				県	町	事業者					
個人農業者	計画	9,232,000	4,500,000	3,000,000	1,500,000	4,732,000	自動操舵機能付トラクター(1台)				
	実績	6,960,000	3,480,000	2,320,000	1,160,000	3,480,000					
②成果または活動の問題点 実施から3年間、取組実績及び稼働実績を確認し、取り組みの効果を図っていく。 ※<前年度決算状況との比較> R5年度は、2つの集落営農組織の事業を補助し、今年度は個人農業者の事業(1件)に対する補助であった。 (参考)											
年度	事業実施主体		事業内容		事業費	補助金額	単位:円				
							うち県費	うち町費			
R4	農事組合法人やまとだに		直進アシスト付田植機(6条)(1台)		3,000,000	1,500,000	1,000,000	500,000			
	(株)福成農園		ロボットトラクター(100PS)(1台)、GPSレベラー(1台)		15,500,000	7,750,000	5,166,666	2,583,334			
	計				18,500,000	9,250,000	6,166,666	3,083,334			
R5	高野女生産組合		直進アシスト付トラクター(1台)、食味収量コンバイン(1台)		14,200,000	7,100,000	4,733,333	2,366,667			
	ふるさと宮米		直進アシスト付トラクター(1台)		8,100,000	4,050,000	2,700,000	1,350,000			
	計				22,300,000	11,150,000	7,433,333	3,716,667			
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
15-2-4-1		スマート農業社会実装促進事業費補助金			7,433,333	2,320,000	18 負担金補助及び交付金		11,150,000	3,480,000	
		一般財源			3,716,667	1,160,000					
		計			11,150,000	3,480,000	計		11,150,000	3,480,000	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		高齢化等で農業の担い手が困難になる中、就農の誘致を推進していく一方で、効率的な生産体系の確立が課題となっている。スマート農業の推進により持続可能な効率的な農業の実現と、農業生産物の品質の向上を図る。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		過去の事業実施者は目標とした取組、稼働実績を満たしており、持続可能で効率的な農業の実現が図られている。今後も報告内容を注視し、適切に事業が活用されるよう関係機関と情報を共有する。								
	解決すべき課題への方策		スマート農業技術の導入事例から事業の有効性を確認しながら、導入した事業の効果を引き続き確認していく。								

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		43	農地耕作条件改善事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		(1)五色ヶ丘果樹団地、(2)福成地区					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		(1) 五色ヶ丘果樹団地:高収益作物の導入と担い手の育成により果樹園の活用を増進する。(2) 多様なニーズに沿ったきめ細かな耕作条件の改善を機能的に進めるとともに、農地集積を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		(1) 高収益作物の導入に必要な基盤整備を支援することで、園への新規参入と改植の取組が促される。(2) 農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を加速化し、意欲ある農業者が農業を継続する環境を整え、農業競争力の強化を図られる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		78.19 %		
		78,333,376 円	105,759,597 円	27,426,221 円	35.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		111,900 千円	135,254 千円	23,354 千円	20.9 %					
【事業内容】										
(1) 五色ヶ丘果樹団地の農地貸付意向と借受希望を調整したうえで高収益作物の生産基盤を整備する。 (5-1-5-43 農地耕作条件改善事業(繰越)の事業説明書に年度別事業計画を掲載)										
○(国事業)農地耕作条件改善事業/高収益作物転換型 高収益作物への転換に向けた計画策定から営農定着に必要な取組をハードとソフトを組み合わせ支援する。 国 55%(中山間地域以外50%)、鳥取県 20%、南部町20%、受益者5%										
(2) 福成地区において農地集積・集約化を推進する目的で耕作条件の改善を図る。 事業対象 農地中間管理事業の重点実施区域(本事業の実施により重点実施区域に指定されることが見込まれる区域を含む。) 補助区分 定額助成 事業費(地元施工及び町施工)に対する工事实績額(上限額0.6万円/a)の助成。										
【決算の状況】										
(計画及び実績)次頁に記載										
①成果実績または活動実績					②成果または活動の問題点					
五色ヶ丘果樹団地 産地の生産基盤が強化された。 R6事業概要 234.8 a ・灌水施設(スプリンクラー) 43.4 a ・多目的防災網 165.7 a ・多目的防災網兼用棚 234.8 a ・大苗育苗、苗木等 326.9 a ・幼木管理支援					・資材価格が高騰しており事業費の変動に備えた対応が必要 となっている。 ・スプリンクラー灌水に対応する水量に懸念があるため、生産組合で設備の利用方法についてのルール作りが必要となっている。 ・担い手が減少する中で、農業の生産効率を向上させるため地域を問わず区画拡大の検討が必要となっている。 ・土地改良にあたり区画整理に係る地権者の合意が得られにくい。(R6 一筆30a)					
福成地区 コンクリート畦畔15本を撤去し、事業区域内の圃場を24枚から8枚へ区画拡大したことにより作業効率の大幅な向上が見込まれる。 R6事業概要 705.0 a ・コンクリート殻運搬処分 67.0 m ³ ・コンクリート畦畔及び水路撤去 705.0 a ・反転耕、砕土・整地、均平化 705.0 a										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
12-2-4-3	農地耕作条件改善事業負担金			3,916,668	4,716,868	12 委託料	6,303,176	7,810,301		
15-2-4-1	鳥取県土地改良事業補助金			58,750,031	77,945,243	14 工事請負費	72,030,200	87,169,500		
21-1-3-1-4	農地耕作条件改善事業債			14,400,000	17,400,000	18 負担金補助及び交付金	0	10,779,796		
15-2-4-1	鳥取県土地改良事業補助金(福成地区)			0	4,230,000					
	一般財源			1,266,677	1,467,486					
計				78,333,376	105,759,597	計	78,333,376	105,759,597		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		(1)計画期間中(R5～R9)の施設整備と並行して、施設を活用する新規参入者の技術習得のための研修を推進することで、担い手の育成に取り組む。 (2)少ない担い手による生産効率の高い農業を実現するため、区画拡大等土地改良を推進する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		(1)取組の現状を素材として広報活動を行うことで農業への関心を喚起し、参入促進を図る。 (2)取組の成果を広く知っていただくことで、他地域での取組に波及させる。							
	解決すべき課題への方策		(1)新規参入の受け入れに対する生産部の体制を強化し、後継者のいない既存園への就農誘致を推進する。 (2)担い手の不足等の課題や農業のスマート化についての理解を広め土地改良への関心を喚気する。							

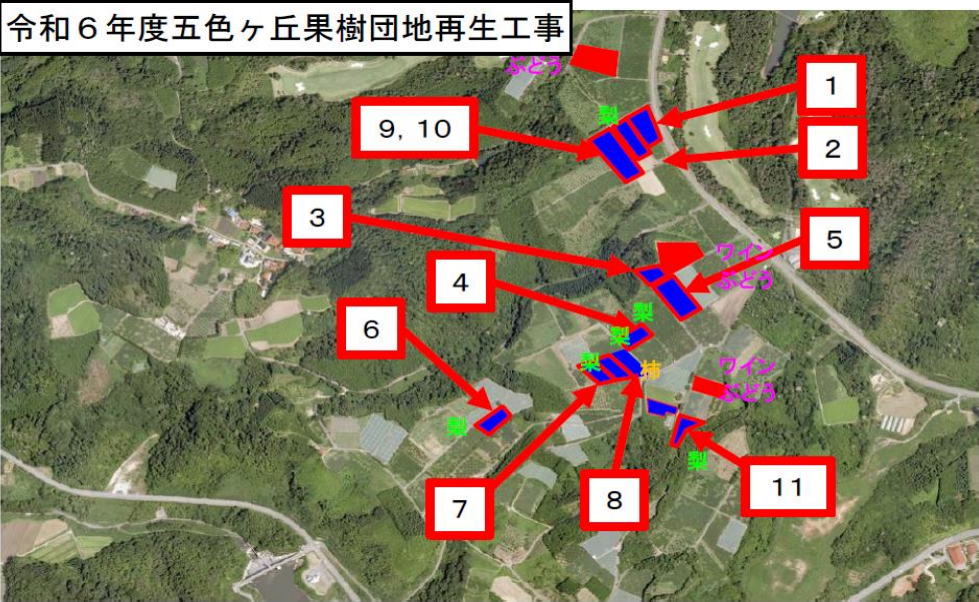
(計画及び実績)

単位:円

区分	費目	事業内容(次頁に詳細を記載)		事業費				
					国	県	町	受益者
(1) 五色ヶ丘果樹団地	委託料	苗木等	計画	9,400,000	5,170,000	1,880,000	1,880,000	470,000
			実績	7,810,301	4,295,665	1,562,060	1,562,061	390,515
	賃借料	防除用機械(SS)リース	計画	1,800,000	990,000	360,000	360,000	90,000
			実績	0	0	0	0	0
	工事請負費(注)1	灌水施設、防風施設、果樹棚	計画	109,000,000	59,950,000	21,800,000	21,800,000	5,450,000
			実績	86,527,100	47,589,903	17,305,419	17,305,425	4,326,353
	補助金	幼木管理支援	計画	7,900,000	7,900,000	0	0	0
			実績	7,192,196	7,192,196	0	0	0
小計		計画	128,100,000	74,010,000	24,040,000	24,040,000	6,010,000	
		実績	101,529,597	59,077,764	18,867,479	18,867,486	4,716,868	
(2) 福成地区(注)2	工事請負費	コンクリート殻運搬・処分(町施工)	計画	2,000,000	1,100,000	400,000	400,000	100,000
			実績	642,400	642,400	0	0	0
	補助金	コンクリート畦畔撤去、 反転耕、砕土、均平化(地元施工)	計画	5,154,000	5,154,000	0	0	0
			実績	3,587,600	3,587,600	0	0	0
	合計		計画	7,154,000	6,254,000	400,000	400,000	100,000
			実績	4,230,000	4,230,000	0	0	0
合計			計画	135,254,000	80,264,000	24,440,000	24,440,000	6,110,000
			実績	105,759,597	63,307,764	18,867,479	18,867,486	4,716,868

(注)1工事請負費20,685,883円を翌年度に繰越
(注)2福成地区におけるコンクリート畦畔の撤去について、一部地権者の合意が得られなかったため実施することができなかった。(農地一筆)

参考資料: (1) 五色ヶ丘果樹団地
◇令和6年度事業



工区	品名	単位	数量
①	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	1997.85
	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1997.85
②	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	1980.44
	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1980.44
③	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1274.30
	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	2124.77
④	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	2124.77
	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	3359.67
⑤	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	3359.67
	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	1210.27
⑥	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1210.27
	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	2329.79
⑦	梨 多目的防災網設置工事	㎡	2329.79
	柿 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1295.2
⑧	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	2011.72
	梨 多目的防災網設置工事	㎡	2011.72
⑨	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	2513.38
	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	2513.38
⑩	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	1839.77
	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1839.77
⑪	梨 多目的防災網施設兼用棚新設工事	㎡	1545.11
	梨 スプリンクラー灌水設備設置	㎡	1545.11

【委託料(再掲)】

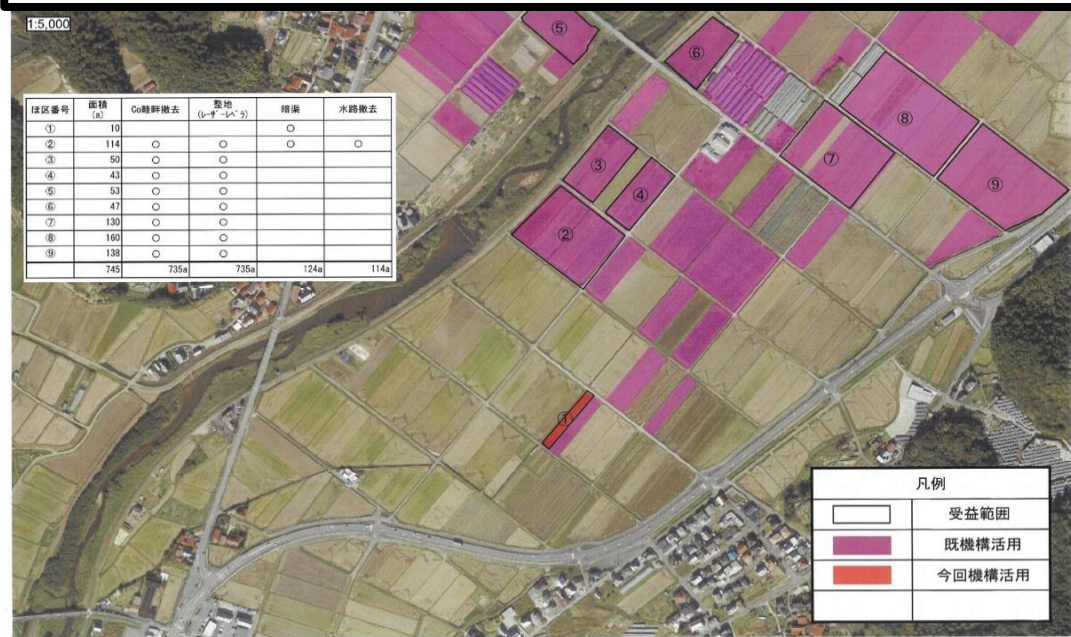
(下段:決算額)

委託料名	目的	概要	積算根拠	契約相手
令和6年度五色ヶ丘果樹団地再生事業果樹苗木買付業務	梨の苗木の買付を専門事業者 に委託することで、納品される苗木の量と品質の安定を図る。	梨の交配樹及び輝太郎柿の苗木、植付資材の買付	梨交配樹苗木40本 55,440円 輝太郎柿苗木52本 122,430円 植付資材(梨) 1,083,104円 植付資材(柿) 23,232円 合計 1,284,206円	鳥取西部農業協同組合 (1,284,206円)
五色ヶ丘果樹団地再生事業果樹苗木買付業務	梨の苗木の育苗を専門事業者 に委託することで、生育の安定を図る。	苗木の育苗(1年間)	2,678本×3,800円×1.1=11,194,040円	鳥取県山林樹苗協同組合 (注)3(11,192,720円)

(注)3 決算額内訳: 令和5年度繰越予算 4,666,625円、令和6年度予算 6,526,095円

参考資料: (2) 福成地区

令和 6 年度農業基盤整備促進事業（福成地区）



コンクリート畦畔撤去



反転耕(リバーシブルプラウ)



砕土、整地(バーチカルハロー)



均平化(レーザーレベラー)



※前年度決算状況との比較
本年度については、農地耕作条件改善事業を活用した事業として五色ヶ丘地区に加えて福成地区の水田区画整備の事業を加えており、対前年度比の決算額が増加している。

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名		43	農地耕作条件改善事業(繰越)						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		五色ヶ丘果樹団地					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		五色ヶ丘果樹団地:高収益作物の導入と担い手の育成により果樹園の活用を増進する。					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		五色ヶ丘果樹団地:高収益作物の導入に必要な基盤整備を支援することで、園への新規参入と改植の取組を促進する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		鳥取県土地改良事業補助金交付要綱			
		78,333,376 円	4,666,625 円	△ 73,666,751 円		△ 94.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減					
		111,900 千円	4,667 千円	△ 107,233 千円		△ 95.8 %					
令和6年度執行率						99.99 %					
【事業内容】 五色ヶ丘果樹団地の農地貸付意向と借受希望を調整したうえで高収益作物の生産基盤を整備する。 (次頁に年度別事業計画を記載)											
○(国事業)農地耕作条件改善事業/高収益作物転換型 高収益作物への転換に向けた計画策定から営農定着に必要な取組をハードとソフトを組み合わせる支援する。 国 55%(中山間地域以外50%)、 鳥取県 20%、 南部町20%、 受益者5%											
【決算の状況】 (計画及び実績)											
単位:円											
品目		事業内容		事業費							
				国		県		町		受益者	
梨(ジョイント)		大苗育苗		計画	4,666,625	2,566,643	933,325	933,325	233,331		
				実績	4,666,625	2,566,643	933,325	933,325	233,331		
①成果実績または活動実績											
・梨大苗育苗概要											
新甘泉 1,107 本											
王秋 432 本											
あきづき 176 本											
おさゴールド 582 本											
甘太 340 本											
新興 41 本											
合計 2,678 本											
・予算区分											
委託料 11,192,720 円											
〔令和5年度繰越分 4,666,625 円〕											
〔令和6年度現年分 6,526,095 円〕											
育苗期間が年度を超えているため、国予算の配分に併せて一部をR5繰越予算として執行している。											
②成果または活動の問題点											
・苗木の定植にあたって、各園地の園主が個別に作業を行ったため、進捗が遅くなった。											
・担い手が少なくなる中で、他の果樹園で行われているような生産組合による共助組織が必要となっている。											
※前年度決算状況との比較											
本予算は前年度の繰越予算として執行しているものであり、繰越額は年度を越えてかかる経費として梨の大苗育苗に充てられている。											
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
12-2-4-3	農地耕作条件改善事業負担金			3,916,668	233,331	12 委託料	6,303,176	4,666,625			
15-2-4-1	鳥取県土地改良事業補助金			58,750,031	3,499,968	14 工事請負費	72,030,200	0			
21-1-3-1-4	農地耕作条件改善事業債			14,400,000	0						
	一般財源			1,266,677	933,326						
	計			78,333,376	4,666,625	計	78,333,376	4,666,625			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		計画期間中(R5～R9)の施設整備と並行して、施設を活用する新規参入者の技術習得のための研修を推進することで、担い手の育成に取り組む。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		取組の現状を素材として広報活動を行うことで農業への関心を喚起し、参入促進を図る。								
	解決すべき課題への方策		生産部を母体に、新規参入の育成支援や共助体制を構築し、非農家の農業参入の円滑化と生産の効率化を図る。								

事業名	43	農地耕作条件改善事業(繰越)	所属名	産業課
-----	----	----------------	-----	-----

(参考)

◇高収益作物転換の概要

取組	面積(ha)	対象者数(人)	内容
改植	2.23	5	梨(ジョイント)2.21ha、柿(輝太郎)0.13ha、
新規	1.15	4	ワインぶどう0.92ha、ぶどう0.12ha
合計	3.38	9	

◇年度別事業計画

単位:千円

事業の種類	事業の概要	総事業費	R5	R6	R7	R8	R9
幼木管理支援	幼木管理支援A= 338 a	7,446		A=327a 7,192	A=12a 254		
農業用排水施設	灌水施設 A= 251 a	23,423	A=16a 2,409	A=235a 21,014			
土層改良	植付資材 A= 235 a	832		A=235a 832			
営農環境整備支援	伐根整地 A= 294 a	28,721	A=294a 28,721				
営農環境整備支援	防風施設 A= 222 a	30,114		A=179a 26,050	A=43a 4,064		
品質向上支援	果樹棚 A= 327 a	101,049	A=161a 40,900	A=166a 60,149			
高収益作物導入支援	苗木等 A= 338 a	18,062	A=91a 10,970	A=235a 6,978	A=12a 114		
高付加価値農業施設支援	ビニールハウス A= 12 a	30,029			A=12a 30,029		
機械作業体系導入支援	SS導入 A= 1 式	9,500			1式 2,700	1式 3,400	1式 3,400
高収益作物導入促進費	1 式	4,326				1式 4,326	
		253,502	83,000	122,215	37,161	7,726	3,400

◇取組の概要

・廃園を再整備し生産の高収益化を図るとともに、新たな就農を促進し果樹園の活性化を図る。



利用されていない果樹



配水池

後継者不足や担い手の高齢化に伴う規模縮小で廃園化が進む果樹園。担い手の減少で配水池の維持も難しくなっている。



・高収益作物への転換
・就農誘致



梨のジョイント栽培



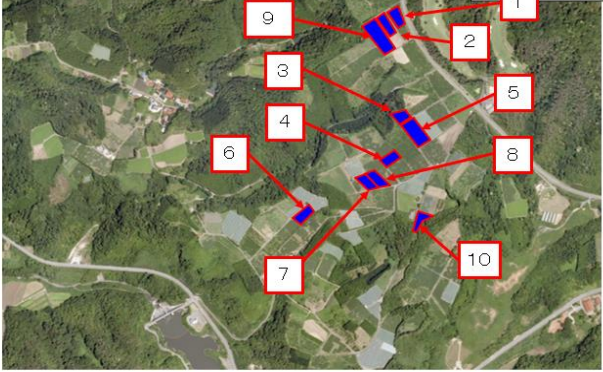
輝太郎柿

生産者が増えて果樹園の持続性向上

◇令和5年度繰越事業

五色ヶ丘果樹団地再生事業 梨の大苗育苗業務 定植位置

あさかな
朝金地区 計画一般図



①	新甘泉	253
②	新甘泉	220
③	甘太	150
④	おさゴールド	285
⑤	新甘泉	180
	あきづき	72
	甘太	73
	王秋	75
⑥	新甘泉	80
	おさゴールド	80
⑦	新甘泉	120
	あきづき	104
	王秋	122

⑧	新甘泉	128
	王秋	121
⑨	おさゴールド	168
	新甘泉	126
	甘太	76
	王秋	114
⑩	おさゴールド	49
	甘太	41
	新興	41

【委託料(再掲)】

委託料名	目的	概要	単位:円 積算根拠	(下段:決算額) 契約相手
五色ヶ丘果樹団地再生事業 梨の大苗育苗業務	梨の苗木の育苗を専門事業者へ委託することで、生育の安定を図る。	苗木の育苗 (1年間)	2,678本×3,800円× 1.1=11,194,040円	鳥取県山林樹苗協同 組合 (11,192,720円)

(決算額内訳:令和5年度繰越予算 4,666,625円、令和6年度予算 6,526,095円)

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		45	参加型農業体験推進事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町外者(観光客)、町内就農希望者、地域の人材(農産物生産者)、観光資源(地域農産物)					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		農業(農村)体験、農産物や加工品を直接手にしていただける機会を増やすことで、南部町の魅力を発信し町内就農者の増加や町内生産物の販売拡大につなぐ					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		他分野からの新規就農者を確保することで担い手となる生産者の増加、販路の新規開拓によ生産者の所得向上、南部町の特産品としての知名度の向上 町内への定住促進、地域経済の活性化の進展					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
	前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		100.00 %	
4,100,000 円			5,800,000 円	1,700,000 円	41.5 %					
令和5年度予算額			令和6年度予算額	差引	増減					
4,100 千円			5,800 千円	1,700 千円	41.5 %					
【事業内容】 地方公共団体の地域活性化支援やイメージアップ戦略、都市部でのイベント実施などの実績のあるコンサルタントからの企画提案等を活用し、南部町の果樹等生産品のPRの推進とブランド化に取り組む。 1. 果樹農家等を中心とした現地取材 2. 誘客戦略の提案 3. 地域農産物のブランド化及び販路拡大の方策提案、開拓 【決算の状況】 計画及び実績 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考						
委託料		5,800,000	5,800,000							
その他の委託料		5,800,000	5,800,000	参加型農業体験推進事業		5,800,000				
■委託料積算根拠 単位:円										
項目		計画額	実績額		※前年度決算状況との比較 ・ 冊子作成によりR5と比較し金額が増 となった。					
PR冊子及び提案資料作成経費		1,756,000	2,480,000							
撮影費		600,000	600,000							
実施基本経費(一式)		470,000	470,000							
出張旅費		1,248,000	800,000							
発送、原材料調達費		392,000	350,000							
販路開拓、諸経費等		526,000	1,100,000							
合計		5,800,000	5,800,000							
①成果実績または活動実績 1. 現地取材:14農家(作物内訳 柿5戸、イチジク1戸、梨3戸、梅1戸、ぶどう1戸、柿梨2戸、イチゴ1戸) ・冊子作成「みんなの果樹園」 1,000部(1冊カラー112ページ) 2. 都内レストラン「代官山ASOチェレステ」が地方で実践している戦略をもとに提案 ・「代官山ASOチェリステ」は、地方10個所にて地元食材を使用したフェアを開催 3. ヤマト運輸株式会社「ヤマトフードマーケット」(生産者と直接、店舗をつなげる仕組み)の提案 ・冊子「みんなの果樹園」の情報を活用し、出口を開拓 ②成果または活動の問題点 さらなる農産物のブランド化と新販路の活用とその定着										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
14-2-1-1	デジタル田園都市国家構想交付金		2,050,000	2,900,000	12 委託料	4,100,000	5,800,000			
	一般財源		2,050,000	2,900,000						
	計		4,100,000	5,800,000	計	4,100,000	5,800,000			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		南部町のプロモーション戦略を提案してもらい、今後の大きなカギとなる就農、集客、ブランド化といった情報発信の取り組みを強化し、町内就農者の増加や町内生産物の販売拡大につなげていく							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		現地取材等により完成した販促物等の有効活用、情報発の信取組み強化							
	解決すべき課題への方策		南部町全体を見通した今後の取組方策を検討検討し、観光、移住定住等への施策への展開を模索する必要がある							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計																																																								
事業名		46	園芸産地活力増進事業						所属名	産業課																																																								
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		白ネギ生産者				総合計画における位置づけ																																																											
	意図 (対象をどうするか)		白ネギ生産者の栽培に係る労力の省力化を図る。				②魅力ある農林業と商工業の振興																																																											
	成果の視点 (どのような効果があるか)		白ネギ栽培における圃場の管理作業についての身体的な負担が緩和され、経営の規模拡大や品質向上のための圃場管理の適正化が図られる。				「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																											
							④共生と防災のまちづくり																																																											
							根拠法令・要綱等																																																											
						南部町園芸産地活力増進事業補助金 交付要綱																																																												
前年度 比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減																																																											
	0 円		0 円		0 円		100.0 %																																																											
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度																																																									
	0 千円		200 千円		200 千円		100.0 %		執行率	0.00 %																																																								
【事業内容】 白ネギ生産者が行う培土作業の効率化の取り組みについて、機械導入に係る経費に対して補助金を交付する。 (作目を限定せず、JAの作物別の生産部等生産組織が行う生産向上の取組に対する補助金) ○県事業 1/2(県1/3、町1/6) 【決算の状況】 (計画及び実績) 単位:円 <table><tr><th colspan="2">事業実施主体</th><th>事業内容</th><th>事業費</th><th>補助金額</th><th>うち県費</th><th>うち町費</th></tr><tr><td rowspan="2">白ネギ生産者 5名</td><td>計画</td><td>ローラー培土機5台の導入</td><td>400,000</td><td>200,000</td><td>133,333</td><td>66,667</td></tr><tr><td>実績</td><td>-</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> ①成果実績または活動実績 新たな機械の導入支援のとりまとめを通じて白ネギ栽培に係る省力化に対する意識が高まっている。 ②成果または活動の問題点 ・白ネギ栽培については、省力化と合わせて、夏から秋にかけての高温対策が課題となっている。 ※夏季の高温障害等による出荷量の減少に伴う投資控えで事業の申込が無かった。											事業実施主体		事業内容	事業費	補助金額	うち県費	うち町費	白ネギ生産者 5名	計画	ローラー培土機5台の導入	400,000	200,000	133,333	66,667	実績	-	0	0	0	0																																				
事業実施主体		事業内容	事業費	補助金額	うち県費	うち町費																																																												
白ネギ生産者 5名	計画	ローラー培土機5台の導入	400,000	200,000	133,333	66,667																																																												
	実績	-	0	0	0	0																																																												
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>鳥取県園芸産地活力増進事業費補助金</td><td>0</td><td>0</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>0</td><td>0</td><td>計</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円)											款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	鳥取県園芸産地活力増進事業費補助金	0	0	18 負担金補助及び交付金	0	0																														一般財源	0	0				計		0	0	計	0	0
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																												
15-2-4-1	鳥取県園芸産地活力増進事業費補助金	0	0	18 負担金補助及び交付金	0	0																																																												
	一般財源	0	0																																																															
計		0	0	計	0	0																																																												
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の 方向性とその内容		夏の高温対策と省力化の支援を通じて、生産者の経営安定を推進する。																																																															
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																	
	達成できた点をさら に伸ばす方策		課題解決にあたり、関係機関との連携を強化し、優良な情報発信に取り組む。																																																															
	解決すべき課題へ の方策		鳥取県や生産部と、南部町の農業環境(土質、気候等)に伴う生産状況を共有し、新たな省力機器の 開発や類似した他地域の取組の導入を図っていく。																																																															

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		47	中山間地域を支える水田農業支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		人農地プランの中心経営体に位置づけられている個人農業者 (概ね3名以上の共同体を含む)					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		認定農業者ではないが、小規模な集落単位等で地域の農業を支えている農業者を育成する。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		小規模な集落単位等で地域の水田農業を支えている農業者を育成すると共に、地域の水田農業の維持・発展を図る。 認定農業者、集落営農組織等の要件が該当しなくても機械導入の支援を行う事で、水田農業の維持・発展を図ることができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	中山間地域を支える水田農業支援事業交付要綱				
		0 円	4,406,546 円	4,406,546 円	100.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		0 千円	4,675 千円	4,675 千円	100.0 %					
		令和6年度執行率	94.26 %							
【事業内容】 人農地プランの中心経営体に位置づけられている個人農業者(概ね3名以上の共同体を含む)に水田農業に必要な農業用機械導入(汎用性がある車両を除く)に必要な経費を支援する。 事業要件… (1)農業経営又は基幹的農作業を行う水田が中山間地域内にあること (2)集落営農組織化又は認定農業者を目指した事業活用であること (3)目標年の農業経営を行う水田面積が概ね2.5ha以上、または、経営集積率が25%以上であること (4)農業経営又は基幹的農作業を行う水田の目標面積が特定高性能農業機械導入時は、特定高性能 農業機械導入計画書の利用下限面積を概ね満たすよう努め、その他の機械導入時は、過剰となるような機械導入を排除した利用計画であること 補助率 … 1/2(県費1/3、町費1/6) (注)中心経営体の要件 ①認定農業者、②認定新規就農者、③農家資格を有し農地中間管理事業を活用して農地の集積・集約を進めようとする者、または④地域からの推薦を得た農業者										
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 単位:円										
申請者		事業内容	計画額	事業費 (実績額)	補助金額			備考		
個人農業者 (1名,③に該当)		トラクター35馬力(1台)	6,063,636	5,359,091	2,679,546	1,786,363	893,183	5月導入		
個人農業者 (1名,③に該当)		色彩選別機(1台)	3,454,000	3,454,000	1,727,000	1,151,333	575,667	補正追加分 8月導入		
計			9,517,636	5,359,091	4,406,546	2,937,696	1,468,850			
②成果または活動の問題点 小規模な集落単位等で地域の水田農業を支えている農業者の育成方針。										
※前年度決算状況との比較 R6年度、新たに、人農地プランの中心経営体への支援する事業を取組み、2件の活用があった。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-1		中山間地域を支える水田農業支援事業	0	2,937,696	18 負担金補助及び交付金		0	4,406,546		
		一般財源	0	1,468,850						
計			0	4,406,546	計		0	4,406,546		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		個人農業者、小規模な集落単位等で地域の農業を支えている農業者には主だった補助制度がない。認定農業者、集落営農組織等の要件が該当しなくても機械導入の支援を行う事で、水田農業の維持・発展を図ることができる。今年度から人・農地プランから地計画へ要件が変わっている。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策	個人農業者、小規模な集落単位等で地域の農業を支えている農業者には今後、集落営農及び認定農業者になる可能性もあるので町で支援する。								
	解決すべき課題への方策	機械導入の支援を行ない今後、地域農業の発展のために集落営農の取り組みを町で支援する。								

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		48	イネカメムシ緊急防除支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		令和5年度中、イネカメムシによる虫害の大きかった水稻中生品種「きぬむすめ」、「日本晴」、「みなちから」					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		防除活動を促進することで、水稻のイネカメムシ被害を抑制する。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		イネカメムシ防除では通常は実施しない出穂期の防除活動を行うことにより、水稻の収穫量の増進を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町コメ高温障害対策等緊急支援事業(イネカメムシ防除対策支援事業)費補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	55.81 %				
0 円		8,395,413 円	8,395,413 円	100.0 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
0 千円		15,044 千円	15,044 千円	100.0 %						

【事業内容】

イネカメムシの防除に係る経費や防除機械の導入に対して補助金を交付する。

負担割合: 県1/3、町1/6、事業者1/2

【決算の状況】

(計画及び実績)

(単位: 円)

事業内容		事業量	事業費	補助金額等	うち県費	うち町費	備考
防除委託経費支援 (薬剤除く)	計画	620ha×2,700円/10a	16,740,000	8,370,000	4,000,000	4,370,000	(※)
	実績	269ha	7,454,789	3,727,370	1,102,115	2,625,255	
防除薬剤経費支援	計画	620ha×700円/10a	4,340,000	2,170,000	0	2,170,000	
	実績	466ha	3,333,073	1,666,469	0	1,666,469	
防除機械導入支援	計画	ドローン2台×3,640千円	7,280,000	3,640,000	2,426,666	1,213,334	
	実績	ドローン2台	5,119,531	2,559,745	1,706,496	853,249	
業務支援委託	計画	6か月	863,717	863,717	0	863,717	
	実績	5か月	441,829	441,829	0	441,829	
計	計画		29,223,717	15,043,717	6,426,666	8,617,051	
	実績		16,349,222	8,395,413	2,808,611	5,586,802	

①成果実績または活動実績

防除委託経費支援及び防除薬剤経費支援

事業活用の促進を含む広報活動(HP、TVCM、広報紙、無線放送等)により、出穂期防除の重要性が認識され広く防除活動に取り組まれた。

・不稔穂の発生を抑制した。

・南部町における部分カメムシによる格落(等級落ち)割合は低下した。

西伯地区 R5 18.3% → R6 3.5%

会見地区 R5 5.0% → R6 0.1%

防除機械導入支援支援

・防除に係る機械基盤が強化された。

南部町内ドローン保有生産者数 3 → 5

②成果または活動の問題点

・イネカメムシの分布が県西部に広がっており、防除活動の継続が重要となっている。

※ 自力による防除活動が想定以上であったため、委託経費に対する支援は結果として小さくなった。

(歳入内訳 単位: 円)

(歳出内訳 単位: 円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	5,586,802	12 委託料	0	441,829
15-2-4-1	鳥取県コメ高温障害対策等緊急支援事業費補助金	0	2,808,611	18 負担金補助及び交付金	0	7,953,584
	一般財源	0	0			
	計	0	8,395,413	計	0	8,395,413

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

事業を通じて出穂期のイネカメムシ防除の重要性が認識されており、継続して関係機関との連携(イネカメムシ対策会議等)や各出荷団体が設ける防除暦を通じて取組を促進する。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

関係機関との連携により継続して広報活動に取り組む。

解決すべき課題への方策

イネカメムシの生態が未だ明らかになつてらず農業試験場や農業改良普及所、他県の関係機関との連携により情報を集積する。

事業名	48	イネカメムシ緊急防除支援事業				所属名	産業課
※事業活用の状況							
イネカメムシ対策に係る防除の状況について							
区分	品種	実績					
		農家戸数	筆数	R6作付面積	防除面積	防除実施割合 (みなし)	
早生品種	ひとめぼれ	252	1,063	13,044.4	10,858.9	83%	
	コシヒカリ	175	710	10,536.2	6,262.1	59%	
	ミルキークイーン	16	76	1,195.5	941.3	79%	
	その他うるち	11	50	825.7	736.1	89%	
	星空舞	70	429	6,155.0	5,196.3	84%	
	ヒメノモチ	9	24	66.3	26.4	40%	
	ハクトモチ	28	48	329.0	242.7	74%	
	その他もち	16	20	111.3	65.0	58%	
	山田錦	2	4	78.0	78.0	100%	
	強力	2	7	150.5	88.6	59%	
	五百万石	2	5	106.2	106.2	100%	
中生品種	きぬむすめ	309	1,301	21,432.6	16,336.2	76%	
主食用米合計		892	3,737	54,030.7	40,937.7	76%	
飼料用米	日本晴			1,142.4	1,068.2	94%	
	みなちから			3,520.2	2,715.1	77%	
	北陸193号			2,934.9	1,854.6	63%	
飼料用米合計				7,597.5	5,637.9	74%	
総計				61,628.2	46,575.6	76%	

款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	6	山村振興費		会計名	一般会計	
事業名		1		山村振興費事務費								所属名		産業課	
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		山村振興地域								総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)		県地域振興対策協議会山村振興部会を通じて、予算、施策の要望、研修会参加することで山村振興を図る。								②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)		山村振興部会を通じ情報を得ることで山村振興の計画策定等へ役立てる。								「五つの挑戦」から見た位置づけ				
											④共生と防災のまちづくり				
											根拠法令・要綱等				
											山村振興法				
前年度比較		令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減							
		52,700 円		62,700 円		10,000 円		19.0 %		令和6年度 執行率		99.52 %			
		令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減							
		53 千円		63 千円		10 千円		18.9 %							
【事業内容】 鳥取県地域振興対策協議会山村関係振興部会に参画し活力ある山村の振興を推進する。 全国山村振興連盟、公有林野全国協議会を中心として、要望事項実現のための運動を展開する。 県協議会参画による町村負担金の支払い。 【協議会山村関係振興部会の主な活動】 ・ 山村振興に関する予算、施策の要望 ・ 山村振興に関する研修会の参加案内 など															
【決算の状況】 (計画及び実績) 単位:円 (参考:R5決算額) 単位:円															
		費目		予算額		決算額		備考				費目		決算額	
		負担金補助及び交付金		63,000		62,700		鳥取県地域振興対策協議会負担金				負担金補助及び交付金		52,700	
①成果実績または活動実績															
○鳥取県地域振興対策協議会(山村関係振興部会)との連携 ・ 山村振興関係施策及び予算等の情報共有 ・ 全国山村振興連盟を通じた「山村振興関連予算・施策要望」への意見提出、情報共有															
②成果または活動の問題点 山村振興実務研修会等は中央開催により南部町の参加が難しい。															
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)															
款-項-目-節		科 目 名 称				前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
										18 負担金補助及び交付金		52,700		62,700	
		一般財源				52,700		62,700							
		計				52,700		62,700		計		52,700		62,700	
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の方向性とその内容		中山間地である南部町において、県内及び中央に対して各種の施策などを提言する窓口として県地域振興対策協議会があることから、今後も継続して事業を行うものとする。												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成できた点をさらに伸ばす方策		南部町が抱える中山間地としての各種課題について、当該協議会を通じて他市町村及び他県での解決方法や先進事例を収集し、南部町の施策に活用するよう積極的な活用を図る。												
	解決すべき課題への方策		各種全国協議会からの情報収集を通じ、事業化の際のツールとして活用し、地方創生総合戦略施策の事業化を検討する。												

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	7	緑水園管理費	会計名	一般会計																																																															
事業名		1-1	緑水園等管理事業						所属名	産業課																																																															
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設を利用する方					総合計画における位置づけ																																																																	
	意図 (対象をどうするか)		施設の利便性を向上させることで、施設を利用する方の満足度が上がる。					①移住定住・交流・観光の推進																																																																	
	成果の視点 (どのような効果があるか)		破損個所の修繕により老朽化する施設の長寿命化と利便性の向上を図る。 新たに改修したHPの適正運用にあたり指定管理者を支援し、誘客活動を推進する。また、地域活性化のための活動計画を関係機関と連携して検討する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																	
								②子育て環境の充実																																																																	
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		南部町公の施設の指定管理者の指定 手続等に関する条例・施行規則、南部町自然休養村管理センター緑水園管理 条例、南部町竹林資源活用促進補助金等交付要綱																																																																	
		29,437,195 円	23,199,426 円	△ 6,237,769 円		△ 21.2 %																																																																			
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減																																																																			
		29,876 千円	23,202 千円	△ 6,674 千円		△ 22.3 %																																																																			
		令和6年度			執行率		99.99 %																																																																		
【事業内容】 施設管理は、(株)緑水園に指定管理委託により実施している。 指定管理期間 令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日 初回指定:平成25年度から 指定管理料 20,000,000円 指定管理施設 南部町自然休養村管理センター緑水園、南部町林業者等休養福祉施設、南部町健康増進施設(レークサイドアリーナ)、緑水湖教育文化施設「研修館」、南部町コテージ 緑水湖周辺活性化のため、緑水湖周辺施設の一体的な管理運営、施設間連携を進める。 緑水園の施設老朽に伴う更新工事を年次的に実施する。 所有名義に付随する火災保険料のほか、一定以上の修繕については協議のうえ町が負担する。 【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 →次頁に記載 ②成果または活動の問題点 ・コテージ、研修館では利用人数が増加したが、合計での利用人数は微減となった。 ・施設老朽化に伴う突発的な施設修繕及び工事が必要となっている。																																																																									
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>14-2-1-1-4</td><td>デジタル田園都市国家構想交付金</td><td>1,045,054</td><td>77,990</td><td>10 需用費</td><td>0</td><td>449,460</td></tr><tr><td>21-1-3-1</td><td>緑水園管理事業債(辺地対策事業債)</td><td>6,400,000</td><td>0</td><td>11 役務費</td><td>138,346</td><td>138,346</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>21,321,100</td><td>22,575,980</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>35,640</td><td>35,640</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14 工事請負費</td><td>6,843,100</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>1,099,009</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>21,992,141</td><td>23,121,436</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>29,437,195</td><td>23,199,426</td><td>計</td><td>29,437,195</td><td>23,199,426</td></tr></table>											款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	14-2-1-1-4	デジタル田園都市国家構想交付金	1,045,054	77,990	10 需用費	0	449,460	21-1-3-1	緑水園管理事業債(辺地対策事業債)	6,400,000	0	11 役務費	138,346	138,346					12 委託料	21,321,100	22,575,980					13 使用料及び賃借料	35,640	35,640					14 工事請負費	6,843,100	0					18 負担金補助及び交付金	1,099,009	0		一般財源	21,992,141	23,121,436				計		29,437,195	23,199,426	計	29,437,195	23,199,426
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																			
14-2-1-1-4	デジタル田園都市国家構想交付金	1,045,054	77,990	10 需用費	0	449,460																																																																			
21-1-3-1	緑水園管理事業債(辺地対策事業債)	6,400,000	0	11 役務費	138,346	138,346																																																																			
				12 委託料	21,321,100	22,575,980																																																																			
				13 使用料及び賃借料	35,640	35,640																																																																			
				14 工事請負費	6,843,100	0																																																																			
				18 負担金補助及び交付金	1,099,009	0																																																																			
	一般財源	21,992,141	23,121,436																																																																						
計		29,437,195	23,199,426	計	29,437,195	23,199,426																																																																			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		施設・設備の老朽化等が見られるため、定期的な点検・修繕が必要である。																																																																						
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																								
	達成できた点をさらに伸ばす方策		施設利用者のさらなる増加のため、関係機関と連携を取り交流人口増加に取り組む。																																																																						
	解決すべき課題への方策		施設の老朽化また施設規模の大きさから計画的に修繕を行い、利用する方々の満足度向上に繋げる。																																																																						

事業名	1-1	緑水園等管理事業	所属名	産業課																																																																																															
(計画及び実績)			単位:円	(参考:R5決算額) 単位:円																																																																																															
<table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td>449,860</td><td>449,460</td><td></td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>132,000</td><td>132,000</td><td>緑水湖エリア外遊びマップ印刷</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>317,860</td><td>317,460</td><td>受水槽天板劣化対策等</td></tr><tr><td>役務費</td><td>140,000</td><td>138,346</td><td></td></tr><tr><td>火災保険料</td><td>111,000</td><td>110,166</td><td>火災保険料</td></tr><tr><td>自動車保険料</td><td>29,000</td><td>28,180</td><td>自動車保険料(軽バン2台分)</td></tr><tr><td>委託料</td><td>22,576,000</td><td>22,575,980</td><td></td></tr><tr><td>保守点検委託料</td><td>0</td><td>0</td><td>R6実施なし</td></tr><tr><td>その他の委託料</td><td>0</td><td>0</td><td>R6実施なし</td></tr><tr><td>施設管理委託料</td><td>156,000</td><td>155,980</td><td>緑水湖周辺草刈業務</td></tr><tr><td>指定管理料</td><td>22,420,000</td><td>22,420,000</td><td>指定管理料(5施設合計)(注1)</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>36,000</td><td>35,640</td><td>AED借上料</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>0</td><td>0</td><td>R6実施なし</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>0</td><td>0</td><td>R6実施なし</td></tr><tr><td>計</td><td>23,201,860</td><td>23,199,426</td><td></td></tr></table>			費目	予算額	決算額	備考	需用費	449,860	449,460		印刷製本費	132,000	132,000	緑水湖エリア外遊びマップ印刷	施設修繕料	317,860	317,460	受水槽天板劣化対策等	役務費	140,000	138,346		火災保険料	111,000	110,166	火災保険料	自動車保険料	29,000	28,180	自動車保険料(軽バン2台分)	委託料	22,576,000	22,575,980		保守点検委託料	0	0	R6実施なし	その他の委託料	0	0	R6実施なし	施設管理委託料	156,000	155,980	緑水湖周辺草刈業務	指定管理料	22,420,000	22,420,000	指定管理料(5施設合計)(注1)	使用料及び賃借料	36,000	35,640	AED借上料	工事請負費	0	0	R6実施なし	負担金補助及び交付金	0	0	R6実施なし	計	23,201,860	23,199,426		<table><tr><th>費目</th><th>決算額</th></tr><tr><td>需用費</td><td>0</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>0</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>0</td></tr><tr><td>役務費</td><td>138,346</td></tr><tr><td>火災保険料</td><td>110,166</td></tr><tr><td>自動車保険料</td><td>28,180</td></tr><tr><td>委託料</td><td>21,321,100</td></tr><tr><td>保守点検委託料</td><td>330,000</td></tr><tr><td>その他の委託料</td><td>991,100</td></tr><tr><td>施設管理委託料</td><td>0</td></tr><tr><td>指定管理料</td><td>20,000,000</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>35,640</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>6,843,100</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>1,099,009</td></tr><tr><td>計</td><td>29,437,195</td></tr></table>	費目	決算額	需用費	0	印刷製本費	0	施設修繕料	0	役務費	138,346	火災保険料	110,166	自動車保険料	28,180	委託料	21,321,100	保守点検委託料	330,000	その他の委託料	991,100	施設管理委託料	0	指定管理料	20,000,000	使用料及び賃借料	35,640	工事請負費	6,843,100	負担金補助及び交付金	1,099,009	計	29,437,195
費目	予算額	決算額	備考																																																																																																
需用費	449,860	449,460																																																																																																	
印刷製本費	132,000	132,000	緑水湖エリア外遊びマップ印刷																																																																																																
施設修繕料	317,860	317,460	受水槽天板劣化対策等																																																																																																
役務費	140,000	138,346																																																																																																	
火災保険料	111,000	110,166	火災保険料																																																																																																
自動車保険料	29,000	28,180	自動車保険料(軽バン2台分)																																																																																																
委託料	22,576,000	22,575,980																																																																																																	
保守点検委託料	0	0	R6実施なし																																																																																																
その他の委託料	0	0	R6実施なし																																																																																																
施設管理委託料	156,000	155,980	緑水湖周辺草刈業務																																																																																																
指定管理料	22,420,000	22,420,000	指定管理料(5施設合計)(注1)																																																																																																
使用料及び賃借料	36,000	35,640	AED借上料																																																																																																
工事請負費	0	0	R6実施なし																																																																																																
負担金補助及び交付金	0	0	R6実施なし																																																																																																
計	23,201,860	23,199,426																																																																																																	
費目	決算額																																																																																																		
需用費	0																																																																																																		
印刷製本費	0																																																																																																		
施設修繕料	0																																																																																																		
役務費	138,346																																																																																																		
火災保険料	110,166																																																																																																		
自動車保険料	28,180																																																																																																		
委託料	21,321,100																																																																																																		
保守点検委託料	330,000																																																																																																		
その他の委託料	991,100																																																																																																		
施設管理委託料	0																																																																																																		
指定管理料	20,000,000																																																																																																		
使用料及び賃借料	35,640																																																																																																		
工事請負費	6,843,100																																																																																																		
負担金補助及び交付金	1,099,009																																																																																																		
計	29,437,195																																																																																																		
(注1) R6.8.24に本館1階レストランの天井エアコンが故障し、事業者等へ修繕の可否を確認した結果、型番が古く交換部品等の調達が困難であるため機器の更新対応が必要となった。指定管理者による発注が営業休止期間を最短にする手段であり、休止期間を最短にする必要性があったことから、工事費を指定管理料に増額し対応した(R6.12補正)。																																																																																																			
①成果実績または活動実績																																																																																																			
■ 修繕・工事																																																																																																			
・受水槽劣化対策業務 145,860 円 : 受水槽の劣化対策としてコーティングを実施。																																																																																																			
・調整ポンプ槽機器取替 171,600 円 : 調整ポンプ槽の液面制御スイッチを取替。																																																																																																			
<利用実績> 単位:人																																																																																																			
<table><tr><th>年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>緑水園</td><td>11,739</td><td>9,811</td><td>15,079</td><td>17,309</td><td>16,693</td></tr><tr><td>うち日帰り</td><td>11,515</td><td>9,563</td><td>14,651</td><td>16,857</td><td>16,285</td></tr><tr><td>うち宿泊</td><td>224</td><td>248</td><td>428</td><td>452</td><td>408</td></tr><tr><td>コテージ</td><td>1,672</td><td>1,339</td><td>1,959</td><td>2,480</td><td>2,670</td></tr><tr><td>研修館</td><td>137</td><td>63</td><td>163</td><td>262</td><td>422</td></tr><tr><td>アリーナ</td><td>1,176</td><td>1,014</td><td>1,265</td><td>1,382</td><td>1,185</td></tr><tr><td>計</td><td>14,724</td><td>12,227</td><td>18,466</td><td>21,433</td><td>20,970</td></tr></table>					年度	R2	R3	R4	R5	R6	緑水園	11,739	9,811	15,079	17,309	16,693	うち日帰り	11,515	9,563	14,651	16,857	16,285	うち宿泊	224	248	428	452	408	コテージ	1,672	1,339	1,959	2,480	2,670	研修館	137	63	163	262	422	アリーナ	1,176	1,014	1,265	1,382	1,185	計	14,724	12,227	18,466	21,433	20,970																																															
年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																														
緑水園	11,739	9,811	15,079	17,309	16,693																																																																																														
うち日帰り	11,515	9,563	14,651	16,857	16,285																																																																																														
うち宿泊	224	248	428	452	408																																																																																														
コテージ	1,672	1,339	1,959	2,480	2,670																																																																																														
研修館	137	63	163	262	422																																																																																														
アリーナ	1,176	1,014	1,265	1,382	1,185																																																																																														
計	14,724	12,227	18,466	21,433	20,970																																																																																														
【委託料】 単位:円 (下段:決算額)																																																																																																			
<table><tr><th>件名</th><th>目的</th><th>概要</th><th>積算根拠</th><th>契約相手</th></tr><tr><td>緑水湖展望台 草刈業務</td><td>緑水湖展望台の景観 維持管理</td><td>定常さつき園の草刈業務</td><td>除草刈払 96h×1,478円(税抜)</td><td>南さいはく地域振興 協議会 (155,980円)</td></tr></table>					件名	目的	概要	積算根拠	契約相手	緑水湖展望台 草刈業務	緑水湖展望台の景観 維持管理	定常さつき園の草刈業務	除草刈払 96h×1,478円(税抜)	南さいはく地域振興 協議会 (155,980円)																																																																																					
件名	目的	概要	積算根拠	契約相手																																																																																															
緑水湖展望台 草刈業務	緑水湖展望台の景観 維持管理	定常さつき園の草刈業務	除草刈払 96h×1,478円(税抜)	南さいはく地域振興 協議会 (155,980円)																																																																																															

67 ページ

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	8	畜産業費	会計名	一般会計
事業名		1	畜産振興対策事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内の畜産農家					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		町内の畜産農家が行う家畜や畜産製品の生産・出荷の維持・促進、技術の向上並びに防疫対策をはかる。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		町内の畜産農家が生産・出荷する体制を維持する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町畜産共進会出品事業費補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	72.11 %				
144,400 円		137,000 円	△ 7,400 円	△ 5.1 %						
前年度比較		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		193 千円	190 千円	△ 3 千円	△ 1.6 %					
【事業内容】										
- 子牛の競り売りの頭数に応じた種付け料助成を行う。 - 西部畜産共進会で優秀な成績を収める等して鳥取県畜産共進会に出品した生産者に出品経費を助成することで、生産者の方の意欲向上、技術向上を図る。 - 家畜の防疫事業を行う(社)鳥取県畜産推進機構へ参画し、防疫事業を安定して遂行できる体制を整える。										
【決算の状況】										
(計画及び実績)										
①成果実績または活動実績 単位:円										
費 目		予算額	決算額	備 考						
負担金補助及び交付金		190,000	137,000							
その他負担金		12,000	12,000	(社)鳥取県畜産推進機構会費						
その他補助金		178,000	125,000	種付け料助成						
				50頭×1,300円＝65,000円(生産者数 8戸)						
				共進会出品補助						
				3頭×20,000円＝60,000円(生産者数 3戸)						
計		190,000	137,000							
種付け料助成		計画数:75頭(生産者数 8戸)			→	実績数:50頭(生産者数 8戸)				
共進会出品補助		計画数:4頭(生産者数 2戸)			→	実績数:3頭(生産者数 3戸)				
(参考 過去の実績)										
事業年度		R2	R3	R4	R5	R6				
畜産推進機構会費	補助金額	9,600円	9,800円	11,400円	14,200円	12,000円				
種付料助成	実績数量	52頭	63頭	63頭	54頭	50頭				
	補助金額	67,600円	81,900円	81,900円	70,200円	65,000円				
	生産者数	7戸	7戸	7戸	7戸	8戸				
共進会出品補助	実績数量	3頭	1頭	1頭	3頭	3頭				
	補助金額	60,000円	20,000円	20,000円	60,000円	60,000円				
	生産者数	2戸	1戸	1戸	2戸	3戸				
合計		137,200円	111,700円	113,300円	144,400円	137,000円				
②成果または活動の問題点										
子牛の種付け料助成及び共進会出品補助等の支援を継続し、出産・出荷体制の維持を図っていく。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					18 負担金補助及び交付金	144,400	137,000			
	一般財源		144,400	137,000						
	計		144,400	137,000	計	144,400	137,000			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		比較的経営規模の大きい肥育、酪農の生産農家で若い後継者への移行が進んでいる。種付・共進会出品に対する助成を実施し、若い後継者の生産意欲や畜産スキル向上を図り、畜産経営の維持に寄与する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		畜産後継者の認定農業者登録を推進して、経営計画健全化、機械施設整備の支援を行い、収益性向上に取り組む。							
	解決すべき課題への方策		小規模繁殖和牛農家、酪農農家の経営維持、拡大を支援する県施策の広報に努める。							

事業名	1	畜産振興対策事業	所属名	産業課
【補助金】				
(下段:実績額)				
件名	目的	概要	積算根拠	補助相手
南部町畜産共進会出品事業費補助金	畜産共進会に出品する町内の畜産農家を支援することで、畜産資源の安定供給、品質向上を図り、地域振興に資すること。	西部畜産共進会で優秀な成績を収める等して鳥取県畜産共進会に出品した生産者の方に出品経費を助成(鳥取県畜産共進会出品者に20,000円/頭×出品頭数)する。	和種々牛20,000円／頭 ×1頭＝ 20,000円	A農業者 (20,000円)
			育成牛20,000円／頭 ×1頭＝ 20,000円	B農業者 (20,000円)
			肥育牛20,000円／頭 ×1頭＝ 20,000円	C農業者 (20,000円)
畜産振興奨励(種付け料助成)補助金	和牛(子牛)の競り売りの頭数に応じた種付け料助成を行うことで、畜産振興に資すること。	種付け料助成による畜産農家の負担軽減措置を実施する。 ○頭数×単価1,300円を助成	6頭×1,300円/頭 ＝7,800円	D農業者 (7,800円)
			6頭×1,300円/頭 ＝7,800円	E農業者 (7,800円)
			5頭×1,300円/頭 ＝6,500円	F農業者 (6,500円)
			10頭×1,300円/頭 ＝13,000円	G農業者 (13,000円)
			2頭×1,300円/頭 ＝2,600円	H農業者 (2,600円)
			17頭×1,300円/頭 ＝22,100円	I農業者 (22,100円)
			0頭×1,300円/頭 ＝0円	J農業者 (0円)
			4頭×1,300円/頭 ＝5,200円	K農業者 (5,200円)

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	8	畜産業費	会計名	一般会計																							
事業名		4	畜産経営緊急救済事業						所属名	産業課																							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内の酪農家及び肉用子牛生産者補給金交付契約を締結している和子牛生産農家					総合計画における位置づけ																									
	意図 (対象をどうするか)		・配合飼料や輸入牧草の急騰により農家所得が大幅に減少していることから、飼料代の一部を支援し、もって農業経営の安定を図る。 ・和子牛価格急落により経営が悪化している和子牛生産農家の方を支援する。					②魅力ある農林業と商工業の振興																									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		肥育に必要な飼料代の一部を支援することや、基準価格の60万円に対して和子牛せり平均価格が下回った場合の差額の一部を助成することによって、生産者の方の経営安定が図られ、離農・廃業を防止することができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																									
								④共生と防災のまちづくり																									
								根拠法令・要綱等																									
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町畜産経営緊急救済事業費補助金交付要綱、南部町和子牛緊急対策事業費補助金交付要綱																											
		2,323,444 円	1,279,672 円	△ 1,043,772 円	△ 44.9 %																												
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減																												
		2,573 千円	1,764 千円	△ 809 千円	△ 31.4 %																												
		令和6年度執行率	72.54 %																														
【事業内容】 ○畜産経営緊急救済事業 飼料需要増加やトウモロコシの作況悪化、社会情勢などの影響により、飼料価格、資材・燃料代が高騰し、町内の畜産農家の経営を圧迫していることから、県と協調し畜産農家への緊急支援を行うもの。 (補助金の算定方法) 毎月大山乳業が示す乳用牛1日1頭あたりの飼料価格から基準価格2,296円を減じた額に乳用牛頭数と日数を乗じて得た額。 補助額の負担割合 県 1/2、町 1/4、統轄事業者 1/8、補助割合計 7/8 ○南部町和子牛緊急対策事業 令和6年4月から令和7年3月までの鳥取県中央家畜市場において、和子牛せり平均価格が60万円を下回った場合に、差額の一部を鳥取県と協調支援する。 (補助率) 県 上記差額の3/4、 町 上記差額の1/4 【決算の状況】 (計画) 畜産経営緊急救済事業(対象農家数 2戸) 単位:頭、円																																	
<table><tr><th>区分</th><th>経産牛頭数</th><th>対象経費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>対象農家A</td><td>67</td><td>6,285,300</td><td>1,571,325</td></tr><tr><td>対象農家B</td><td>42</td><td>3,939,080</td><td>984,770</td></tr><tr><td>計</td><td>109</td><td>10,224,380</td><td>2,556,095</td></tr></table>				区分	経産牛頭数	対象経費	補助金額	対象農家A	67	6,285,300	1,571,325	対象農家B	42	3,939,080	984,770	計	109	10,224,380	2,556,095	南部町和子牛緊急対策事業(対象農家数 8戸) 単位:頭、円													
区分	経産牛頭数	対象経費	補助金額																														
対象農家A	67	6,285,300	1,571,325																														
対象農家B	42	3,939,080	984,770																														
計	109	10,224,380	2,556,095																														
<table><tr><th>区分</th><th>経産牛頭数</th><th>対象経費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>対象農家A</td><td>67</td><td>2,543,320</td><td>635,830</td></tr><tr><td>対象農家B</td><td>42</td><td>1,594,320</td><td>398,580</td></tr><tr><td>計</td><td>109</td><td>4,137,640</td><td>1,034,410</td></tr></table>				区分	経産牛頭数	対象経費	補助金額	対象農家A	67	2,543,320	635,830	対象農家B	42	1,594,320	398,580	計	109	4,137,640	1,034,410	<table><tr><th>区分</th><th>和子牛頭数</th><th>対象経費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>せり開催期間(4～12月分)</td><td>50</td><td>2,914,400</td><td>728,600</td></tr></table>						区分	和子牛頭数	対象経費	補助金額	せり開催期間(4～12月分)	50	2,914,400	728,600
区分	経産牛頭数	対象経費	補助金額																														
対象農家A	67	2,543,320	635,830																														
対象農家B	42	1,594,320	398,580																														
計	109	4,137,640	1,034,410																														
区分	和子牛頭数	対象経費	補助金額																														
せり開催期間(4～12月分)	50	2,914,400	728,600																														
(実績) ①成果実績または活動実績 畜産経営緊急救済事業(対象農家数 2戸) 単位:頭、円				南部町和子牛緊急対策事業(対象農家数 7戸) 単位:頭、円																													
<table><tr><th>区分</th><th>経産牛頭数</th><th>対象経費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>対象農家A</td><td>67</td><td>2,543,320</td><td>635,830</td></tr><tr><td>対象農家B</td><td>42</td><td>1,594,320</td><td>398,580</td></tr><tr><td>計</td><td>109</td><td>4,137,640</td><td>1,034,410</td></tr></table>				区分	経産牛頭数	対象経費	補助金額	対象農家A	67	2,543,320	635,830	対象農家B	42	1,594,320	398,580	計	109	4,137,640	1,034,410	<table><tr><th>区分</th><th>和子牛頭数</th><th>対象経費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>せり開催期間(4～12月分)</td><td>54</td><td>981,050</td><td>245,262</td></tr></table>						区分	和子牛頭数	対象経費	補助金額	せり開催期間(4～12月分)	54	981,050	245,262
区分	経産牛頭数	対象経費	補助金額																														
対象農家A	67	2,543,320	635,830																														
対象農家B	42	1,594,320	398,580																														
計	109	4,137,640	1,034,410																														
区分	和子牛頭数	対象経費	補助金額																														
せり開催期間(4～12月分)	54	981,050	245,262																														
・飼料代や和子牛せり平均価格を下回った場合の差額の一部補助の支援を県と協調して行うことで、町内の畜産農家の経営安定が図られる。 ②成果または活動の問題点 ・飼料価格等の状況を関係機関と連携し把握し、事業内容を検討していく。																																	
※前年度決算状況との比較 ・畜産経営緊急救済事業において、乳用牛1日1頭あたりの飼料費が大幅に減少したことによるもの。																																	
(歳入内訳 単位:円)																																	
(歳出内訳 単位:円)																																	
款-項-目-節		科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額																								
14-2-1-1-1-12		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		2,323,444	0	18 負担金補助及び交付金		2,323,444	1,279,672																								
		一般財源		0	1,279,672																												
		計		2,323,444	1,279,672	計		2,323,444	1,279,672																								
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		畜産農家の経営支援を行うことにより、営農継続及び畜産物の安定供給を支援する。																														
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																
	達成できた点をさらに伸ばす方策		県と強調し、適切な時期に補助金交付を行うよう努める。																														
	解決すべき課題への方策		飼料価格が高止まりし、畜産農家の経営圧迫が続く状況であれば、支援事業の内容について検討が必要となる。																														

款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	9	農地費		会計名	一般会計	
事業名		2-4	県営農村地域防災減災事業(ため池整備、豪雨対策)									所属名	産業課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		防災受益10.7ha、人家7戸、県道							総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)		破堤被害から下流域の農地、人家、公共施設等を守る。							②魅力ある農林業と商工業の振興					
	成果の視点 (どのような効果があるか)		地震、豪雨により想定されるすべり・溢水による破堤被害を未然に防止するとともに、日常のため池管理労力を軽減する。							「五つの挑戦」から見た位置づけ					
										④共生と防災のまちづくり					
										根拠法令・要綱等					
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		土地改良事業関係補助金交付要綱、鳥取県県営土地改良事業分担金等徴収条例施行規則							
		3,299,428 円	2,285,018 円	△ 1,014,410 円		△ 30.7 %									
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減									
		3,300 千円	11,440 千円	8,140 千円		246.7 %									
		【事業内容】 農村地域防災減災事業(ため池整備事業 豪雨・地震対策)は土砂災害を含めた豪雨及び地震に対するため池の構造的安定性の確保を目的に事業を実施する。 ・事業要件:総事業費3,000万円以上、負担区分:国55%、県34%、町11%、地元なし ・対象地区:掛合地区(掛合大池、二石池)、浅井地区(青木池)													
		【決算の状況】 (計画) ●掛相大池・二石池(掛相地区) 単位:円													
		年度	事業内容		事業費		負担区分								
						国費	県費		町費						
		R6	仮設道路設置工事、二石池改修工事、借地・立木補償・用地買収		83,000,000		45,650,000		28,220,000		9,130,000				
		●青木池(浅井地区) 単位:円													
		年度	事業内容		事業費		負担区分								
						国費	県費		町費						
		R6	実施設計業務		21,000,000		11,550,000		7,140,000		2,310,000				
(実績)		①成果実績または活動実績 ●掛相大池・二石池(掛相地区) 単位:円													
		年度	事業内容		事業費		負担区分								
						国費	県費		町費						
		R6	地盤変動影響調査業務、付帯工検討業務、相続関係調査業務		3,292,795		1,811,037		1,119,550		362,207				
		●青木池(浅井地区) 単位:円													
		年度	事業内容		事業費		負担区分								
						国費	県費		町費						
		R6	実施設計業務		17,480,100		9,614,055		5,943,234		1,922,811				
		②成果または活動の問題点 掛相地区については、用地買収予定地に関係者不明地(現所有者住所記載なし)があることが判明し、該当地の相続人等を調査する必要が生じた。調査の結果、相当人数の関係者が関わることが判明し調整等を行ったが、用地買収が難しいことから、用地買収が伴わないよう設計変更することとなった。													
		※上記により不測の日数を要し年度内完成が困難となり、繰越した。(繰越額9,154,982円)													
		※前年度事業決算状況との比較 R5年度は掛相大池・二石池に係る事業(1か所)であり、R6年度は2個所の事業を行った。													
		(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)													
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額		節		前年度決算額	本年度決算額				
21-1-3-1		農村地域防災減災事業債			2,900,000	2,000,000		18 負担金補助及び交付金		3,299,428	2,285,018				
		一般財源			399,428	285,018									
		計			3,299,428	2,285,018		計		3,299,428	2,285,018				
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地震や豪雨に対する構造的安定性を確保のため、鳥取県地域防災計画の重要ため池の内、H25に県が行ったため池一斉点検で評価値が低く、決壊のリスクが高いため池を順位付けて改修する。												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成できた点をさらに伸ばす方策		平成30年7月豪雨により多くのため池が決壊し、甚大な被害が生じたことを踏まえて、農林水産省が防災重要ため池の選定の見直しを検討している。町内のため池の緊急点検をおこなった上で防災重要ため池ついて再選定を行い、施設機能の適切な維持、補強に向けて対策を検討する。												
	解決すべき課題への方策		決壊した場合の影響度の大きなため池から、ため池ハザードマップ作成を依頼し、施設機能の適切な維持、補強に向けて対策を検討して、緊急時の迅速な避難行動につなげる。												

②成果または活動の問題点

- ・県事業の進捗状況及び繰越や補正予算の有無等について、県及と地元とのパイプ役を努めながら協議が行っていく必要がある。

●掛相大池・二石池(掛相地区)



●青木池(浅井地区)



款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	9	農地費		会計名	一般会計	
事業名		4	農地中間管理機構調整業務									所属名	産業課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		農地中間管理機構と農業者の方									総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		農地の借受希望者と貸付希望者を仲介し、農地の集積・集約化や農業経営の効率化を進める。									②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農地集積を図ることにより、担い手の営農効率化を図るとともに、耕作放棄地の増加を防ぐ。									「五つの挑戦」から見た位置づけ			
												④共生と防災のまちづくり			
												根拠法令・要綱等			
												国農地中間管理事業の推進に関する法律、農地集積・集約化対策事業実施要綱、南部町機構中間保有地再生活用事業補助金交付要綱			
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		令和6年度執行率		100.00 %				
	350,000 円		1,436,000 円		1,086,000 円		310.3 %								
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減								
	500 千円		1,436 千円		936 千円		187.2 %								
【事業内容】 農地の貸し借りを行う際、農地の所有者と耕作者の二者契約ではなく、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構を介した三者契約を行う。 (公財)鳥取県農業農村担い手育成機構が農地を纏めて耕作者へ貸し出す事で、一定の要件を満たす場合には、地域に対して協力金が交付されたり、基盤整備などの支援措置を受ける事ができる。 (公財)鳥取県農業農村担い手育成機構と業務委託契約を結び、契約書類の受付等業務の一部を町が行う。															
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 ○農地の縮小希望(出し手)、規模拡大希望(受け手)の掘り起こし ○農地の現地確認の実施、農家と機構との連絡調整、利用促進計画等の策定 ○中間保有地再生事業補助金／農地中間管理機構が行う荒廃農地の再生事業に対して補助を行う															
単位:円 (参考) 単位:円															
費目		予算額		決算額		備考						R5決算額			
需用費		120,000		120,000		消耗品費: 法令集、コピー代ほか						206,944			
役務費		80,000		80,000		通信運搬費: 郵送料、切手代						100,000			
使用料及び賃借料		70,000		70,000		使用料: 登記情報サービス使用料(注1)						43,056			
負担金補助及び交付金		1,166,000		1,166,000		中間保有地再生事業補助金						0			
計		1,436,000		1,436,000								350,000			
(注1) R5年年度から登記情報サービスの活用を開始・・・法務局のインターネット情報の閲覧															
【補助金(再掲)】 (下段:実績額)															
補助金名		目的		概要				積算根拠				補助相手			
中間保有地再生事業補助金		荒廃農地を再生し、担い手が活用する		荒廃農地1,640㎡の再生(伐木及び除草)				伐木及び除草委託費1,640㎡				農地中間管理機構(1,166,000円)			
(参考) 中間管理集積・配分実績 (参考) R5集積・配分															
区分		人数		筆数		面積(㎡)		区分		人数		筆数		面積(㎡)	
出し手		191		429		660,614		出し手		138		275		402,546	
受け手		97		429		660,614		受け手		61					
○現地確認: 11回 ○利用促進計画: 11回策定															
②成果または活動の問題点 中山間の条件不利農地の貸し出し意向に対して、引き受け手が不足し、貸し借りが成立しない場合がある。															
※前年度決算状況との比較 R6年度は中間保有地再生事業を実施したため、前年度との増減が多くなった															
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)															
款-項-目-節		科目名称			前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額		
15-2-4-1		農地中間管理機構支援対策事業費補助金			0		583,000		10 需用費		206,944		120,000		
20-5-5-1		農地中間管理機構調整業務委託金			350,000		270,000		11 役務費		100,000		80,000		
									13 使用料及び賃借料		43,056		70,000		
									18 負担金補助及び交付金		0		1,166,000		
		一般財源			0		583,000								
		計			350,000		1,436,000		計		350,000		1,436,000		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容			農地集積・集約を進められるよう、担い手間の利用調整や意向の把握が必要											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成できた点をさらに伸ばす方策			受け手となる農家の集約・集積化のため区域の調整を図る。											
	解決すべき課題への方策			中山間地域の担い手が不足しているため、他施策と連携して担い手の確保に努めると共に、耕作を継続する農用地の整理を図る。											

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計
事業名		5	農地中間管理機構集積協力金交付事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	農地中間管理機構への利用権設定を通し、地域の中心経営体等、地域農業の担い手へ農地集積や集約化に協力する地域						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	地域ぐるみでの農用地の集積・集約化を図る						②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	農地中間管理機構を活用し、地域全体の農用地の集積を進める事で、担い手の育成や規模拡大を支援し、効率的な農業の実施を図る						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
		国農地中間管理事業の推進に関する法律、鳥取県農地集積・集約化対策事業実施要綱、南部町機構集積協力金交付規則								
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	0 円	6,287,200 円	6,287,200 円	100.0 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度					
	0 千円	6,288 千円	6,288 千円	100.0 %	執行率	99.99	%			
【事業内容】 機構集積協力金交付事業(国事業__補助率10/10) 農地中間管理機構を通した、地域農業の担い手への農地集積・集約化を進めるため、農用地をまとめて貸し出した地域を対象に協力金を交付する。										
区 分		交付対象	摘 要							
地域集積協力金		地域(団体)	地域内のまとまった農地を農地中間管理機構へ貸し付け、担い手への集積・集約化を図る場合へ交付する							
集約化奨励金		地域(団体)	団地(集団的な農地)面積の増加割合が高い地域へ交付する							
経営転換協力金		集積に協力した個人	制度改正によりR6年度から廃止 担い手への農地集積のために営農を縮小した個人へ交付する							
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績 ○ 宮前一区(地域に対する交付) 単位:a、円										
区分		交付単価	対象面積	交付額						
地域集積協力金	計画	28,000円／10a	1,084	3,035,200						
	実績	28,000円／10a	1,084	3,035,200						
集約化奨励金	計画	30,000円／10a	1,084	3,252,000						
	実績	30,000円／10a	1,084	3,252,000						
合計				6,287,200						
・ 集落営農組織(農家34戸から構成)へ農地の集積・集約が行われ、計画どおり協力金の交付を行った。 ・ 宮前一区の集積面積は、124aから1,208aに増加した(1,084a増加)										
②成果または活動の問題点 規模の大きな担い手がいる集落の集積はほぼ終了した。新たに集積を志向する担い手の掘り起こしを行う。 令和7年度の制度改正により、交付対象となる集積面積が大きくなり、令和6年度までよりも交付要件が厳しくなる。										
<過去の実績> 令和2年度 単位:件、a、円										
種別		対象	単価	件数	対象面積	金額				
経営転換協力金			15,000円／10a	3	250	375,000				
合 計						375,000				
令和3年度 単位:件、a、円										
種別		対象	単価	件数	対象面積	金額(円)				
経営転換協力金			15,000円／10a	2	109	163,500				
合 計						163,500				
・ 制度改正により経営転換協力金は令和6年度から廃止となった ・ 令和4年度、5年度の実績なし										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-4-1	農地集積・集約化対策事業費補助金		0	6,287,200	18 負担金補助及び交付金	0	6,287,200			
	一般財源		0	0						
計			0	6,287,200	計	0	6,287,200			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和7年度の制度改正により、交付対象となる集積面積が大きくなったため、令和6年度までよりも交付要件が厳しくなる							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		集積意向のある農業者を適切に把握し、事業実施に努める。							
	解決すべき課題への方策		交付要件が厳しくなるため、貸借の開始時期の調整、営農規模の把握等を行う。							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	12	地域物産販売所事業費	会計名	一般会計
事業名		1-1	野の花管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		特産センター野の花の利用の方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		とっとり花回廊駐車場にある特産センター野の花について、適正な管理・運営を行う					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		地域農産物の販売拠点として町内外の方に利活用いただく					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町地域物産販売施設条例、条例施行規則		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率	58.65%				
	338,265 円	311,452 円	△ 26,813 円	△ 7.9 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	591 千円	531 千円	△ 60 千円	△ 10.2 %						
【事業内容】 とっとり花回廊駐車場内の地域物産販売所「野の花」を管理する。 ■特産センター「野の花」販売協議会の会員等が野菜、果樹等の販売を行う。 開業日 定例・・・週末(金曜、土曜、日曜)、随時・・・ゴールデンウィーク(5月)、シルバーウィーク(9月)等										
【決算の状況】 (計画及び実績)										
単位:円 (参考) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考			R5決算額			
需用費		386,000	195,746				222,339			
光熱水費		336,000	195,746	電気代、水道代			159,199			
施設修繕料		50,000	0				63,140			
役務費		41,000	40,228	火災保険料			40,228			
委託料		24,000	23,100	消防点検委託			23,320			
使用料及び借上料		80,000	52,378				52,378			
借上料		50,000	41,818	敷地賃借料			41,818			
使用料		30,000	10,560	下水使用料			10,560			
計		531,000	311,452				338,265			
①成果実績または活動実績										
【委託料】										
件名		目的	概要		単位:円 (下段:決算額)		積算根拠 契約相手			
消防用設備定期点検		利用者の安全確保	消防設備点検		1回目 11,000円 2回目 12,100円 計:23,100円		(株)上田商事 (110,000円)			
②成果または活動の問題点										
とっとり花回廊や町の観光協会と協議しながら利用促進を図ることができなかった。										
※野の花販売協議会と西伯山菜加工組合が共同で事業を行った結果、需用費(光熱水費)が減となった。										
・令和6年度 野の花販売実績、()内はR5年度実績額、使用団体：3団体(野の花販売協議会会員)										
団体名		販売日数	販売額	販売内容		備考				
野の花販売協議会		41日	1,355,000円	野菜、果樹		秋期中心、土日祝に販売				
西伯山菜加工組合		(77日)	(1,188,000円)	漬物、餅ほか						
虹の会		3日 (3日)	217,000円 (250,000円)	唐揚げ、焼きそば等		4/7, 5/3～5/4 イベント販売				
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					10 需用費	222,339	195,746			
					11 役務費	40,228	40,228			
					12 委託料	23,320	23,100			
					13 使用料及び賃借料	52,378	52,378			
	一般財源		338,265	311,452						
	計		338,265	311,452	計	338,265	311,452			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		施設・備品の老朽化が課題となっているが、利用団体においては今後も施設を活用し地元の農産物、果樹を販売していきたい意向があり、施設を存続する方向で有効活用を検討していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		関係者と連携し、施設の宣伝PR等の利用促進を図っていく。							
	解決すべき課題への方策		とっとり花回廊や町の観光イベントと連携しながら、集客を図るように行っていく。							

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業総務費	会計名	一般会計
事業名		1	林業総務費事務費(産業課)						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		林業関係各種団体					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		林業関係の各種団体に対し活動費の一部を負担することで林業及び緑化運動の促進を図る					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		林業関係各種団体への支援を通じ町内林産業の促進を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								森林法、南部町森林整備担い手育成 対策事業費補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	88.17 %				
805,941 円		667,440 円	△ 138,501 円	△ 17.2 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
前年度比較		828 千円		757 千円		△ 71 千円		△ 8.6 %		

【事業内容】

○森林整備担い手育成総合対策事業(新規就業への支援補助)(県事業)

林業事業者を新たに雇用した際に、事業者が負担する社会保険料等の一部を支援する。

○県内林業関係各種団体の活動費一部負担することにより、県内林業従事者の雇用安定等を図る。また、緑の募金、一株植樹等を通じて緑化運動の促進を図る。

【決算の状況】

(計画及び実績)

費目	予算額	決算額	備考	単位:円
負担金補助及び交付金	757,000	667,440		
その他負担金	284,000	242,144	鳥取県緑化推進委員会負担金他	
その他補助金	473,000	425,296	森林整備担い手育成総合対策事業補助金	
計	757,000	667,440		

費目	決算額	単位:円
負担金補助及び交付金	805,941	
その他負担金	505,057	
その他補助金	300,884	
	805,941	

①成果実績または活動実績

＜各種負担金＞

- ・林業労働者福祉向上事業費負担金
- ・鳥取県緑化推進委員会負担金
- ・鳥取県治山林道協会負担金
- ・みなと森と水ネットワーク会議負担金

113,844 円

17,300 円

61,000 円

50,000 円

県内の林業関係団体へ負担金を支出し、雇用安定や治山活動に寄与。
港区主催の木材協定に参画

○その他補助金

- ・森林整備担い手育成総合対策事業
- ・積算根拠

425,296 円

当該年度の社会保険料の1/2(県1/4、町1/4)

対象者:鳥取県西部森林組合
(令和6年度対象者数:2名)

○緑の羽募金活動

- ・緑の募金集金実績(令和6年度)
- ・配分金活用実績:16団体
(施設、地区内緑化活動に活用)
- ・一株植樹購入実績(令和6年度)

579,600 円

370,000 円

65,000 円

- ・保育園 4園
- ・小中学校 5校
- ・地域振興協議会等 7組織
- ・109本
(購入本数の減は、一人当たりの購入本数の減による)

- ・配分金活用実績
団体数に変化なし
- ・一株植樹実績は減少
R5:111,050円(315本)

②成果または活動の問題点:高齢化、低定着率のため林業事業体の担い手が減少している。

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-4-2	森林林業担い手育成対策事業補助金	150,442	212,647	18 負担金補助及び交付金	805,941	667,440
2-3-1-1	森林環境譲与税	210,000	0			
	一般財源	445,499	454,793			
計		805,941	667,440	計	805,941	667,440

(歳出内訳 単位:円)

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

林業労働者の福利厚生に寄与する林業労働者福祉向上事業について、林業労働者の確保の観点からも引き続き負担金を通じて支援する。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策	有効な補助金を活用し引き続き事業者支援を行う。
解決すべき課題への方策	事業の普及に向けたPRを実施する。また、新規林業労働者確保の観点から引き続き負担金・補助金を通じて支援を行う。

今後に向けて

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名		1	有害鳥獣駆除事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		鳥獣対策協議会、農業従事者、猟友会員ほか駆除従事者の方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		鳥獣からの農作物被害を防止するとともに、駆除従事者の方への支援を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		鳥獣からの農作物被害の軽減を図り、農業意欲を維持する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、鳥取県鳥獣害総合対策事業交付金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引		増減					
15,951,870 円		15,729,501 円		△ 222,369 円		△ 1.4 %				
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度 執行率	94.53 %
	16,039 千円		16,639 千円		600 千円		3.7 %			
【事業内容】 野生鳥獣による農林業被害の軽減のため、鳥獣の捕獲により個体数を減少させる事業及び水田等の農地への侵入を防止するための支援を行う。										
【決算の状況】 (計画及び実績) ①成果実績または活動実績										
単位:円										
費目		予算額		決算額		備考				
報酬		33,000		0		実績なし				
報償費		4,000		4,000		巣箱コンクール副賞(図書券)				
需用費		79,000		49,231		消耗品				
委託料		6,250,000		6,010,000		鳥類駆除244人・日 イノシシ・シカ駆除2,160人・日				
原材料費		2,911,000		2,910,600		ワイヤーメッシュ・トタン1,068枚、電気柵7基 鉄筋・L型アングル1,679本				
負担金 補助及び 交付金		7,362,000		6,755,670		南部町鳥獣被害対策協議会補助金(猪檻2基他) 猪・鹿・ヌートリア捕獲奨励金(下記実績表参照) 新規従事者育成奨励金等 (新規加入4人、免許更新13人、銃練習1人)				
計		16,639,000		15,729,501						
＜有害鳥獣駆除実績表＞										
単位:頭、羽										
種類	R2	R3	R4	R5	R6					
イノシシ	498	396	278	576	480					
シカ	8	4	9	11	14					
ヌートリア	56	42	107	125	125					
鳥類	174	60	115	93	84					
②成果または活動の問題点 猟友会について、会員の高齢化により、今後の活動の継続に課題がある。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-2	有害鳥獣駆除事業補助金			5,012,333	5,273,957	1 報酬	0	0		
20-5-5-1	イノシシ等被害防止負担金			2,119,333	1,661,275	7 報償費	4,000	4,000		
						10 需用費	0	49,231		
						12 委託料	5,995,000	6,010,000		
						15 原材料費	3,179,000	2,910,600		
	一般財源			8,820,204	8,794,269	18 負担金補助及び交付金	6,773,870	6,755,670		
計				15,951,870	15,729,501	計	15,951,870	15,729,501		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		イノシシをはじめとする有害鳥獣による農作物への被害は対策を講じないと増加する一方であるため、引き続き捕獲による個体の減少及び侵入防止のための支援を継続する必要がある。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		猟友会との連携により鳥獣の捕獲を図るとともに、侵入防止柵の設置による被害防止を農家を中心に周知する。							
	解決すべき課題への方策		捕獲体制をより強化していくために、猟友会員の増加に向けた取り組み及び猟友会員向けの研修を実施していく。							

事業名	1	有害鳥獣駆除事業	所属名	産業課
-----	---	----------	-----	-----

【委託料】		(下段:決算額)		
件名	目的	概要	積算根拠	契約相手
有害鳥獣駆除 業務委託	有害鳥獣駆除委託による 個体数調整	鳥類(カラス、カワウ等)の銃による 駆除業務	2,500円×5回 ×10人(従事者数) ×2カ月分	西伯猟友会 (250,000円)
			2,500円×6回 ×6人(従事者数) ×4カ月分	会見猟友会 (360,000円)
		獣類(イノシシ、シカ等)の銃又は罠 による駆除業務	2,500円×2.5回 ×72人(西伯47会見25) ×12か月分を按分(注)	西伯猟友会 (3,940,000円)
				会見猟友会 (1,460,000円)

(注) 5,400千円のうち、50%を当年(R6)の従事者数按分、50%を前年(R5)の駆除数按分し、各猟友会の委託料を算定

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計																							
事業名		4	造林事業						所属名	産業課																							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		森林所有者(分収契約を締結している森林所有者)					総合計画における位置づけ																									
	意図 (対象をどうするか)		火災保険による町行造林地の損失補償 造林した金華山の保育作業によるクヌギが生育する環境整備					②魅力ある農林業と商工業の振興																									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		・対象地の森林国営保険付保による町有地の損失補償 ・健全な広葉樹林層形成へ向けた保育下刈りの実施					「五つの挑戦」から見た位置づけ																									
								④共生と防災のまちづくり																									
								根拠法令・要綱等																									
								鳥取県造林事業補助金交付要綱																									
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		98.92 %																										
	866,432 円	1,329,469 円	463,037 円	53.4 %																													
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減																													
	897 千円	1,344 千円	447 千円	49.8 %																													
【事業内容】 町行造林地維持管理事業 火災、災害等による造林地被害に対する補償として国営森林保険に加入する。																																	
【決算の状況】 (計画及び実績) 単位:円 (参考:R5決算額) 単位:円																																	
<table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td>15,000</td><td>1,000</td><td>法務局登記手数料(地上権抹消)</td></tr><tr><td>役務費</td><td>1,329,000</td><td>1,328,469</td><td>森林保険料</td></tr><tr><td>計</td><td>1,344,000</td><td>1,329,469</td><td></td></tr></table>				費目	予算額	決算額	備考	需用費	15,000	1,000	法務局登記手数料(地上権抹消)	役務費	1,329,000	1,328,469	森林保険料	計	1,344,000	1,329,469		<table><tr><th>費目</th><th>決算額</th></tr><tr><td>需用費</td><td>0</td></tr><tr><td>役務費</td><td>866,432</td></tr><tr><td>委託料</td><td>866,432</td></tr></table>						費目	決算額	需用費	0	役務費	866,432	委託料	866,432
費目	予算額	決算額	備考																														
需用費	15,000	1,000	法務局登記手数料(地上権抹消)																														
役務費	1,329,000	1,328,469	森林保険料																														
計	1,344,000	1,329,469																															
費目	決算額																																
需用費	0																																
役務費	866,432																																
委託料	866,432																																
①成果実績または活動実績 ○町行造林地維持管理事業 火災、災害等による立木損失補償に対応する森林保険に加入																																	
＜森林保険更新実績＞ 単位:ha、年、円																																	
<table><tr><th></th><th>令和6年度更新分</th><th>(参考)令和5年度更新分</th></tr><tr><td>対象森林</td><td>44.5</td><td>24.14</td></tr><tr><td>保険期間</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>保険料</td><td>1,329,469</td><td>866,432</td></tr></table>					令和6年度更新分	(参考)令和5年度更新分	対象森林	44.5	24.14	保険期間	5	5	保険料	1,329,469	866,432																		
	令和6年度更新分	(参考)令和5年度更新分																															
対象森林	44.5	24.14																															
保険期間	5	5																															
保険料	1,329,469	866,432																															
○需用費(消耗品費) 町行造林の地上権解除に伴う法務局申請手数料 法務局申請実績 :1件																																	
②成果または活動の問題点 金華山のクヌギ造林地については必要に応じ除伐、枝打ち実施の計画づくりが必要となっている。																																	
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)																																	
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																										
					10 需用費	0	1,000																										
					11 役務費	866,432	1,328,469																										
	一般財源		866,432	1,329,469																													
	計		866,432	1,329,469	計	866,432	1,329,469																										
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		金華山のクヌギ保育林下刈り後の保育方法及び管理方法について検討する。																														
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																
	達成できた点をさらに伸ばす方策		新たな保育下刈り事業に取り組むなど保育したクヌギ林の保育・活用方法を検討し実践につなぐ。																														
	解決すべき課題への方策		県普及員等を通じ生育状況を把握し、良好な生育となるよう国補助を活用し適切に生育できる計画を立てる。																														

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業費	会計名	一般会計
事業名		6	竹林整備事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		荒廃した竹林の整備を行い、整備後の竹林を有効活用しようとする竹林を所有する方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		荒廃した竹林を整備し、タケノコ生産販売、竹材としての竹の供給等を行うことで、森林整備と所有者の経済的利益の創出を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		実施予定地区における竹林の適正な整備により森林安協及び生活環境の改善を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								竹林整備事業実施要領、南部町竹林整備事業費補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	76.04 %				
1,696,428 円		2,634,002 円	937,574 円	55.3 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
前年度比較		1,697 千円		3,464 千円		1,767 千円		104.1 %		
【事業内容】 ○目的、内容：荒廃竹林の整備、整備後に生産林・景観林として活用を希望する団体へ整備費用を補助。 ○対象：該当箇所の森林所有者あるいは森林所有者から委託を受けた林業事業体等 ○補助率：県 8/10（県事業）										
【決算の状況】 (計画及び実績)										
						単位:円		令和5年度決算額		単位:円
費目		予算額		決算額		備考		費目		決算額
負担金補助及び交付金		3,464,000		2,634,002		竹林整備事業補助金 2地区		負担金補助及び交付金		1,696,428
計		3,464,000		2,634,002				計		1,696,428
①成果実績または活動実績 町内2地区において本補助金を活用し竹林整備を実施した。 ＜補助実績＞										
区分		合同会社清水川		鳥取県西部森林組合		合計		＜積算根拠＞ 現地調査結果及び令和6年度竹林整備事業標準単価表（豊かな森づくり協働税関連事業）に基づき事業費を積算（算定事業費の8/10補助）		
実施地区		清水川		赤谷						
実施面積		0.47		0.35		0.82				
算定事業費		2,081,310		1,211,193		3,292,503				
補助金額		1,665,048		968,954		2,634,002				
②成果または活動の問題点 ・森林づくり協働税（県税）の税收低下による配分額減少、及び各種費用の高騰により実施規模が年々限られてきている。森林環境譲与税を活用し事業実施に繋いでいるが、今後県税増収の見込みが低いため、実施方法を検討する必要がある。										
（参考:過年度実績）										
区 分		R2		R3		R4		R5		R6
実施地区		赤谷、能竹		清水川		赤谷		清水川、鴨部		清水川、赤谷
実施面積		0.64		0.98		0.38		0.38		0.82
事業費		2,090,890		3,288,380		1,468,880		2,120,536		3,292,503
補助金額		1,672,712		2,630,704		1,211,872		1,696,428		2,634,002
（歳入内訳 単位:円）										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額 本年度決算額
15-2-4-2		竹林整備事業補助金		580,000		937,456		18 負担金補助及び交付金		1,696,428 2,634,002
2-3-1-1		森林環境譲与税		1,116,428		1,696,546				
		一般財源		0		0				
計				1,696,428		2,634,002		計		1,696,428 2,634,002
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		・事業実施後の竹林活用について事前段階で説明をする必要がある。 ・県配分額が減少傾向にあるため、事業継続のための方向性を検討する必要がある。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		事業実施主体による実施後5年間の管理に向けた体制の構築及び制度の周知だけでなく、活用方法の提案等を行い、竹林の有効活用方法を模索する。							
	解決すべき課題への方策		荒廃した放置竹林で困られる方々に広く補助活用いただける仕組みを他市町村等の取組事例を収集し検討する。							

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名		10	ナラ枯れ対策事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		森林					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		被害拡大の防止を図り、里地里山の良好な景観を維持する。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		ナラ枯れ被害木拡大の抑制のため、くん蒸処理実施において被害重点地域にて処理をする。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								鳥取県松くい虫等防除事業費補助金 交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	19.62 %				
919,600 円		235,400 円	△ 684,200 円	△ 74.4 %						
前年度比較		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		960 千円	1,200 千円	240 千円	25.0 %					
【事業内容】 ・町内でも被害が見受けられるナラ枯れ被害防除に必要な経費を計上する。ナラ枯れの原因となるナラ菌を媒介するムシ(カシノナガキクイムシ)を死滅されるため、薬剤くん蒸処理を行う。 県の重点対策区域である国立公園大山周辺に加え、対策強化区域である県境域にある本町においても被害が見受けられたため、対策事業を行う。(補助率:国1/2、県1/2) (国事業)										
【決算の状況】 (計画及び実績)										
								(参考:R5決算額)	単位:円	
費目		予算額	決算額	備考		費目		決算額		
委託料		1,200,000	235,400	ナラ枯れ被害木駆除委託料		需用費		919,000		
計		1,200,000	235,400			計		919,000		
①成果実績または活動実績 ○ナラ枯れ被害木駆除委託 委託先 : 鳥取県西部森林組合 委託料額 : 235,400円(処理実績清算) 実施個所:1地点(朝金) 処理本数 : 7本 (計画本数:105本) 積算根拠:鳥取県が発表する単価表により積算										
※前年度決算状況との比較 ・前年度比事業量減(105→7本)に伴う委託料減によるもの。										
②成果または活動の問題点 県内のナラ枯れ被害鎮静化に伴い、令和7年度から補助率が国1/4、県1/4に減少し、またヘリ探査も終了となるため、地域から要望があった場合、事業の進め方について改めて検討を要する。										
※ 令和6年度においてはヘリ探査及び現地確認により被害状況沈静化が確認されたため積算根拠となる処理本数減による委託金額が減少。										
(参考:過年度実績)										
単位:本、円										
区 分		R2	R3	R4	R5	R6				
実施地区		上中谷、与一谷	下中谷、上中谷、東上ほか	阿賀、下中谷、大木屋	掛相、大木屋	朝金				
本数		211	90	133	150	7				
委託料額(円)		1,096,700	631,400	873,400	919,600	235,400				
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
15-2-4-2		森林病虫害等防除事業補助金		919,600	72,600	12 委託料		919,600	235,400	
2-3-1-1		森林環境譲与税		0	162,800					
		一般財源		0	0					
計				919,600	235,400	計		919,600	235,400	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域要望などの情報や事前に行われるヘリ探査などから重点地域を定め、被害拡大を防ぐ必要がある。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		森林の多面的機能維持及び林業資源保護のため効果的な箇所への実施を優先的に行う。							
		解決すべき課題への方策		ナラ枯れ駆除を行う場合の事前準備として行う被害木特定業務について、探査用ドローンの導入等、町で実施する方法を検討していく。						

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名		12	森林整備地域活動支援事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		森林経営計画を策定する森林所有者、林業事業者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		森林の状況について調査することにより、森林経営計画策定の促進を行う。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		対象団地における森林経営計画の策定					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町森林整備地域活動支援交付金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	5.88 %				
17,679 円		20,000 円	2,321 円	13.1 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
1,164 千円		340 千円	△ 824 千円	△ 70.8 %						

【事業内容】

鳥取県西部森林組合が実施する森林経営計画の策定に際し、効率的な間伐の実施、森林経営計画の円滑な策定ができるよう、各種調査に要する経費を補助する。

補助率： 国1/2、県1/4、市町村1/4(国事業)

【決算の状況】

計画及び実績

単位:円

費目	予算額	決算額	備考
需用費	20,000	20,000	コピー代
負担金補助及び交付金	320,000	0	森林整備地域活動支援交付金
計	340,000	20,000	

単位:円

費目	決算額
需用費	17,679
負担金補助及び交付金	0
計	17,679

○森林整備地域活動支援交付金

実施事業者： 鳥取県西部森林組合

対象森林 ： 1団地(御内谷地内)

交付単価 ： 8,000円/ha

②成果または活動の問題点

本事業の申請主体である西部森林組合の申請取り下げが続いている。

※ 実施事業者の対象予定地における令和6年度中の合意獲得が困難となり、申請が取り下げられたため事業実施に至らなかった。

単位:ha、円

区分	R2	R3	R4	R5	R6
実施地区	御内谷	鶴田、猪小路	大木屋	大木屋	御内谷
対象面積	87.93	113.59	0	0	0
事業費	703,440	908,720	0	0	0
事務費	0	30,000	0	0	0

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-4-2	森林整備地域活動支援交付金	0	0	10 需用費	17,679	20,000
15-2-4-2	森林整備地域活動支援事業推進事務費交付金	0	0	18 負担金補助及び交付金	0	0
	一般財源	17,679	20,000			
	計	17,679	20,000	計	17,679	20,000

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	森林経営計画策定及び森林施業の集約化を促進を図り森林管理に繋げる。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成できた点をさらに伸ばす方策	交付金による円滑に森林経営計画の策定が図られるよう継続して支援を行っていく。
解決すべき課題への方策	計画的な事業進捗となっていないため、補助事業者への連携及び指導を強化する。

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計	
事業名		18	森林整備促進事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		森林所有者、林業事業者					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		森林の整備促進を目的として譲与される森林環境譲与税を財源として間伐の実施及び森林所有者の森林管理の意向調査を実施する。					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		計画的な間伐実施による再造林促進及び放置森林の解消 集落等組織的な取り組みによる森林(竹林含む)維持活動団体の増加 森林経営管理制度に基づく森林経営計画の策定					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
	前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		86.34 %		
7,738,714 円			6,405,407 円	△ 1,333,307 円	△ 17.2 %						
令和5年度予算額			令和6年度予算額	差引	増減						
8,178 千円			7,419 千円	△ 759 千円	△ 9.3 %						
【事業内容】											
○南部町間伐材搬出促進事業 町産材のスギ・ヒノキ間伐材を原木市場や木材加工所等へ出荷、販売する者に対し助成する。 補助単価：1,000円/㎡を上限(予算の範囲内)											
○意向調査及び現地調査 森林経営についての全体計画を整備するため、森林事業者に委託し所有者の将来の森林管理に対する意向確認を行う。											
【決算の状況】 (計画及び実績)											
				単位:円			(参考:R5決算額)			単位:円	
費目		予算額	決算額	備考			費目		決算額		
その他の委託料		2,711,000	2,710,400	八金地区意向調査等			その他の委託料		1,601,600		
使用料		198,000	198,000	森林クラウドシステム使用料			使用料		770,000		
負担金補助及び交付金		4,510,000	3,497,007				負担金補助及び交付金		5,367,114		
その他の負担金		660,000	0	森林管理センターへの負担金→不要			その他負担金		0		
その他補助金		3,850,000	3,497,007	間伐材搬出支援事業(3者)			その他補助金		5,367,114		
計		7,419,000	6,405,407				計		7,738,714		
①成果実績または活動実績											
○間伐材搬出支援事業 次頁に記載											
○意向調査 八金地区実施(鳥取県造林公社委託:1,555,400円) 回答面積:13.51ha											
■令和6年度分森林環境譲与税											
A譲与税交付実績額 19,442,000 円											
B事業充当額 8,354,821 円 →											
A－B基金積立額 11,087,179 円											
②成果または活動の問題点 林業事業体が限られ、また1回の林業施業の規模は大きいため実施に莫大な金額を要する。											
■令和6年度譲与税充当事業内訳											
単位:円											
事業名		充当額		備考							
ナラ枯れ対策事業		162,800		被害木特定に充当							
竹林整備事業		1,696,546		県補助枠外分を充当							
森林整備促進事業		6,405,407		事業費全額充当							
家庭教育支援配置事業(教育委員会)		90,068		木育フェスティバル実施費用(消耗品費)に一部充当							
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額		
2-3-1-1		森林環境譲与税		7,738,714	6,405,407	12 委託料		1,601,600	2,710,400		
						13 使用料及び賃借料		770,000	198,000		
						18 負担金補助及び交付金		5,367,114	3,497,007		
		一般財源		0	0						
		計		7,738,714	6,405,407	計		7,738,714	6,405,407		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		過去に森林経営計画策定がない地域に意向調査を実施し該当地区における森林管理の基礎を作成する。南部町産材の利用促進を図るとともに町内林業活性化に繋げる。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		森林環境譲与税を活用し、森林整備への補助事業の立案の検討を進める。								
	解決すべき課題への方策		令和元年度より森林環境譲与税の配分が始まったがその財源のみでは広範囲を補えないため、林業事業体が現地施業を行う上で負担となる箇所の把握と支援を関係機関と関係を密にとることで把握する必要がある。								

事業名	18	森林整備促進事業		所属名	産業課
【委託料】					
		単位:円		(下段:決算額)	
件名	目的	概要	積算根拠	契約相手	
緑水湖展望台 法面支障木伐採	緑水湖周辺施設の景観整備	定常さつき園法面支障木の伐採	治山林道必携より積算 特殊作業員 21,600円×22.0 普通作業員 16,800円×6.0 各種諸経費等516,520円 消費税109,200円 計1,201,200円	鳥取県西部 森林組合 (1,155,000円)	
八金地区森林 経営管理意向 調査	森林所有者のその後の 管理方針調査	八金地区の森林経営管理に 関する意向調査	調査準備:558,838円 調査:309,278円 打合:147,450円 直接経費:54,000円 諸経費:808,590円 消費税:187,800円 計:2,065,800円	公益財団法人鳥取 県造林公社 (1,555,400円)	
【委託料】					
				(下段:決算額)	
件名	目的	概要	積算根拠	補助相手	
南部町間伐材 搬出促進事業	間伐促進による森林整備	森林経営計画に基づく間伐実施に伴う搬出支援	877.687×1,000円/m³	鳥取県西部 森林組合 (877,687円)	
南部町間伐材 搬出促進事業	間伐促進による森林整備	森林経営計画に基づく間伐実施に伴う搬出支援	1,518.341×1,000円/m³	公益財団法人鳥取 県造林公社 (1,518,341円)	
南部町間伐材 搬出促進事業	間伐促進による森林整備	森林経営計画に基づく間伐実施に伴う搬出支援	1,100.979×1,000円/m³	株式会社 樹林業 (1,100,979円)	

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	3	緑水湖周辺施設費(林業構造改善事業)	会計名	一般会計
事業名		1	森林公園周辺管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設の管理・運営を行う指定管理者及び施設を利用する方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		南部町森林公園周辺の施設について、指定管理者より適切な管理・運営を行う。					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		施設の適切な管理・運営の実施による緑水湖周辺施設と一体となった集客と交流人口の増加 施設修繕による利便性向上					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		99.09	%	
		8,785,136 円	5,624,176 円	△ 3,160,960 円	△ 36.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		8,850 千円	5,676 千円	△ 3,174 千円	△ 35.9 %					
【事業内容】 施設管理は、南さいはく地域振興協議会に指定管理委託により実施している。 指定管理期間 令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日 初回指定:平成18年度から 指定管理料 4,400,000 円 指定管理施設 森林公園、森の学校 指定管理者による事業実施により森林公園周辺施設の活性化、利用の増進を図る。 施設や設備等の経年に伴う損傷を改善する。										
【決算の状況】 (計画及び実績)										

款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費	会計名	一般会計
事業名		5	緑水湖栈橋等管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		湖面利用施設(浮き栈橋、スワンボート)					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		湖面利用施設の適切な管理・運営					②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		施設の維持管理と環境形成に取り組み、管理の技術を蓄え施設 の特性に対する理解を深めることで、今後の利用方針を検討する ことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度 比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		93.87	%	
		140,800 円	140,800 円	0 円	0.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		150 千円	150 千円	0 千円	0.0 %					
【事業内容】 緑水湖の湖面利用施設である浮き栈橋とスワンボートの管理及びその周辺環境整備について業務を委託する。 委託先：(株)緑水園 委託内容：浮き栈橋管理…季節による湖面水位の上下変動に対応して浮き栈橋位置の調整を行う。 スワンボート管理…スワンボートの状況監視と運用の検討を行う。 周辺環境整備…浮き栈橋周辺の環境整備として、除草作業を行う。										
【決算の状況】 (計画及び実績) 単位:円 (参考:R5決算額) 単位:円										
費目		予算額	決算額	備考		費目		決算額		
委託料		150,000	140,800	緑水湖湖面利用施設等管理業務		委託料		140,800		
計		150,000	140,800			計		140,800		
■積算根拠 単位:円										
項目		概要		金額						
浮き栈橋管理		浮き栈橋アンカー操作		21,600						
スワンボート管理		除草、監視		106,400						
周辺環境整備										
①成果実績または活動実績 ○緑水湖湖面利用施設等管理業務 管理料額：140,800円 管理実績：浮き栈橋管理 月2回程度、(24回/年) ※栈橋ケーブルの長さ調節を必要に応じて実施 スワンボート管理 随時監視 周辺環境整備 全体作業 2回実施 その他必要箇所 随時実施										
② 成果または活動の問題点 浮き栈橋、スワンボートの撤去のみを対象とする財源の確保が困難										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					12 委託料	140,800	140,800			
	一般財源		140,800	140,800						
	計		140,800	140,800	計	140,800	140,800			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		湖面利用施設として占有している浮き栈橋とスワンボートについて、撤去の方向で令和8年度予算要求 に向け撤去費用の算出を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		撤去実施までは引き続き緑水園に周辺の環境整備を委託する。							
	解決すべき課題への方策		県内外の類似施設等の状況を参考に、撤去費用の確保を行っていく。							

款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費	会計名	一般会計
事業名		6	研修館管理事業						所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設を利用する方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		研修館(コテージ横)の適切な管理・運営					①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		利用の増進が図られ緑水湖周辺地域の活性化につながる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								南部町緑水湖教育文化施設(研修館)条例、施設(研修館)規則		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	99.63 %				
553,476 円		479,234 円	△ 74,242 円	△ 13.4 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
前年度比較		617 千円		481 千円			△ 136 千円	△ 22.0 %		

【事業内容】

施設管理は、(株)緑水園に指定管理委託により実施している。

指定管理期間 令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日 初回指定:平成25年度から

指定管理料 緑水湖周辺施設の一体的な管理運営として、緑水園管理事業に含める

利用の増進を図るため、施設や設備等の経年に伴う損傷の状況を改善する。

所有名義に付随する火災保険料のほか、一定以上の修繕については協議のうえ町が負担する。

【決算の状況】

(計画及び実績) 単位:円 (参考:R5決算額) 単位:円

費目	予算額	決算額	備考	費目	決算額
需用費	99,000	99,000	雨漏り修繕工事	需用費	0
役務費	155,000	154,514		役務費	138,346
通信運搬費	72,000	71,940	通信運搬費	通信運搬費	110,166
火災保険料	83,000	82,574	火災保険料	火災保険料	28,180
使用料及び賃借料	227,000	225,720	AED借上料、Wi-Fi、セキュリティ関係リース	使用料及び賃借料	35,640
工事請負費	0	0	(令和6年度実施なし)	工事請負費	14,850
計	481,000	479,234		計	312,332

①成果実績または活動実績

■ 修繕・工事

・雨漏り修繕工事 99,000 円 雨漏り対応として予備費充当により実施。

<利用実績> 単位:人

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	863	137	63	163	262	422

(参考:利用料収入) 単位:円

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用料収入	179,020	29,700	191,200	55,218	105,200	157,600

②成果または活動の問題点

指定管理者と連携し改修を行った本施設の活用推進を図る必要がある。

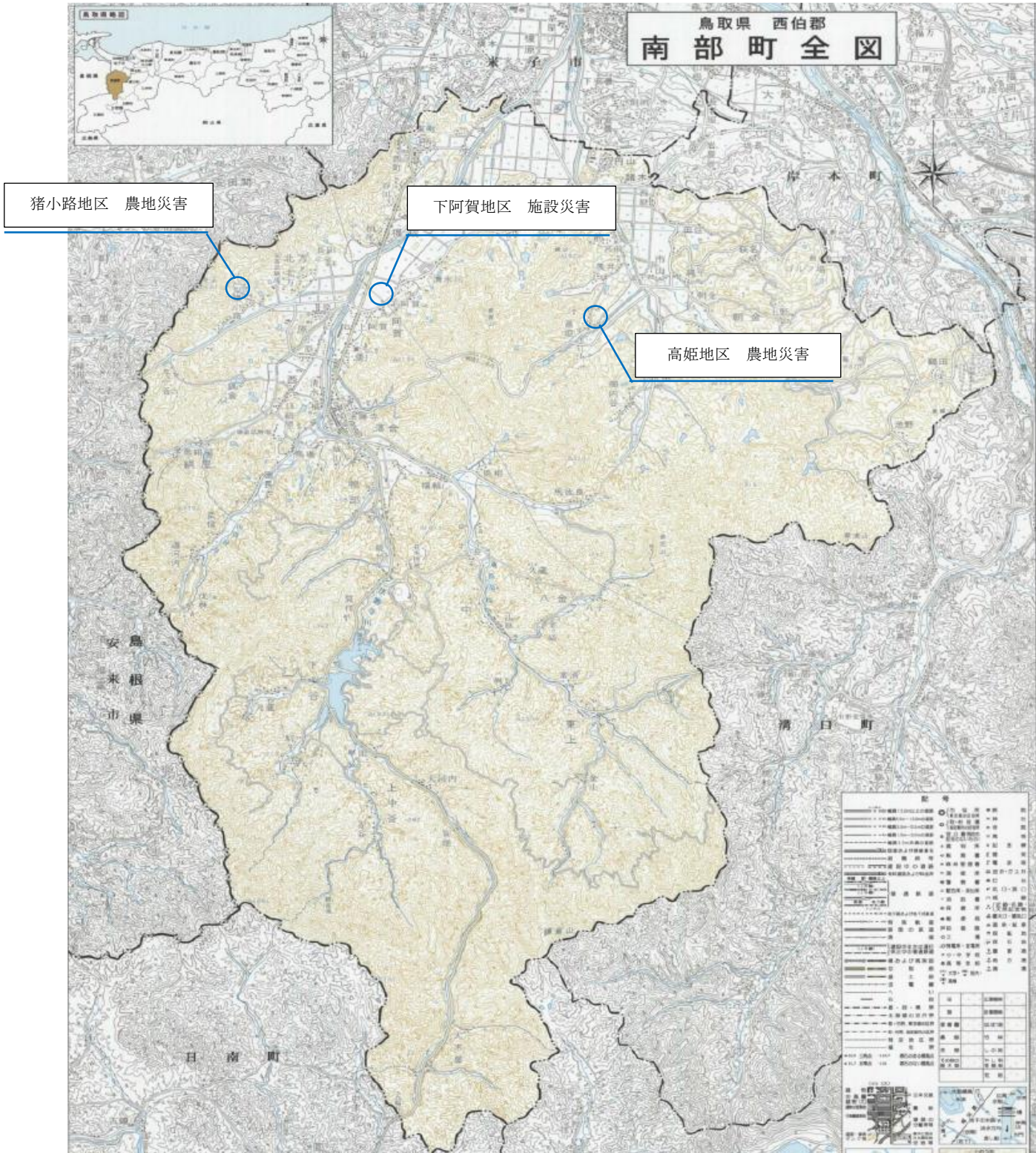
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				10 需用費	148,500	99,000
				11 役務費	153,846	154,514
				13 使用料及び賃借料	236,280	225,720
				14 工事請負費	14,850	0
	一般財源	553,476	479,234			
	計	553,476	479,234	計	553,476	479,234

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	テレワークの拠点施設として新たに施設を有効利用することで、地域の活性化等様々な波及効果が期待されることから、関係機関と連携しながら取り組みを進める。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成できた点をさらに伸ばす方策	指定管理者と連携し、新しい働き方としてのテレワーク拠点としてスムーズな運営ができるように取り組んでいく。
解決すべき課題への方策	他市町村の類似施設を参考にしながら、本施設の利活用方法について検討を行う。

款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業施設災害復旧費	目	4	農地等小災害復旧費	会計名	一般会計																																																																																																																																										
事業名		1	農地等災害復旧事業						所属名	産業課																																																																																																																																										
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		災害により被災した町内の農地・農業用施設を復旧する者					総合計画における位置づけ																																																																																																																																												
	意図 (対象をどうするか)		災害により被災した農地・農業用施設を復旧し、従前の機能を回復させる					②魅力ある農林業と商工業の振興																																																																																																																																												
	成果の視点 (どのような効果があるか)		農地の復旧を支援することで、地域の農地の維持、耕作放棄地の発生防止につなぐ					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																																																												
								④共生と防災のまちづくり																																																																																																																																												
								根拠法令・要綱等																																																																																																																																												
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金交付規則、南部町農地等災害復旧事業費補助金交付要綱																																																																																																																																														
		0 円	814,385 円	814,385 円	100.0 %																																																																																																																																															
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減				令和6年度執行率	98.47 %																																																																																																																																										
		1 千円	827 千円	826 千円	82,600.0 %																																																																																																																																															
【事業内容】 国の災害復旧事業の対象とならない小規模な災害により被害を受けた農地及び農業用施設（水路、農道、取水及び排水口、堰、ため池など）の原形復旧または被災前の機能に復旧するための工事（再度の被害を防ぐ措置のための変更は可）。ただし、土木工事を施工することができる業者等により施工されたものであること。 負担区分： 県42.5%、町42.5%、自己負担15% 対象経費上限額： 施工1箇所の経費 40万円以下（40万円を超える部分は自己負担） 【決算の状況】 被災原因： 11月豪雨（11/1～2） （計画） <table><tr><th>区分</th><th>工種</th><th>地区名</th><th>復旧工法</th><th>箇所数</th><th>事業費</th><th>補助金</th></tr><tr><td>農地</td><td>田</td><td>高姫</td><td>排水口復旧</td><td>1</td><td>176,000</td><td>149,600</td></tr><tr><td>農地</td><td>田</td><td>猪小路</td><td>流入土砂撤去</td><td>1</td><td>396,000</td><td>336,600</td></tr><tr><td>施設</td><td>水路</td><td>下阿賀</td><td>水路法面復旧</td><td>1</td><td>400,000</td><td>340,000</td></tr><tr><td colspan="4">計</td><td>3</td><td>972,000</td><td>826,200</td></tr></table> （実績） ①成果実績または活動実績 <table><tr><th>区分</th><th>工種</th><th>地区名</th><th>復旧工法</th><th>箇所数</th><th>事業費</th><th>補助金</th></tr><tr><td>農地</td><td>田</td><td>高姫</td><td>排水口復旧</td><td>1</td><td>176,000</td><td>149,600</td></tr><tr><td>農地</td><td>田</td><td>猪小路</td><td>流入土砂撤去</td><td>1</td><td>396,000</td><td>336,600</td></tr><tr><td>施設</td><td>水路</td><td>下阿賀</td><td>水路法面復旧</td><td>1</td><td>386,100</td><td>328,185</td></tr><tr><td colspan="4">計</td><td>3</td><td>958,100</td><td>814,385</td></tr></table> ②成果または活動の問題点 ・コンサルタントによる測量設計を行わないため、復旧工法については十分に検討する必要がある。 ※＜前年度決算状況との比較＞ R5年度は事業対象の実績はなかった。 （歳入内訳 単位:円） <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害復旧分）</td><td>0</td><td>407,192</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>407,193</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>0</td><td>814,385</td></tr></table> （歳出内訳 単位:円） <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害復旧分）</td><td>0</td><td>407,192</td></tr><tr><td>18</td><td>負担金補助及び交付金</td><td>0</td><td>814,385</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>407,193</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>0</td><td>814,385</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害交付額）を有効活用して町負担の軽減を図るとともに被災農家の手続きの簡素化を図り、早期着工、復旧を心掛ける。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 達成できた点をさらに伸ばす方策 今後も、災害発生時に速やかに復旧事業が行える様、制度を維持して行く必要がある。 解決すべき課題への方策 復旧工法を検討しながら、緊急に実施するため手続き方法の簡素化を図り、被災農地等の迅速な復旧に努める。											区分	工種	地区名	復旧工法	箇所数	事業費	補助金	農地	田	高姫	排水口復旧	1	176,000	149,600	農地	田	猪小路	流入土砂撤去	1	396,000	336,600	施設	水路	下阿賀	水路法面復旧	1	400,000	340,000	計				3	972,000	826,200	区分	工種	地区名	復旧工法	箇所数	事業費	補助金	農地	田	高姫	排水口復旧	1	176,000	149,600	農地	田	猪小路	流入土砂撤去	1	396,000	336,600	施設	水路	下阿賀	水路法面復旧	1	386,100	328,185	計				3	958,100	814,385	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害復旧分）	0	407,192																		一般財源	0	407,193	計		0	814,385	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害復旧分）	0	407,192	18	負担金補助及び交付金	0	814,385																		一般財源	0	407,193	計		0	814,385
区分	工種	地区名	復旧工法	箇所数	事業費	補助金																																																																																																																																														
農地	田	高姫	排水口復旧	1	176,000	149,600																																																																																																																																														
農地	田	猪小路	流入土砂撤去	1	396,000	336,600																																																																																																																																														
施設	水路	下阿賀	水路法面復旧	1	400,000	340,000																																																																																																																																														
計				3	972,000	826,200																																																																																																																																														
区分	工種	地区名	復旧工法	箇所数	事業費	補助金																																																																																																																																														
農地	田	高姫	排水口復旧	1	176,000	149,600																																																																																																																																														
農地	田	猪小路	流入土砂撤去	1	396,000	336,600																																																																																																																																														
施設	水路	下阿賀	水路法面復旧	1	386,100	328,185																																																																																																																																														
計				3	958,100	814,385																																																																																																																																														
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																																																	
15-2-4-1	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害復旧分）	0	407,192																																																																																																																																																	
	一般財源	0	407,193																																																																																																																																																	
計		0	814,385																																																																																																																																																	
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																																																	
15-2-4-1	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金（災害復旧分）	0	407,192																																																																																																																																																	
18	負担金補助及び交付金	0	814,385																																																																																																																																																	
	一般財源	0	407,193																																																																																																																																																	
計		0	814,385																																																																																																																																																	



猪小路地区 流入土砂撤去
(着工前)



(完成)



下阿賀地区 水路法面復旧
(着工前)



(完成)



高姫地区 排水口復旧
(着工前)



(完成)

